

華岡青洲関連資料・高橋コレクション 資料目録

Catalogue of medical literatures and materials concerning Hanaoka Seisyuu

松 村 巧

Takumi MATSUMURA

(和歌山大学教育学部国語教育専修)

2012年8月20日受理

はじめに

華岡青洲(寶暦10年、1760年～天保6年、1835年)は、文化2年(1805年)10月13日、人類の醫學史上、初めて全身麻酔薬を用いた乳癌摘出手術に成功した醫師として、広く世に知られている。その醫學史上における貢献は、その傑出した乳癌摘出手術法の開発のみに止まらない。紀州那賀郡上名手村大字西山村字平山(現、和歌山縣紀の川市)に開かれた華岡一門の診療處たる「春林軒」は、治療室・講義室・調剤室・入院用宿室・看護婦室・往診用厩舎などを具えた病院兼醫學研修所であり、江戸時代後期の醫療實踐と醫學講學の先進的な機關として、醫學史上、重要な役割を果たした。

華岡青洲とその醫學に関しては、これまで、少なからぬ論著が公刊されている。その研究の状況については、松木明知氏の「華岡青洲研究史」(『日本醫學史雜誌』第51巻第3号所収、2005年9月、日本醫學史學會)に詳しい。その研究を大別すれば、傳記考證、書誌考證、江戸期醫學史の觀點からの研究、外科學史からの研究、麻酔學史からの研究、そして乳癌治療の觀點からの研究など、多岐にわたっている。そのうち、呉秀三氏の大著、『華岡青洲先生及其外科』^(註1)は、傳記研究・外科學研究・著述の書誌的研究、および青洲とその春林軒の治病と講學の醫學史的研究等、廣範な内容に涉り、細部については後人の研究によって補正された點は有るものの、青洲研究の基礎を築いた研究であり、現在でもなおその水準を超える研究は見出し難い。

私も、かつて、「華岡青洲の醫學思想」と題する論文を發表し^(註2)、江戸期の合理主義的思潮と華岡青洲の醫學精神とのかかわりについて、初歩的な考察を加えた。しかし、率直に言って、その段階では、華岡青洲の醫學の全貌を見渡すことができたとは、決して言えなかった。その最大の理由は、華岡青洲研究の據り所となる第一次資料の全貌を知り得なかったことに由る。そして、このことは、現在の華岡青洲研究が直面する壁であると言っても、過言ではなかろう。現在、刊行されている資料集としては、『近世漢方醫學書集成』第29巻および第30巻の「華岡青洲」巻があるのみで、その

中に、抄寫や傳存の状況が比較的信頼できる善本、合わせて10種が収録されている^(註3)。このほか、たとえば、京都大學富士川文庫や天理大學附属天理圖書館^(註4)などの大學圖書館に貴重な抄本を所藏している。しかし、それとて體系的なコレクションではない。

その後の調査で知り得たことであるが、華岡青洲の醫學を研究するための主要な第1次資料は、以下の2種に大別される。その第1は、華岡家あるいは春林軒に傳存したものであり、數は多くないが、傳存の経緯が明瞭であり、學術的價値は極めて高い。なかでも、「華岡家秘傳書」と題する函に收められた、12部12冊の書籍^(註5)は、保存も良く、舊藏の経緯も明らかであって、最も信頼に足るものである。しかし、現存する華岡青洲関連資料の大多數は、青洲在世中に、その名を慕って全國から春林軒に集った醫師たちが、研修のかたわら、春林軒に藏する文獻を抄寫し、或いは華岡青洲の口述を筆録して、故郷に持ち歸ったところの夥しい數の抄本群であり、それが第2の資料群である。『華岡青洲先生春林軒門人録』^(註6)によれば、天明8年(1788年)入門の中川脩亭を筆頭に、安政2年(1855年)に至るまで、北は陸奥・出羽から西は薩摩・對馬に至るまで、凡そ68箇国、合計1,508名の醫師が華岡一門に入り、その醫學を學んだ。華岡青洲に関する資料が現在に傳存するのは、これら春林軒に入門した弟子たちの筆録に負うところが誠に大きいのである。その中には、備忘録的な書きつけも含まれるが、大部分は、弟子たちの抄寫や筆録である。同一の書名を冠する資料であっても、時期が異なれば、抄寫や筆録の内容が異なることは大いにあり得る。書籍の抄寫であれば内容に増補が加えられることもあり、口述の記録であれば内容に變更が加えられることもあり得よう。その意味で、膨大な數にのぼる華岡青洲関連資料の抄本群は、見逃し得ない價値がある。

高橋コレクション、およびその書誌調査について

幸い、私は、華岡青洲関連資料の収集に盡力されている篤志家・高橋均氏の知遇を得ることができた。高

橋均氏は華岡青洲と同郷のご出身であり、和歌山縣立醫科大學を卒業された後、近畿大學醫學部附属病院に救急醫療の醫師(ご専門は麻酔科)として勤務され、現在は、永山病院(大阪府泉南郡熊取町)に轉ぜられている。高橋氏は、醫師としての醫療活動のかたわら、華岡青洲關連資料の収集に情熱を傾けてこられた。高橋氏が収集された資料は、2011年9月時点で、880點にのぼり、華岡青洲關連資料のコレクションとしては、私の知るかぎり、最大規模のものであって、その學術的價値は極めて高い。その中には、華岡家(北海道に在住)から直接購入されたものも含まれるが、その多くは書肆を通じて入手されたものであって、嚴密に言えば、華岡青洲やその一門との直接的な關連を實證できない資料も含まれている。しかし、同一の題名のもとに、多くの弟子たちが抄寫・筆録した資料群は、單一の善本のみでは知り得ない、華岡青洲と春林軒の醫療と講學の實態を忠實に反映しており、その學術的價値は、決して劣るものではない。ちなみに、高橋コレクションは、現在、華岡青洲記念館たる「青洲の里」(和歌山縣紀の川市)に貸與されており、保管は紀の川市に委託されている。

私どもは、2008年夏から、高橋コレクションの書誌調査にとりかかった。参畫したのは、垣内智之氏・畑忍氏・三鬼丈知氏^(註7)、および私の4名である。コレクションの全ての資料の書誌情報を調べ、その結果を電子情報化するとともに、資料を同定できるように必要箇所を畫像として保存した。この作業は、最終的には、種々の検索が可能のように、資料を電子データ化することを目的とするものであるが、今回、データ入力有一段落したので、概要を公表することとした。そのねらいは、華岡青洲研究者や醫學史研究者の間において、高橋コレクションの學術的意義を廣く知ってもらい、今後の研究に役立てていただくことに在る。

分類と目録の作成

高橋コレクションの概要を示すに当たって、分類は、醫學の分科法、書籍の分類法などの一般的な原則には従っていない。それは、第一に、分類はコレクションの内容に即したものでなければ無意味であるからである。華岡青洲は、「内外合一」の理念を掲げ、内科學と外科學の統一を目指したが、彼の醫學の中心はあくまでも外科醫療に在り、兼ねて産科や内科、および麻酔學と乳癌治療、さらには種々の藥方等にも及んだが、傳存する文獻は予想されるとおり外科關連が壓倒的に多い。この目録は、このような資料の實情に即して分類してある。第二に、探したい資料を容易に見つけ出せるような分類であるべきであるからである。特に、分類項目を立てるに当たっては、書名の類似性でまとめる方針と、醫學の分科法でまとめる方針の、2つの原則を併用した。あくまでも、資料を検索し易いこと

を求めた便宜的分類法なのである。

華岡青洲關連史料・高橋コレクション・分類法

- 10 醫學・總論
- 11 醫學・總論・醫談
- 12 醫學・總論・秘録
- 13 醫學・隨筆／漫筆／雜記
- 20 醫學・外科・總論
- 21 醫學・外科・瘍科
- 22 醫學・外科・瘡科(金創)
- 23 醫學・外科・癩科(乳癩)
- 24 醫學・外科・皮膚科(疔瘡／痘疹／癩)
- 25 醫學・外科・整骨／整形
- 26 醫學・外科・脚氣
- 27 醫學・外科・陰部／肛門
- 28 醫學・外科・圖(繃帶・卷木綿／奇患／整骨／手術)
- 31 醫學・(諸科)
- 32 醫學・産科／婦人科 [理婦]
- 33 醫學・小兒科 [理兒]
- 34 醫學・内科・(痢疾、其の他)
- 41 醫學・診斷
- 42 醫學・治驗
- 43 醫學・手術／解剖
- 44 醫學・鍼灸
- 45 醫學・其の他(無題の資料／切紙／備忘録)
- 51 藥方(總論／雜方)
- 52 藥方・丸散方(丸方／散方)
- 53 藥方・膏方
- 54 藥方・麻酔方
- 55 藥方・投藥法
- 56 藥法・製藥／製劑
- 61 器具・醫具／家具／調度品
- 62 器具・製菓
- 70 醫學典籍・総類
- 71 醫學典籍・傷寒論
- 72 醫學典籍・金匱要略
- 73 醫學典籍・其の他の和漢醫書／注釋書
- 80 史料・傳記資料
- 81 史料・地誌資料
- 82 史料・春林軒資料
- 83 史料・門人録
- 84 史料・患者録
- 85 史料・書翰／書狀

- 86 史料・書畫
 87 史料・詩
 88 史料・碑文／墓誌／墓碑建立資料／切紙
- 91 其の他・醫書刊本／叢書(日本・現代・洋装本)
 92 其の他・研究書等(日本)
 93 其の他・研究書等(欧米／中国(現代))
 96 其の他・小説／展示会パンフレット

凡例

- ① 端本・缺本が多く含まれるので、一部の書であっても、冊子ごとに著録した。また、字體は、正字體、略字體ともに、原資料のままを示し、字體の統一は行っていない。
 「■」は、虫食い、あるいは字が潰れている等の理由で判讀できないことを示す。
- ② 「資料番號」は、この目録内の順序を示す。「分類コード」は、上掲の分類の項目をコードとして示す。合本の場合は、冒頭の資料もしくは主要な資料について分類を行い、「分類コード①」に示し、その他の合綴された資料の分類は、「分類コード②」に示した。「整理番號」は、書誌調査のコンピュータ内での処理コードであるが、このコード番號によって、「青洲の里」資料室における資料の所在を同定することができる。
- ③ 「種別」は、資料を形態から分類したものである。
- ④ 「書名」は、外題の書名を示す。外題がない場合は、内題、函題、帙題、小口題、巻頭題等から類推される書名を〔 〕で示した。書名には、誤字や當て字(例、「乳癌」／「乳岩」／「乳巖」)が多く含まれるが、資料としての価値を考慮してそのままを示した。書名の後に「◆」印を付してあるものは、明らかに華岡青洲以外の著述もしくは口述に歸せられるべき資料であることを示す。
- ⑤ 「内題・内容詳細」は、一部の資料の中に含まれる全ての内題を示す。「合本」の場合は、これにより、資料の全ての内容が示される。なお「合本」として扱ったものには、文字通り複数の資料を合綴したものもあるが、これ以外に、抄寫者が自らの必要に応じて必要な文獻を同一の冊子に抄寫し、結果として「合本」となったものが多く含まれる。
- ⑥ 内題について「 / 」は、複数の内題があることを示す。「——」は内題がないことを示す。「 + 」は、内題が複数あり、複数の資料の合

綴本であることを示す。

- ⑦ 「著者名等」、「抄寫・刊行情報」は、資料内に明記されているもののみについて記述した。
- ⑧ 「未調査」は、展示中や長期貸出中のために、現時点で詳細な書誌情報を把握していない資料である。
- ⑧ 學術的には価値の低い資料(パンフレット・ポスター・アルバム等)も含まれるが、高橋コレクションの全體を示すため、省略は行っていない。

末筆ながら、貴重なコレクションの閲讀と書誌調査を許可された高橋均氏に深く感謝する次第である。

注

- 1) 呉秀三著『華岡青洲先生及其外科』(1919年年8月初版發行。復刻版、同朋舎、1971年)
- 2) 松村巧著「華岡青洲の醫學思想」(『日本中國學會報』第59集所収、日本中國學會、2007年10月)
- 3) 『近世漢方醫學書集成』第29巻および第30巻『華岡青洲』(名著出版、1980年4月)。なお、この中に収録されているのは、『外科神書』、『瘍科瑣言』、『燈下醫談』、『青洲先生治驗録』、『産科瑣言』(以上、第29巻所収)、および『青囊秘録』、『春林軒丸散方』、『春林軒膏方』、『貼膏攷』、『春林軒撮要方箋』(以上、第30巻所収)の十種であり、大塚敬節氏および宗田一氏の所蔵にかかる資料の影印本である。
- 4) 天理大學附属天理圖書館が所蔵する『華岡青洲先生乳癌治驗録』(外題)は、確実に華岡青洲の真筆であると見なし得る唯一の資料である。
- 5) 「華岡家秘伝書」は、『〔花岡〕青囊秘録 全』(資料番號63、以下同じ)、『〔花岡〕天菴秘録 疔瘡辨名 合』(97)、『〔花岡〕瘍科方箋 全』(158)、『〔花岡〕瘍科瑣言 全』(225)、『〔花岡〕瘍科口訣』(259)、『〔花岡〕金創口授 全』(315)、『〔花岡〕乳巖辨 全』(353)、『〔花岡〕整骨圖 縛帶圖 奇患圖 合冊』(392)、『〔花岡〕産科瑣言 全』(441)、『〔花岡〕撮要方 全』(572)、『〔花岡〕丸散方 全』(595)、『〔花岡〕膏法便覽 全』(662)の十二種の書籍(抄本)を含む。各冊とも、「不許出于他外」の印が押されており、門外不出の秘藏書であったことが知れる。(注3)に言及した天理圖書館所蔵『華岡青洲先生乳癌治驗録』とならび、資料価値が極めて高い。
- 6) 『華岡門人姓名録』(資料番号754)および、前掲の呉秀三著『華岡青洲先生及其外科』448～518頁所収「華岡青洲先生春林軒門人録」による。
- 7) 共同作業に参畫した三氏は、ともに和歌山大學非常勤講師である。カード取り、畫像スキャン、データ入力などの全てにわたって、作業を分担していただいた。この目録が出来上がるに至り得たのは、挙げて三氏の勞によるものであり、深甚の謝意を表したい。

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備考
1	10		0319	抄本	醫斷 全 ◆	醫斷(26)	西肥鶴沖元 逸著					26	26.0×18.1		0297と同系統の版本。発行元・表紙・広告などは異なる巻末に「平安 斯文堂藏書目録」を附す
2	10		0055	抄本	[醫斷] ◆	醫斷(23)	(吉益東圃)					23	27.5×19.6	本文19紙。表紙なし。本文の冒頭に落丁あり。	本文19紙、醫斷序(長門 浦長徳彌入交序)1紙、醫斷自序(延享丁卯冬十月 西肥鶴沖元逸書于落成備居)1紙、醫斷序(備後 原行子藏撰)1紙、題醫斷後(中西惟忠子文題)1紙あり
3	10		0297	刊本	醫斷 ◆	醫斷(26)	東洞吉益先生 門人鶴元逸著	皇都 博文堂發行/ 朱印 蒲蘆亭藏版/ (表紙裏)寶曆九己卯 歲三月 京都書舖 丸屋市兵衛發行(裏 表紙裏)	1759年			26	27.3×18.3		題箋一部欠損。「斷」の一部のみ判読可
4	10		0296	刊本	續醫斷 全 ◆	續醫斷 卷之上 (29)+續醫斷 卷之 下(29)	文化八年八月江 戸 須原屋茂兵衛/ 大坂 秋田屋大右衛 門/京 三河屋利兵 衛・野屋嘉七	1811年	温知園藏/ 田中■■■ (裏表紙)			29	25.7×17.5		発行者名の上に朱印あり
5	10		0446	抄本	醫範 全 ◆	醫範(5)	文政五年壬午十月寫 之蘆田一學	1822年				5	改裝済/ 0430、0434、 0435と表丁情 況同じ		
6	10		0835	抄本	醫範 全 ◆	醫範(5)	南涯吉益先生 著/門人木國 醫 大江廣彦 校正(第1紙)	上野元俊写之(裏表 紙)				5	虫損甚だし		
7	10		0331	刊本	醫範 全 ◆ 冊 ◆	醫範(13)+非耶六年 麻黄湯後辨氣血水説 (8)+答 武 藤 生 (3)+醫道二千年眼 目篇自一卷至三卷評 (8)+西説醫事辨 (5)+陰陽與神經同 辨(2)+三谷岩田先 生著眼(2)	南涯吉益大先 生著述/岩田 先生校正并附 録著	紀藩 稽古館藏版 文政八乙酉十月刻成	1825年		「大巧若拙」 「耕雲録曰」	0			題箋には「醫範 全」のほか、小字で欄題「附 非方 議○答式謙生書○醫道二千年眼目篇評(改行)西説 醫學辨○陰陽與神經同辨」とある
8	10		0310	抄本	醫範 ◆	吉益先生醫範(3)+ 槐園名物考底里野迦 之方(9)		南紀於華岡塾写之 小松昇				12	23.6×16.9		版心に「春林軒」とある
9	10		0298	刊本	[古方便覽] ◆	古方便覽/古方便覽 上册終/古方便覽上 (45)	東洞吉益先生 校閱 門人六 角重任筆記	文化再刻 浪華書肆 興文堂 積玉圃				45	22.3×15.7		表紙に「上」と墨書0299「下」と一組を成す
10	10		0299	刊本	[古方便覽] ◆	古方便覽下冊/古方便 覽下(26)+附録腹 候圖(8)	天明二年壬寅九月初 成文化三年丙寅春再 版大坂心齋橋通北久 太郎邸 柳原喜兵衛 同心 齋齋通南久賢 寺町高橋平助	1806年				35			表紙に「下」のほか、「上下」「上」「平」字の墨書あり 0298「上」と一組を成す
11	10	52	0062	抄本	[南涯先生遺語] ◆	南涯先生遺語(0、 5)+遺語(4)+丸散 方機(6、5)						11	21.4×15.5		
12	71		0063	抄本	南涯先生 ◆	傷寒論(37)	南涯先生口授					37	24.6×17.2		漢文の本文に対する和文の注。

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	總紙數 (内、遊紙數)	寸法	装订 情况	備 考
13	10		0795	抄本	南涯先生口授 【類証辨疑】◆	類証辨疑(13)	南涯先生口授					13	24.3×17.0	第13紙の内容 を書きかけた 反故紙を裏表 紙に使用	
14	10		0633	刊本	醫事啓源 全 ◆	醫事啓源(34)	今村了庵著	敬業館藏板(刊行書 肆印)「日本橋武今村 家印記」				34	26.0×17.6	0629と体裁同 じ	0629と書肆同じ「文久二年(1862年)壬戌春正月 巖邑若山孫叙 高橋豊瑠書」の序あり「文久二年歳 次壬戌春二月 男芳拜識 小山慎書」の跋あり
15	10		0295	刊本	【建珠録】◆	建珠録(40)						40	26.5×17.4		題箋欠損。「建」らしき文字が見えるのみ寶曆癸未 (1751年)の序あり癸未に「平安斯文堂藏書目録」を 附す裏表紙から剝離した紙の裏に角印「■家」と書 き込みあり
16	10		0026	刊本	續建珠録 ◆	——(31)	武貞恒(徳夫)	文政八年九月発行	1825年	楠靈堂和田 春安旧藏		31			大阪・加賀屋普藏製本文政戊寅(元年/1818)撰附 録を附す
17	10	34	0212	抄本	險症百問 痢疾 瑣言 乾坤	險症百問(27) + 痢疾 瑣言(9)	紀州 青洲華 岡先生 遺教	紀伊平山日新齋 吉 田寿芽寫之	1847年			36	24.0×16.9	改裝済。改裝 時に新裏表紙 に貼付されて いた旧裏表紙 が剝離	
18	10		0159	抄本	【除證百問答】	除證百問答(48)						48(1)	23.7×16.2	改裝済(旧裏 表紙なし)	
19	10		0450	抄本	險症百問	險症百問(30) + 險症 百問之内三策答(30)	皇都中川脩亭 問	弘化四年丁未孟夏		隆太藏書 (「圖書」か ら書き改め る)		30	24.5×17.0		
20	10		0837		險症百問 堂	險症百問(33)	皇都中川脩亭 問 / 南涯・青 洲 答 / 「險 症百問之内三 策」(第29~32 紙)のみ「南陽 答」	文政十三年戊三月南 陽 齋藤氏(表紙)	1833年			33(1)	24.9×17.4	野紙使用 / 裏 表紙剝落	「備後 野村那羅識」の序を冠す
21	10		0765	抄本	險症百問	險症百問(59) + 傷寒 雜病論集(3)						62(3)	18.8×11.8		
22	10		0773	抄本	醫事答問 百問 ◆	醫事答問(6) + 險症 百問(20)	奥州 桃井安 貞著述		1833年		「三森氏圖書 記」(第1, 8, 10紙)	26	24.5×16.5	改裝済	
23	11	51, 22	0347	抄本	三北附辨 青洲 醫譚 丸散方考 (同用法)	三北附辨(4.5) + 青 洲醫譚(25) + 丸散方 考(丸散用法を含む) (6.5)		文久三亥仲夏於得理 軒写之古川東陽源春 震	1863年			37	23.9×17.0		裏表紙裏にも書き入れあり
24	10		0595	抄本	醫方新古辨 上 下合冊 ◆	醫方新古辨(43)	中川壺山先生 著	嘉永二己酉年四月清 動堂主人立真平磨寫 以應良齋道兄之需 此書本春日村伊藤忠 信之藏書也然志賀村 篤兄宗齋假借之磨写 厥後沢真平假之磨写 今又磨如此云 大 日本 信州佐久高埜 町向医木石野父	1849年		43	25.6×15.8		2種あり。「信 立澤印」はか 1種判読不能	
25	10		0794	抄本	續方函	續方函(6)						6	26.0×18.0		

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、透紙數)	寸法	装订 情況	備 考
26	10		0780	抄本	百疾一貫 上下 ◆	百疾一貫卷之上 (51) + 百疾一貫卷之 下(42)	東郭先生 口 授	嘉永二歳 西ノ四四 月吉日於桃林軒寫之 大野雄鶴平治方	1849年			94	24.3×17.0		第94紙袋に「メ九十一枚」と墨書
27	10		0756	抄本	蕉窓方意解 全 ◆	蕉窓方意解(42)	東郭 和田先 生口授	野州ノ主人大野雄鶴 平治方				42	24.9×17.0		処方(治方)を記した紙片(12.5×18.0cm)を挟む
28	10		0300	抄本	[南鍼示蒙]	——(67) + 南鍼示 蒙(37)					「小松昇印」 「第七〇號」	107	23.4×16.4		「南鍼示蒙」の前に無題のものあり。紀の川市の管 理では無題のもの冒頭に「楊寒」の二字を仮 題として整理
29	10		0694	抄本	遠西二十四方 ◆	——(41)	卓和草医 坪 井信道 編集 (第17紙)					41	25.0×17.4	表紙無し	
30	11		0001	抄本	青洲先生醫譚	青洲先生醫譚 / 青洲 医談 / 青洲医譚(36)		于時安政二年卯季秋 写之 於秋山町大來 館 築 高倉之里 早 川 姓 至信	1855年			36	23.3×15.7		
31	11		0208	抄本	[青洲先生醫譚]	青洲先生醫譚(46)		文政癸未夏六月寫於 九如窟后堂 後藤長 敬	1823年			46	26.4×19.1		
32	11		0586	抄本	青洲先生醫談	青洲先生醫談(18)						18	19.2×13.7		0585と筆蹟が似る
33	11		0518	抄本	青洲医談 全	医談(54)				表紙裏に藏 書シール貼 付	「山田氏藏書 印」	54	25.8×18.5		葉心に「医籍 攷・生生堂藏 書」と印字し た野紙を使用
34	11		0524	抄本	青洲先生医談	青洲先生医談(39)						39	23.0×16.1	改裝済	
35	11		0541	抄本	青洲医談 完	青洲先生医談(29)					「秘■之印」 「■門■房」 「■源■」「BO- K U S H I- SHOOKU- SHUJIN / 已殘利刃乃芒 乃屋■留■ ■」	29	26.5×18.2		
36	11		0588	抄本	青洲先生医談 全	青洲先生醫談 / 青 洲先生醫談二 / 青洲 医談(39)					「(日大) 歯学 史研究会34」 「谷津」	39	23.9×16.7		「一」の前に2紙、「二」の前に1紙、それぞれ目次を 附す
37	11		0620	抄本	青洲華岡先生醫 談 全	青洲華岡先生醫談 (36)						36	23.2×16.0		表紙裏に「活物理窮 青洲華岡先生醫談」と墨書す
38	11		0785	抄本	青洲華岡先生醫 談上	青洲先生医談 / 青洲 先生醫談前篇(22)		野州主人 大野雄鶴 平治方				22	24.1×16.3		第22紙に書き付けあり
39	11		0786	抄本	青洲先生著 醫談後篇	醫談後篇(25)	青洲先生著	嘉永二歳 西ノ五月 吉日東都於桃林軒寫 之下野國那須郡莊田 住人 大野雄鶴 平 治方	1849年			25	24.8×17.0		
40	11		0834	抄本	青洲先生医談 全	青洲先生医談(71)						71	25.0×17.4		「補陽湯」洗肝散の処方を書き記した切り紙1紙を挟 む(本文と筆蹟同じ)
41	11		0067	抄本	[青洲先生醫話]	青洲先生醫話(26)						26	23.5×16.5		

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装订 情況	備 考	
42	11		0651	抄本	紀州華岡青洲醫 談 全	青洲醫談／華岡青洲 醫談(59)	門人 渡 穂惟家 筆記					59	24.0×16.9	表尾1紙は裏 表紙裏の裏打 ち	裏表紙に上下顛倒して「外科秘法 全」と題す白紙 1紙を挟む下小口に「青洲医談」と墨書	
43	11		0752	抄本	[青洲華岡先生 医談]	青洲華岡先生医談 (32)						32	24.7×16.9			
44	11	21	0619	抄本	醫談	医談／青洲先生医談 ／癩科医談(39)	因州鳥取 垣田尚莖 傳					39	24.8×16.2		裏表紙裏に「奥州仙臺 志賀松栄傳之」と記す	
45	11		0205	抄本	青洲談	青洲醫談(37)	嘉永二西仲冬寫之 谷川文策	1849年			「和文」(未紙)	37	24.9×17.3		0216, 0218, 0219, 0220と同じ所藏印	
46	11		0206	抄本	青洲談 全	青洲醫談(37)	嘉永二西仲冬寫之 谷川文策	1849年			「谷川 印」 (第1紙)	37	24.6×17.2			
47	11		0004	抄本	青洲先生醫譚／ 鹿城先生醫譚	青洲先生醫譚(51)＋ 鹿城先生醫譚(12)		1821年				63	26.6×18.8		1. 青洲先生醫譚は三種の内容から成る①「乳岩」 ②「青洲先生曰」③「婦人～」A 5 丈の切り紙1紙あ り	
48	11		0002	抄本	鹿城先生醫談 写本 全	鹿城先生醫談(15)					「謙」	15	23.8×16.3			
49	11	43	0350	抄本	攝州大坂華岡鹿 城医談 截断篇	鹿城先生医談(10)＋ 截断篇(7)						17	24.9×17.2		0349に筆蹟が似る表紙右下に墨書「六番」か	
50	11		0120	抄本	鹿城醫談 青洲 醫談	鹿城医譚(17)＋青洲 先生医談(35)		1867年			「 印」	53(1)	24.0×16.5	改装済		
51	11		0685	抄本	鹿城医談 全	鹿城先生医談(20)		安政六己未年仲冬受 之於塾長本間氏者不 日草草中譯写尤多 殊不解者闕以待他日 一貫識(第2紙裏)	1859年			20(2)	23.7×16.0			
52	11		0778	抄本	鹿城先生醫談 全	鹿城先生醫談(23)				嵐山春星藏	「吳氏藏書之 印」	23	23.3×15.9	改装済		
53	11		0904	抄本	燈下醫談 全	燈下醫談(35)		于時安政四年己十二 月廿九日／樂山堂門 人／足立平／楠吉相 写之樂山堂授竹藤先 生(未紙)伯會山住人 ／于時安政四年己十 二月大晦日／立花堂 (裏表紙)	1857年	「樂山堂 門 人／立花堂 ／足立平藏 本」(表紙に 墨書)	表紙に陽刻角 印1種／「本 山」(第1紙)	35	25.6×17.6		裏表紙裏まで書き入れあり。下小口に書名を墨書。 「 燈下医談」	
54	11		0117	抄本	燈下醫談	燈下醫談(32)						32(2)	24.4×16.1	改装済		
55	11		0118	抄本	燈下医談 青洲 医談 鹿城医談	燈下医談(36)＋青洲 先生 医談(40)＋ ——(10)＋医談後 編(31)＋鹿城 医談 (13)						134(4)	24.0×17.1	改装済	末尾に「藥方」を記した紙片を貼付	
56	11		0743	抄本	燈下医談	燈下医談(27)		下野國那須郡 蛭田 主人 大野儀右之門 重 好子 大野雄鶴 平治方				27(1)	24.7×17.4			
57	11		0194	抄本	獨醫燈下医 談<青洲>	燈下醫談(36)						36	24.5×17.5			

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備考	
58	11		0516	抄本	燈下談 青洲華 岡先生口授 完 ()	燈下談 / 燈下医談 (59)	紀陽・花岡青 洲先生口授	天保六字乙未歲十月 寫 侯齋柳田真禮撰 藏(裏表紙裏)	1835年	「燈下談 和中金助氏 藏」と記し た紙片を挟 む	「佐伯圖書」	59	26.5×18.2	改装済(旧表 紙を新表紙に 貼付)		
59	11		0349	抄本	東郭医談 青洲 附言	東郭先生醫談 青洲 先生附言(38)		嘉永五壬午三月上弦 写之也森岡省庵	1852年			38	25.0×17.3		表紙右下に「十」とある右下に「十二」とある0342と 抄写者同じ	
60	11		0902	抄本	癯醫活談 卷之 上 ◆	癯醫活談篇卷上(61)	桂岡高階先生 口授				「西備水呑村 曾根藏書」	61(2)	24.4×16.2	改装済	0903と一組を成す未紙に本文と異なる筆蹟で「麻 沸湯」の処方を書す	
61	11		0903	抄本	癯醫活談 卷之 下 ◆	癯醫活談篇卷下(55)	桂岡高階先生 口授				「西備水呑村 曾根藏書」	55(1)	24.4×16.8	改装済	0902と一組を成す未紙に本文とは異なる筆蹟で処 方を記す	
62	12		0570	抄本	華岡 青囊秘録 全	青囊秘録(74)		黒川龍馬之写(第1 紙)嘉永四亥三月十 一日 於若府黒川謹 書之(第72紙)	1851年		有り(第1,第 74紙)	74(2)	16.8×12.0	罫紙を使用	表紙右上隅に「秘書」と朱書遊び紙に処方の書き込 みあり	
63	12		0141	抄本	(花岡) 青囊秘 録 全	青囊秘録(39)	青洲花岡先生 口授				「大濱・河野藏 書」	39	23.6×15.7		「花岡家秘傳書 十二冊」(木函入り)の一冊。所藏 印の他に印二種あり。「昔請者不越於三十日」、「不 許出于他外」前者を消去した上に後者を押す。他に 消去された印影1種が見える。「河野圖書」	
64	12	52	0735	抄本	青囊秘録	試用丸薬方(1)+青 囊秘録(33)+[經]本 秘傳之(2)		大野雄鶴 平治方				37(1)	24.9×17.1			
65	12		0232	抄本	青囊秘録 全	青囊秘録(35)						35	23.9×16.1		裏表紙なし/ 第10紙まで罫 紙	
66	12		0270	抄本	青囊秘録 全	——(44)		萬延二改文久元辛酉 歲四月上院日野之	1861年			44	24.2×15.0			筋波秀齋藏 書
67	12		0341	抄本	青囊秘録 全	——(41)						41	24.9×17.8		表紙に「華岡先生」とある	
68	12		0346	抄本	青囊秘録 全	——(51)					有(第1紙)	51(6)	23.8×16.8		罫紙を使用 版心に「春林軒」とある	
69	12		0437	抄本	青囊秘録	華岡青洲先生青囊録 (30)						30	24.2×17.0		末尾に「倉光明經除病品頌流水抜料」を附す	
70	12		0438	抄本	青囊秘録(完)	青囊秘録 全(39)+ 青囊秘録補遺(4)						47(4)	24.1×17.0		裏表紙裏に書き付け一紙(15.2×18.3cm)貼付	
71	12		0625	抄本	青囊秘録	青囊秘録(51)						51	26.4×19.5			
72	12		0703	抄本	青囊秘録 青洲 先生口傳 完	青囊秘録(24)		佐藤友藏(表紙に署 名/本文と筆蹟同 じ)			「谷津藏書」 「能効子浦北 村補遺軒」丁百 成■家	24	28.0×18.5		紀の川市の著録は「青囊秘録・青洲先生口授(全)」 とする裏表紙裏まで抄写白紙1紙を挟む	
73	12		0764	抄本	青囊秘録 全	青囊秘録(30)		嘉永五子年 八月吉 日野之野州住人 大 野龍女 平治方	1852年			30	25.0×17.8			
74	12		0821	抄本	青囊秘録	青囊秘録(24)+紀伊 花岡先生秘録青囊秘 録補遺/青囊秘録附 方/春林軒青囊秘録 補遺(2)						36	27.0×18.1			

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	總紙數 (内遊紙數)	寸法	装丁情況	備考
75	12		0695	抄本	青囊秘録 全	青囊秘録(32)		天保九戊戌歲秋九月 重陽后一日京都於得 理軒寫急橋本西洲益	1838年			32	24.4×17.4		第12,13紙の間に器具の図を描いた紙片を挟む。白 紙多數を挟む
76	12		0587	抄本	青囊秘録	青囊秘録(32) + 医方 新古辨(44)						76(1)	23.8×16.0		表紙に「六番 全」と朱書紙片數枚を挟む。付箋を 貼付した箇所あり下小口に「青囊秘録 全」と墨書
77	12		0960	抄本	青囊秘録(未調 査)							0			
78	12		0066	抄本	[青囊秘録]	青囊秘録(27) + 天荷 秘録(3)						30	23.5×16.5		
79	12		0314	抄本	[青囊秘録]	青囊秘録(49)						49	24.3×17.1		複製本と思われる
80	12		0520	抄本	[青囊秘録]	青囊秘録(44)						44	24.3×17.0		書き付け1紙(縦16.3×横55.6cm)を挟む
81	12		0626	抄本	[青囊秘録]	青囊秘録(37)		飯田宗仙抄				37	26.5×18.9		罫紙を使用
82	12		0233	抄本	[青囊秘録]	青囊秘録(42) + ————(10)						52	24.5×17.2		後半の無題のものは「青囊秘録」に取められていな い如方等を他書から転録したもの(第43紙に経緯 を記す)
83	12		0754	抄本	[青囊秘録]	青囊秘録(51)					「嚴松堂古典 錦波多野■■■ 書」	51	23.2×16.2		「昭和八年一月卅日」の日付の入った値札を末紙に 貼付第9紙に付箋貼付
84	12		0908	抄本	[青囊秘録]	青囊秘録(34)	青洲先生口授				「那須氏圖書 記」(第1紙、 陽刻角印)	34	24.5×16.7		裏表紙裏まで書き入れあり
85	12		0666	抄本	青洲先生青囊秘 録	青囊秘録(41)		井上道貞(末紙の署 名)			「忍・城南文 庫」	41	24.3×17.0		白紙1紙を挟む
86	12		0675	抄本	[青洲先生青囊 秘録]	青洲先生青囊秘録/ 青囊秘録(31)		安田有郷寫之			「忍・城南文 庫」「■■■氏 印」	31	21.4×14.8		白紙1紙を挟む
87	12		0354	抄本	花叟十書青囊秘 録 全	栗崎家五方(5) + 校 正十書華岡青囊秘録 (16)		文政九年丙戌四月上 旬於紀州花園塾中村 秀行寫之	1826年			21	15.5×19.9		
88	12		0185	抄本	春林軒青囊秘録	青囊秘録(51)	春林軒花園青 洲先生編著	養眞齋赤沼利三■■校				51	24.1×17.0		末尾の識語には「花園隨軒青洲先生編著」と記す。
89	12		0528	抄本	青洲翁青囊秘録	青洲翁青囊秘録(10)		此主 七山順道				10	23.0×16.0		「島藤丸」の処方を記した紙片1紙(縦16.7×横22. 8cm)を挟む
90	12		0624	抄本	花園青囊秘録 全	青囊秘録(34)						34(1)	23.5×17.0		0621と同じ罫 紙を使用
91	12	42	0907	抄本	[青囊秘録 青 洲治験]	花陵青囊神秘録 (24) + 青洲先生治験 録(12)		昔時午歲寫之本誤多 且法方少矣今以久米 氏所記之本補之于時 文化十有一年甲戌歲 四月寫于南紀平山之 各舎南窓下上毛原澤 菴(第1紙)	1814年			39	24.7×17.3		
92	12	22	0554	抄本	青囊秘録 青洲 花岡先生金瘡治 療口授 金瘡要 術口授	青囊秘録(12) + 青洲 花岡先生金瘡治療口 授(20) + 金瘡要術口 授(19)					第2紙に蔵書 印2種あるも 判読不能	55(4)	23.1×15.2	改裝済	第1, 14, 26, 36, 56紙は白紙。元の表紙と見られ る題箋が剥離した痕跡あり

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	總紙數 (内遊紙數)	寸法	装丁情況	備 考
93	12	23, 24, 34, 41	0246	抄本	青蘘秘録 乳岩 準附録 痢疾瑣 言 辨乳岩 蘘 舌診要訣 疔瘡 辨名	青蘘秘録(23)+痢疾 瑣言(85.5)+乳岩準 附録(3.5)+辨乳岩 證并治法草稿(5. 5)+舌診要訣(2. 5)+疔瘡辨名(4)	青洲花園翁口 授					41	27.5×18.0	0242~0248は 装丁情況同じ	
94	12	0272		抄本	花園先生秘書	瘡科瑣言(100)					引田岩花	100	24.4×16.6		
95	12	0146		抄本	(花園)天刑秘 録 疔瘡辨名 合	天刑秘録(5)+疔瘡 辨名(9)	青洲先生著				「大澤・河野藏 書」	14	23.6×15.7		「花園家秘傳書 十二冊」(木函入り)の一冊。所蔵 印のほか印二種あり。「借讀者不越於三十日」, 「不許出于他外」
96	12	24, 23	0615	抄本	[天形秘録 疔 瘡辨名 辨乳岩 證 乳岩準附 録]	天形秘録/天刑秘録 (5)+疔瘡辨名 (6)+辨乳岩證并治 方(8)+乳岩準附録 (7)						27	23.3×15.6	改装済	外表紙裏に「疔瘡辨名 乳蘘辨 出此卷中」と墨書
97	12	43, 11	0242	抄本	天刑秘録 截断 篇 青洲先生医 譚	天刑秘録(3)+截断 篇(8)+青洲先生医 譚(21)						36(3)	27.5×18.0	0242~0248は 装丁情況同じ	
98	12	0745		抄本	天刑秘録 全	天刑秘録(6)	華岡青洲				「呉氏藏書之 印」	6	23.4×16.0	改装済	
99	12	0540		抄本	[天刑秘録]	天刑秘録(4)	青洲先生著				3種有り、「 澤圖書」ほか 2種判読不能	4	22.8×16.0		
100	12	0148		抄本	春林軒諸家秘伝	春林軒諸家傳伝(66)		于時安政五年之歲霜 見月吉日 寫(第65紙 裏)右本 主ヨリ急 速返入申来不分昼夜 荒筆不可他見 春林 軒秘藏	1858年			66(1)	24.0×16.7	再改装済/第 10紙まで罫線 あり。第11紙 以降は罫線な し/第66紙 (遊び紙)は原 本の裏表紙か	前半部分が缺けた原本を改装し、更に比較的最近 再改装したと見られる。第65紙に書き付けあり。
101	13	24	0191	抄本	漫遊雜記 ◆	漫遊雜記(58)+攝陽 書林柳原積玉園醫書 版目録(1)	獨嘯菴先生著	書肆 好古堂明和元 年中申九月吉日 大 阪心齋橋通北久太郎 町 柳原喜兵衛梓寛 政八年丙申五月 浪 華書林 心齋橋北久 太郎町 河内屋喜兵 衛	1796年		59	25.8×17.9		亀井魯の「序」、獨嘯菴の「跋」あり。	
102	13	0190		抄本	漫遊雜記 全	漫遊雜記(53)	赤間關 菴 著					53	24.0×16.8		裏表紙裏まで書き入れあり
103	13	0688		抄本	漫遊隨筆 ◆ 記聞	京遊隨筆(裏表紙) (61)						61	24.2×16.0		下敷用方眼紙1紙を挟む

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考
104	13		0967	抄本	湯菰雜記◆(未調査)							0			
105	13		0805	刊本	叢桂偶記 二◆	叢桂偶記 卷之二 (35)	水戸待醫 南陽原昌克子柔著	書肆「京都 須原屋平左エ門/大阪 秋田屋大右エ門/江都 須原屋伊八/水戸 須原屋安次郎」			「鈴木氏圖書記」/裏表紙から剝離した紙に「泉金」の黒印あり	35	25.5×17.2		0806と一組を成す巻末に「寛政十二年庚申(1800年)秋 門人 大谷恭謹識」の識語あり下小口に「叢桂偶記下」と墨書
106	13		0806	刊本	叢桂偶記 一◆	叢桂偶記 卷之一 (38)	水戸待醫 南陽原昌克子柔著				「鈴木氏圖書記」	38	25.5×17.2		0805と一組を成す巻頭に「寛政己未(1799年)仲春 門人 大谷恭謹識」の識語あり下小口に「叢桂偶記上」と墨書
107	13		0815	抄本	長崎医言開書	雜病 花岡青洲秘方録(11)		仙處士 清川右門記于時天保十一庚子秋 従松川授之	1840年		陰刻角印2種(第2紙)/「徳廣」(陽刻角印, 第11紙)	11	25.5×17.1	裏打改裝済	触書様の反故紙を裏打紙に使用
108	13		0204	抄本	備忘録	——(20)						20	25.0×17.6		外題上に小字で「固察他見」と記す処方等を記した書き付け1紙「青洲先生■方」(縦24.5×横35.0cm)を挟む
109	20		0250	刊本	外科正宗 卷一◆	台州荻荻先生校正 外科正宗 方蘭圃藏版卷之一(114)	崇川 陳實功 毓仁女 纂著	1671年(巻四による)				114	25.5×18.0		0250~0253で1組記の川市の注記に「輸入り」とあるも、異なる複製の序文があり、書名に「重刻~」「刻~」「新刊~」などが冠される
110	20		0251	刊本	外科正宗 卷二◆	新刊外科正宗 卷之二(107)	崇川 陳實功 毓仁女 纂著	1671年(巻四による)				107	25.5×18.0		
111	20		0252	刊本	外科正宗 卷三◆	新刊外科正宗 卷之三(104)	崇川 陳實功 毓仁女 纂著	1671年(巻四による)				104	25.5×18.0		
112	20		0253	刊本	外科正宗 卷四◆	新刻外科正宗 卷之四/新刊外科正宗 卷之四(115)	崇川 陳實功 毓仁女 纂著	寛政辛亥四月/芳蘭閣藏皇朝書肆 林權兵衛/林伊兵衛/武村嘉兵衛 發元	1671年			115	25.5×18.0		奥付面に朱印一種あるも判読不能
113	20		0107	抄本	外科正宗記聞	外科正宗記聞 乾(田泰紙外題)/外科正宗記聞 上篇(47)		天保六乙未歲夏六月 於水月齋藥寫得之	1835年			47	22.5×15.8	改裝済	
114	20		0116	抄本	外科正宗記聞	外科正宗記聞(99)						99	23.7×16.4	改裝済	
115	20		0127	抄本	外科正宗記聞	外科正宗記聞 坤/外科正宗記聞 下篇 二/外科正宗記聞 二篇(52)						52	22.5×15.7	改裝済	
116	20		0338	抄本	外科正宗集注	外科正宗集註(17)		時文久三亥初冬也古 川東陽源春震	1863年			17	24.2×17.1		裏表紙裏まで抄写巻2, 3, 4 紙および表紙裏に抄写者の書き込みあり0347と同一人物による抄写
117	20		0409	刊本	外科百効全書 卷一◆	明 大醫院醫官金鑑居 中編/日本 水見道齋 郎光齋校/伊良于光顯士揚 撰 刻外科百効序(4)+ 外科百効全書小引(3)+新刻秘授外科百効全書目録(5)+新刻秘授外科百効全書卷之一(23)	寶曆壬午春三月	1762年				35	27.5×18.0		虫損甚し0409~0414で一組を成す

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸 法	装丁情況	備 考
118	20		0410	刊本	[外科百効全書 卷之二] ◆	新刻秘授外科百効全 書卷之二(34)	明 大醫院醫 官金給慶居中 伏水 見道齋 郎光齋校					34	27.5×18.0		虫損甚し0409~0414で一組を成す題箋欠損
119	20		0411	刊本	外科百効全書 卷之三 ◆	新刻秘授外科百効全 書卷之三(43)	明 大醫院醫 官金給慶居中 伏水 見道齋 郎光齋校					43	27.5×18.0		虫損甚し0409~0414で一組を成す
120	20		0412	刊本	外科百効全書 卷之四 ◆	新刻秘授外科百効全 書卷之四(27)	明 大醫院醫 官金給慶居中 伏水 見道齋 郎光齋校					27	27.4×17.9		虫損甚し0409~0414で一組を成す
121	20		0413	刊本	外科百効全書 卷之五 ◆	新刻秘授外科百効全 書卷之五(22)	明 大醫院醫 官金給慶居中 伏水 見道齋 郎光齋校					22	27.4×17.9		虫損甚し0409~0414で一組を成す
122	20		0414	刊本	外科百効全書 卷之六 ◆	新刻秘授外科百効全 書卷之六(18)+藏板 目録(18)	明 大醫院醫 官金給慶居中 伏水 見道齋 郎光齋校	皇城書舖 山田三良 兵衛 中西卯兵衛 合梓				18	27.3×17.8		虫損甚し0409~0414で一組を成す
123	20		0580	刊本	[外科百効全書] ◆	新刻秘授外科百効全 書卷之一(35)	明 大醫院醫 官金給慶居中 伏水 見道齋 郎光齋校				「松涛館」	35	27.0×17.8		寶曆壬午(1762)伊良子光顯土楊撰の序あり 0580~0584で一組を成す下小口に「百効」と墨書虫 損甚し
124	20		0581	刊本	[外科百効]全書 卷三 ◆	新刻秘授外科百効全 書卷之三(43)	明 大醫院醫 官金給慶居中 伏水 見道齋 郎光齋校				「松涛館」	43	27.0×17.8		寶曆壬午(1762)伊良子光顯土楊撰の序あり 0580~0584で一組を成す下小口に「百効」と墨書
125	20		0582	刊本	外科百効全書 卷四 ◆	新刻秘授外科百効全 書卷之四(27)	明 大醫院醫 官金給慶居中 伏水 見道齋 郎光齋校				「阿知波藏書 印」「松涛館」	27	27.0×17.8	第27紙(末紙) は裏表紙に貼 付	0580~0584で一組を成す下小口に「百効 四」と墨 書虫損甚し
126	20		0583	刊本	外科百効全書 卷五 ◆	新刻秘授外科百効全 書卷之五(22)	明 大醫院醫 官金給慶居中 伏水 見道齋 郎光齋校				「松涛館」	22	27.0×17.8		0580~0584で一組を成す下小口に「百効 五」と墨 書虫損甚し
127	20		0584	刊本	外科百効全書 卷六終 ◆	新刻秘授外科百効全 書卷之六(17)	明 大醫院醫 官金給慶居中 伏水 見道齋 郎光齋校				「松涛館」	17	27.0×17.8		0580~0584で一組を成す下小口に「百効 六」と墨 書虫損甚し

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸 法	装丁情況 「關場用箋」と 印字された紙 紙を使用	備 考
128	20	0452	0452	抄本	鎌田玄臺 外科 起廢 十冊 ◆	—— (4)	昭和五年十二 月十一日講話 行父口授	抄寫・ 刊行情報	1930年			4	23.8×18.2		0453, 0454に關連すると見られる
129	21	0235	0235	抄本	花岡先生口授	瘍科鎖言(39)	紀伊華岡震伯 行父口授					39	23.9×17.1		裏表紙裏に書き付けあるも判読不能
130	20	0047	0047	抄本	外科起廢 壹 ◆	外科起廢 卷之一 (45)	大洲医 官 鎌 田先生 口授 授門人 豫州 吉田 松岡 玄馨 筆記門 人 豊後 岡 羽原 恭/男 鎌田 鵬洲 新澄 全校					45	23.9×16.7		「凡例」→「麻沸湯論」→「卷之一」の順「凡例」→「男 鎌田 鵬洲 新澄 識」「麻沸湯論」…「門人 松岡 玄馨 謹識」0038/0056/0057/0058と關連ある か
131	20	0038	0038	抄本	外科起廢 二 ◆	外科起廢 卷之二 (68)	大洲医 官 鎌 田先生 口授 授門人 豫州 吉田 松岡 玄馨 筆記武 州 川越 中 篤 玄覺/男 鎌田 鵬洲 新澄 同校					68	23.9×16.8		
132	20	0056	0056	抄本	外科起廢 三 ◆	外科起廢 卷之三 (61)	豫州 大洲医 官 鎌 田先生 口授 門人 豫州 吉田 松岡 玄馨 筆記門 人 田					0			
133	20	0057	0057	抄本	外科起廢 四	外科起廢 卷之四 (55)	豫州 大洲医 官 鎌 田先生 口授 門人 豫州 吉田 松岡 玄馨 筆記門 人 肥後 宇 鎌田 鳳洲 新澄 同校					55	23.8×16.8		
134	20	0058	0058	抄本	外科起廢 五	外科起廢 卷之五 (43)	豫州 大洲医 官 鎌 田先生 口授 門人 豫州 吉田 松岡 玄馨 筆記門 人 長州 萩 飯田 玄仲男 鎌田 鳳洲 新澄 全校					43	23.8×16.8		

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内選紙數)	寸法	装订情况	備 考
135	20		0451	抄本	外科起廢 ◆	——(1)					鎌田玄臺著	1	19.7×7.2	題箋様のもの のみを厚紙 (23.6×15.7) に貼付したも の	紀の川市管理番号なし0453、0454に関連すると見 られる
136	20		0453	抄本	[外科起廢 乾] ◆	外科起廢 乾(小口 題)(110)				關場不二彦	「關場文庫」 (巻首白紙)「第 「理堂生」(第 93紙裏)	110(1)	23.5×15.7	版心に「理堂 書厨」と印字 された裏紙に 墨書。図は罪 無しの料紙 使用	筆写の日時を記した箇所あり裏紙の左下に「昭和 己巳以降」と印字並び紙袋の中に「昭和五…起筆」 との経緯を記す裏紙(16.1×23.5cm)あり
137	20		0454	抄本	[外科起廢 坤] ◆	外科起廢 坤(小口 題)(107)		辛未二月二十五日終 于南軒之下理堂道人	1931年	關場不二彦	「關場文庫」 (巻首白紙)「第 98紙」「理堂 生」(第99紙) 「東英会津人」 (第104紙)	107	23.4×15.7		0453に後続
138	20	11	0538	抄本	外科大成 全	外科大成/青洲先生 医談(35)		(裏表紙)木庄 亀沢 町 土屋様 向通波 江道純物町 渡邊 吉朗 外科医			「昇 島之印」 「号 檜 齋」/ 0519、0521、 0539と所蔵印 同じ	35	23.4×15.3		
139	20		0440	抄本	外科大全 ◆	外科大全 卷一(45)						45	24.0×16.9		「天保十五年甲辰(1844)藤瀬大村重行識」の「凡例」 あり。途中まで版心に書名・項目等の書き入れあ り。
140	20		0661	抄本	外科方室 全	楊科方室(54)	紀房華岡青洲 先生選	弘化三年丙午中冬吉 日調之写者也字治良 輔	1846年		「宇治宜徴」	54	24.3×16.8	「染水堂藏」と 印字された紙 紙を使用	
141	20		0696	抄本	外科方 選 全 ◆	外科方選(57)	鎌田桂洲先生 /門人筆記					57	23.5×16.8		下小口に「外科方選」と墨書
142	20		0154	抄本	外科門	——(45)	青洲華岡先生 口授					45	25.0×17.5		
143	20		0457	抄本	外科小補 卷之中 上完 卷之中 本/外科起廢 論評 ◆	外科小補 卷之上 (備前金川 東里難 波直伯温 著) (13)+起廢 甲之卷 (鎌田玄臺 外科起 廢)(2)+起廢 乙之 卷(2)+外科小補卷 之中/起廢 丙之卷 (3)				關場不二彦	「關場文庫」	22	27.8×19.9	改装済	改装後の表紙は「外科小補」に誤る
144	20		0283	抄本	華岡氏相傳外科 法	——(20)		文政二卯秋江良賢禮 傳	1819年			20	23.9×16.0		抄写情報は表紙に書かれたもの

資料 番號	分類 コード	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	總紙數 (内、遊紙數)	寸 法	装丁情況	備 考
145	20	0801	抄本 (切紙)	華岡青洲外科口 義 他	陰瘡論 第四十四 (9) + 傷寒發頭 第 四十五(2) + 鶴口疽 第四十九(10) + 龍泉 疽虎鬚毒 第五十 (4) + 穿蹄疽 第五 十一(2) + 翻花瘡 第五十四 + 腋 離 (8) + 腋 第五十 五(0.5) + 脇 離 第五十五(3.5) + 鼻 痔 第五十七(2) + 骨槽風 第五十八 (1)				「岡地仙助」	「大同 藥室秘 藏圖書」(各紙 に押印)	0		木製の函に切 り紙10点およ び紙袋1点を 取む	
146	20	15, 53, 0222 12	抄本	吉雄并華岡外科 雜書	吉雄流外科書(16) + 青囊堂雜書(5) + 唐 傳遠明齋秘方(2) + 春林軒日用膏方 (5) + 青囊秘錄拔萃 (7)		安政二年乙卯春正月 中旬寫於寄寓寄松 月樓	1855年	長州 和田 文明藏書		35	24.5×16.7		
147	20	34 0182	抄本	[内 外 科 秘 要 完]	内外科秘要 / 外科秘 要(51)	青洲先生傳	慶應三年丁卯月九月 上浣寫於北總津安部 香山草廬之南■原本 菅蔭湖來田崎勝齋氏 所寫於江戸淺草■春 堂藥舎也原本有目錄 今之更提之上標者 余之寫時所為也 熱 田登庵識	1867年			51	23.6×15.8	改装済	第1紙, 第41紙に熱田登庵の書き付けあり
148	21	52, 53 0817	抄本	〔華 露〕 癩科方 案 膏 術 附 屬 秘 書 全	卷 木 綿 傳 書 善 (6) + (華露) 癩科 方 案 膏 術 丸 散 秘 書 附 屬 全(77) + (華 露) 膏 術 丸 散 秘 書 (38)					「土屋 藏 書」 (表紙裏) / 第 1 本 第 42, 77 紙 に 三 種 あり	121	25.7×19.6	藍色の表紙を 備える 2 本を 合綴したもの	2本を合綴。各本の外題を内題として録す下小口 に「華露癩科方案并膏法散方」と墨書第2本第23紙 に「花岡隨賢美術著」とある
149	21	52 0762	抄本	花岡 癩科方案 同 丸散録	癩科方案 / 癩科方案 (43) + 丸散録(14)						58	26.9×18.7	改装済	
150	21	52, 53 0323	抄本	[癩科方案ほか]	癩科方案(31) + 春林 軒丸散方記(14) + 春 林軒膏方便覽拔萃 (10) + 青囊秘錄(8)						63	24.0×16.7	0322と装丁同 し	遊び紙にも書き付けあり
151	21	52, 53 0200	抄本	[癩科方案 外 施方 丸散録 膏方]	春林軒 癩科方 案 (61) + 春林軒外施方 (7) + 春林軒丸散録 (16) + 春林軒膏方 (5)						93	23.2×15.9	罫紙。版心に 「齊信堂」。	
152	21	0079	抄本	癩科方案	春林軒癩科方案(69)						69	20.0×13.0		
153	21	0081	抄本	癩科方案	癩科方案(75)					有	75	24.0×16.4		
154	21	0111	抄本	癩科方案	癩科方案(84)					二印あり。判 読不能。	84(9)	23.1×16.2	改装済(旧表 紙は無題)	蔵書印色が濃しく撮影不能
155	21	0115	抄本	癩科方案	——(62)	富藤杏■					62	24.4×17.2	改装済	末尾に和歌の書き付けあり

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	總紙數 (内遊紙數)	寸法	装订 情況	備 考
156	21		0140	抄本	(花園) 癩科方 笈 全	癩科方笈(78)					「大濱・河野藏 書」	78	23.6×15.7	末尾1紙は改 装時に裏表紙 に貼付	「花園家秘傳書 十二册(木函入り)の一册。所蔵 印の他に印二種あり。「借讀者不越於三十日」。「不 許出于他外前者を消去した上に後者を押す。他に 消去された印影2種が見える。「河野圖書」「河野氏 印」
157	21		0218	抄本	癩科方笈	癩科方笈(36)					「■」文	36	23.3×15.7		0205, 0216, 0219, 0220と同じ所蔵印
158	21		0249	抄本	[癩科方笈]	癩科方笈(23) + ■ ■ 袖珍方笈后篇上/ ■ 英袖珍方后篇卷 之上[ボウドイン] (24) + 沃度綱多斯 (50) + 大坂緒方病院 製剤方(5)					「高橋」	200	8.5×18.3	罪紙を綴じて 冊子としたも の	予め綴じられた冊子に複製種を抄写したものの筆跡 に數種あり紀の川市リストの注記に「緒方塾で使 用か? 明治期」とある1., と2., の間に書き付け 1紙, 1., と4., の間に書き付け10紙, 4., の後に 書き付け5紙あり。
159	21		0267	抄本	[癩科方笈]	癩科方笈(68)		渡邊■進				0			題箋欠損。「癩科」らしき2字のみ判読可能
160	21		0359	抄本	癩科方笈 完	——(114)				「油小路 大村藏書」 →「村上景 沖」		114	22.5×16.5	刊本と抄本を 複数合綴する /版心に「全 生堂藏」と 入った白紙の 罪紙で章を分 けて装丁(一 部書き込みあ り)	下小口に「癩方」と墨書医道の戒めを記した文あり 「但後 石城醫渡邊貫之賦之」(第14紙)
161	21		0389	抄本	癩科方笈 全	癩科方笈(46)						46	18.0×12.4	罪紙を使用	版心下に「春林軒」とある第46裏および裏表紙裏に 書き入れあり
162	21		0390	抄本	癩科方笈	——(67)					黒角陰刻印 「野崎氏」朱 印「野崎之印」 「■」固	67	19.6×13.7		
163	21		0441	抄本	癩科方笈	癩科方笈(55)		文化十三歳丙子二月 月	1816年	「大島」(第 1紙裏に墨 書)		55	24.7×17.5		
164	21		0449	抄本	癩科方笈	癩科方笈(122)		砂川杏軒(裏表紙裏 に署名, 本文と同筆 蹟)				122	23.4×16.0		
165	21		0532	抄本	[癩科方笈]	癩科方笈(46)						46	24.0×17.0	表裏で表紙の 紙質が異なる	第1紙一部欠損題箋あるも、題名を記す部分欠損
166	21		0711	抄本	[癩科方笈]	癩科方笈(53)						53(1)	23.4×16.4	改装済	題箋刻落表紙裏に目次を貼付。本文とは筆蹟が異 なる未紙に墨書する処方一条も目次の筆蹟に似る
167	21		0763	抄本	癩科方笈 全	癩科方笈(44)		野州住人大野龍玄平 治方				44	25.5×17.8		
168	21		0766	抄本	癩科方笈	癩科方笈(20) + 春林 軒法方録(20) + 春林 軒丸散録(12) + 丸散 便覽序(1) + 丸散方 考(13) + 諸家丸散方 (3)					丸形朱印「登 田」(第1紙)	70(1)	23.0×16.6	罪紙を使用	下小口に「癩科方笈」と墨書
169	21		0767	抄本	癩科方笈 全	癩科方笈(89) + 梁火 先生秘一(1)			1834年			90(2)	23.6×17.0		裏表紙裏に「黄」字を墨書

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸 法	装丁情況	備 考
170	21		0777	抄本	蕪科方笈 全	蕪科方笈(34)				風山春星藏	「吳氏藏書之 印」	34	23.8×16.6		
171	21		0807	抄本	蕪科方笈	蕪科方笈(40)						40	22.8×16.5	改装済(表紙 を新調)	
172	21		0844	抄本	蕪科方笈 全	蕪科方笈(31)				裏表紙に 「小笠原 ■方」と墨 書	「櫻氏」(陰刻 角印)「文柳」 (陰刻角印)と もに第1、2、 10、15、52、69 紙	72	25.1×16.5		末尾3紙は「一奇方 経験」と題する書き付け
173	21		0247	抄本	蕪科方笈 全	蕪科方笈(33)						33	27.5×18.0	0242~0248は 装丁情況同じ	
174	21		0104	抄本	春林軒蕪科方笈 略	春林軒蕪科方笈略 (59)						59	23.0×15.4		
175	21		0188	抄本	花岡蕪科方笈 全	和田家三物湯(2)+ 蕪科方笈(18.5)+鳥 藤丸 主癩毒精蕪方 (0.5)	紀州 花岡著	田島求馬寫之(第23 紙)	1855年(第 3紙に「嘉 永寅七」と ある)			24	24.3×17.2		第2~3紙および第23紙は「蕪科方笈」とは別の文
176	21		0808	抄本	蕪科方笈	蕪科方笈(48)	南紀 花岡青 洲編輯					48	25.9×16.0		末尾に処方を書いた切り紙2紙貼付「杏雨書屋藏 書目録」コピー、メモ書き2紙を挟む
177	21		0573	抄本	華岡先生 蕪科 方笈 全	蕪科方笈(107)	華岡青洲先生 口述				「五十嵐藏書」	107	13.3×18.5		題箋の「華岡先生」は朱書
178	21		0585	抄本	「春林軒蕪科方 笈」	春林軒蕪科方笈(43)	青洲花岡先生 選	松本於端内先生塾元 治二乙丑歲四月寫之 [移] 中野文都詳謙	1864年		「文 都 詳 謙」 「詳謙」	43	19.7×15.5		表紙裏・裏表紙裏ともに抄写者とは別人による書 き入れあり0586と筆蹟が似る。「高橋太郎」と記し た紙片(幅2.5×11.5cm)を挟む
179	21		0659	抄本	青洲先生[蕪科 方笈]	蕪科方笈(31)						31	24.0×16.5		題箋一部剝落虫損甚し
180	21		0356	抄本	春林軒蕪科方笈	春林軒蕪科方笈(88)	青洲花岡先生 選 門人江中 賢世藏校					88	19.2×13.7		裏表紙裏まで書き入れあり
181	21		0432	抄本	蕪科方笈抜萃 春林軒秘方 花 岡先生	(内題)春林軒秘方/ (尾題)蕪科方笈抜萃 (4)						4	24.4×16.5	黙紙を使用/ 表紙は裏表と も半紙様のもの を用い、ス テーブル止め	本文は厭紙に毛筆で筆写したものの外題はペン書き と見られる
182	21		0680	抄本	[外科学 全]	蕪科瑣言 全(56)+ 蕪科方笈 全(31)						88(1)	23.0×16.5	再改装済/蕪 科方笈の目録 2紙は綴られ ずに第1紙の 前に挟まれて いる	書背に「外科学 全(卷冊)」と墨書下小口に「外科 全」と墨書「外科学」は再改装者が合綴した際に付 けた題と見られる
183	21		0770	抄本	[高] 蕪科方笈 全	蕪科方笈(69)						0		改装済(旧表 紙は新表紙に 貼付)	題箋にて「高」字を○で囲む表紙に「写本」と記した 帯を巻く旧表紙に「高階社園先生蕪科方笈」と墨書 旧表紙裏まで書き入れあり
184	21		0069	抄本	[蕪科方笈]	蕪科方笈(59)						59	23.5×16.5		
185	21		0077	抄本	[蕪科方笈]	蕪科方笈(37)						37	24.0×16.7		
186	21		0078	抄本	[蕪科方笈]	蕪科方笈(87)						87	23.2×15.4		

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考		
187	21		0087	抄本	瘍科瑣言	瘍科瑣言(33)	青洲先生口授 三編敬節 述 小川桐香 校 渡辺義齋 録					33	26.0×18.0				
188	21	11	0003	抄本	瘍科瑣言／青州 医談	瘍科瑣言(57)＋青州 医談(36)					「本多」	93	23.3×16.3				
189	21	24	0574	抄本	花岡瘍科瑣言 附疔瘡乳癌	疔瘡辨名(5)＋瘍科 瑣言／外科大成瘍科 (尾題)(74)＋乳岩治 術秘訣(6)＋乳岩準 附録(6)						91	17.3×12.0	0571.0572, 0574は装丁同 し／表紙の内 張が御難			
190	21		0080	抄本	[瘍科瑣言]	春林軒瘍科瑣言／瘍 科瑣言(111)＋古今 齋胤井先生伊呂波歌 (111)	杏株堂 表紙裏	西川 粧(裏 表紙裏)				111	22.6×15.6				
191	21		0082	抄本	瘍科聖諦 卷之 一二	瘍科聖諦(90)						90	23.0×15.5		「文化乙亥孟夏 壺心・中川故其徳撰」の序1紙あり(1815年)。		
192	21		0083	抄本	[瘍科瑣言]	瘍科瑣言(75)						75	23.5×15.5				
193	21		0132	抄本	瘍科瑣言	瘍科瑣言(83)					「美成堂圖書 記」	83	24.4×16.8	改装済(旧表 紙なし)	目錄あり第1紙に「花岡氏之書也」と朱書す		
194	21		0151	抄本	瘍科瑣言	瘍科瑣言(45)	青洲先生口授 ／門人 播 三 敬 節 選 (第3紙) 淡 小南 竜校					45	24.9×17.4	改装済(旧表 紙なし)			
195	21		0153	抄本	[瘍科瑣言]	瘍科瑣言上篇／瘍 科瑣言下篇(84)	青洲華岡先生 口授				「塾村氏印」	84(2)	24.3×16.5	反故紙を遊び 紙に使用	反故紙「青洲華岡先生口授」上篇「青洲花岡先生口授」 下篇「(口授)を木幅に渡る」		
196	21		0054	抄本	瘍科瑣言	瘍科瑣言(109)					「石原藏書」	109	24.4×17				
197	21		0187	抄本	瘍科瑣言 全	瘍科瑣言(81)	花岡震口授				2種あり。「土 屋氏藏書印」 「得」	81	24.3×15.8		第1紙袋の中に書き付けの紙片(縦6.0×横4.0cm) 1紙あり。		
198	21		0201	抄本	[瘍科鎖言]	瘍科鎖言病名／瘍科 瑣言(85)	文政五年壬午年冬十二 月寫於寛心齋中后藤 長敬	1822年				85	23.1×15.7	罫紙			
199	21		0203	抄本	春林軒瘍科方笈	春林軒瘍科方笈(65)				鳥華堂藏 (第63紙)		65	24.4×16.6	改装済。改装 時に旧表紙を 新表紙に貼付	改装後の表紙に「鳥花堂」と朱書。		
200	21		0219	抄本	瘍科鎖言卷之上	瘍科鎖言卷之上(56)					「■文」	56	23.7×15.8		裏表紙裏まで書き入れあり。0205, 0216, 0218, 0219 と同じ所蔵印		
201	21		0220	抄本	瘍科鎖言卷之下	瘍科鎖言卷之下(42)					「■文」	42	24.2×16.1		0219に後続0205, 0216, 0218, 0219と同じ所蔵印		
202	21		0226	抄本	瘍科瑣言 上	瘍科瑣言(46)	文政八年乙酉夏林鐘 下二日青洲大先生秘 書悉傳授之而已吉田 春菴	1825年				46	25.7×18.5	改装済(旧表 紙を新表紙に 貼付)		0227へ続く	
203	21		0227	抄本	瘍科瑣言 下	瘍科瑣言(37)						37	26.0×18.5	改装済(旧表 紙を新表紙に 貼付)		0226に後続	

資料 番號	分類 コード①	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考	
204	21	0245	抄本	蕪科瑣言	蕪科瑣言(44)	青洲先生口授 業/門人 播 三敬節撰/淡 小圃校					44	27.5×18.0	0242-0248は 装丁情況同じ	三輪敬節を「三敬節」と記す	
205	21	0340	抄本	蕪科鎖言	蕪科鎖言(61)	青洲先生口授	弘化四年■伊花大作 采乃正月十五日上■ 郡八池村■■■■	1847年	山崎雄盛		61	24.8×17.2			
206	21	0560	抄本	蕪科瑣言 全	蕪科瑣言(35)	青洲先生口授					35	24.7×17.0			
207	21	0598	抄本	蕪科瑣言 全	蕪科瑣言(40)	華岡隨賢著/ 紀伊 青洲 花岡隨賢口述					40	26.5×16.5		裏表紙裏にも書き入れあり	
208	21	0611	抄本	[蕪科瑣言 乾]	蕪科瑣言上篇/上巻 (49)	紀州平山 青 州 華岡 隨賢 著述					49	22.9×16.2	改裝済	題箋あるも劣化甚だしく判読不能(612と一組を成 す)	
209	21	0612	抄本	蕪科瑣言 坤	——(31)	中州華岡先生於外塾 中写之					31	22.8×16.3	改裝済(旧表 紙は新表紙に 貼付)	611と一組を成す旧表紙裏に目次を記す	
210	21	0674	抄本	[蕪科瑣言]	蕪科瑣言(113)						113	23.8×16.4			
211	21	0707	抄本	[蕪科瑣言]	蕪科瑣言(37)	青洲先生口授	門人 三敬節 撰 淡小圃校(第3紙)	1846年			37(1)	23.8×16.5	罪紙を使用/ 表紙欠損		
212	21	0708	抄本	蕪科瑣言 全	蕪科瑣言上編/蕪科 瑣言下編(64)	青丹先生口授 /門人 播磨 三敬節 撰 小圃 葦 校 (第3紙)	于時弘化三丙午如月 ヨリ即月下句迄夜許 寫(未紙)				64	24.6×17.0			
213	21	0710	抄本	[蕪科瑣言]	蕪科鎖言/蕪科瑣言 (106)	南紀 青洲先 生口授					106(2)	24.4×17.2	遊び紙2紙は 表紙から剝離	題箋剥落下小口に「蕪科鎖言」と墨書す白紙1紙を 挟む	
214	21	0216	抄本	蕪科瑣言	——(30)+青丹撮 要(3)+蕪科瑣言 (23)						56			未紙に「弟」と題する「邑井琴山」記名入りの一文あ り。0205、0218、0219、0220と同じ所藏印「和田醫 兄」宛の信書1通(縦15.9×横29.7cm)を挟む	
215	21	0238	抄本	[蕪科瑣言]	蕪科瑣言卷之二/卷 之上//卷之二/卷 之下(71)+小兒鼻 竇(3)	青洲花岡先生 口授/土府 宮地良集	明治二歳次己巳二月 二日於浪花金城之西 南長堀之屋鋪裏御池 通六坊之大成館窓下 写(第71紙)于時慶應 四歳次戊辰七月廿六 日於大阪長御邸之裏 町御池通六丁目大成 館窓下写(第74紙)				74	23.8×16.2	表紙なし	小口書き分けから考えて、元来、四本合本であった うちの後半2本に当たると見られる綴じ部に紙數 表示らしきものあり。	
216	21	0748	抄本	[蕪科瑣言]	蕪科瑣言(94)	青洲先生口授					94	24.7×16.8		紙數を墨書	

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考
217	21	0750		抄本	[蕪科鎖言]	蕪科鎖言(57)	青洲先生口授					57	23.8×16.6	版心に「女洋 堂」とある紙 紙を使用	
218	21	0753		抄本	蕪科鎖言	蕪科鎖言(84)	青洲先生口授					84	24.7×17.0	表紙裏に「古書印賣聯合會」の値札を貼付	
219	21	0769		抄本	蕪科鎖言	蕪科鎖言(76)		桐原居士写於南紀龍 門館(第76紙)				76	27.5×17.6	改装済	下小口に書名を墨書した痕跡あり
220	21	0772		抄本	蕪科鎖言卷之一	蕪科鎖言／蕪科鎖言 (99)	青洲先生口授 ／播三敬節 撰門人淡 小圃校	時文政奏八四年四月 上旬	1825年	「渡辺氏」 (表紙裏に 墨書)	「渡邊」	99	23.4×16.3		裏表紙裏まで書き入れあり
221	21	0790		抄本	蕪科鎖言下全	蕪科鎖言下篇／外科 正宗記聞下篇(29)		大野龍玄平治方				29	24.5×17.0		
222	21	0816		抄本	蕪科鎖言全	蕪科鎖言(88)		文久元年夏卯月上旬 吉辰写 池田秀弘	1861年			88	24.0×16.8		裏表紙裏に「錦源堂芳涯先生」と墨書
223	21	0143		抄本	(花園)蕪科鎖 言全	蕪科鎖言(90)	青洲華岡先生 口授				「大濱・河野藏 書」	90	23.6×15.7		「花岡家秘傳書 十二冊(木函入り)の一冊。所藏 印の他に印二種あり。「借讀者不越於三十日」、「不 許出于他外」前者を消去した上に後者を押す。他に 消去された印影1種が見える。「河野圖書」
224	21	0175		抄本	蕪科鎖言上 下	蕪科鎖言上 下 (51)	南紀 青洲先 生口授					51	24.5×17.0		
225	21	0336		抄本	[蕪科鎖言]	蕪科鎖言(66)	青洲華岡先生 口授				「松吉」	66	24.6×17.5		上下巻を一冊に抄写
226	21	0400		抄本	蕪科鎖言集注	蕪科鎖言(7)		高階桂園先生蕪科鎖 言ニ注解有之矣此ヲ 集メテ写ス因テ集注 ト名ク古川東陽源春 震 時ニ文久三亥仲 秋也	1863年		7	24.5×17.5		裏表紙裏まで書き入れあり	
227	21	0433		抄本	蕪科鎖言 乾坤	蕪科鎖言卷之上／蕪 科鎖言卷下／蕪科鎖 言下篇(49)		文政四年辛巳冬寫 又天保丁酉再写	1821年, 1837年	「古田氏」		49(1)	24.0×16.8		巻上と巻下の間に遊び紙1紙あり
228	21	0530		抄本	[蕪科鎖言]	蕪科鎖言(78)	青洲華岡先生 口授				「日根」	78	23.0×16.3		目錄2紙本文には一〜七十六まで紙敷を記入。
229	21	0547		抄本	蕪科鎖言 青洲 先生奥傳 奥藏 書	蕪科鎖言／記聞(84)	青洲先生口授					84	25.6×18.0		第51紙に「蕪科鎖言下」とある。あるいは「上」を欠 くか
230	21	0669		抄本	蕪科鎖言 春林 軒全	蕪科鎖言(60)		弘化五戊申年春王二 月二十有八日於若 小濱藩中吉井先生大 主人字治良輔写 之	1848年			60	24.0×16.8	改装済	裏表紙裏まで書き入れあり
231	21	0702		抄本	花岡先生 蕪科 鎖言	蕪科鎖言(52)	青洲花岡先生 口授	井上道貞				52	24.8×17.3		白紙1紙を挟む
232	21	0783		抄本	蕪科鎖言	蕪科鎖言上篇(35)	紀州花岡隨賢 著	大野雄鶴				35	25.2×17.1		

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	總紙數 (内遊紙數)	寸法	装丁情況	備 考
233	21	0810	抄本	[癡科鎖言]	癡科鎖言卷上/卷下 (82)	青洲先生口授 藩三敬節撰 淡小圃巻校						82	23.0×15.7	改装済	
234	21	0906	抄本	癡科鎖言 上下	癡科鎖言卷之上/癡 科鎖言(20)+癡科鎖 言下篇(17)	安政五戊午歲夏四月 二十有六日借用寫之	1858年					76	24.5×16.3		表紙に反放紙を使用(第75紙「陰毒」の一部を墨書)
235	21	0958	抄本	癡科鎖言 (未調査)	癡科鎖言 乾							0			
236	21	0959	抄本	癡科鎖言 (未調査)	癡科鎖言 坤							0			
237	21	0970	抄本	癡科鎖言(未調 査)	癡科鎖言(未調 査)							0			
238	21	0126	抄本	春林軒癡科鎖言	春林軒癡科鎖言/癡科 鎖言(71)							71	24.2×17.2	改装済	
239	21	0068	抄本	[蕪岡瑞軒先醒 癡科鎖言]	蕪岡瑞軒先醒 癡科 鎖言 上篇(25)+癡 科鎖言 卷之下(20)	青洲華岡先生 口授						45	23.5×16.5		
240	21	0555	抄本	[癡科鎖言]	癡科鎖言(92)	花岡先生著 日写綵	天保十三年寅六月吉 日写綵	1842年			[龍輔]	92	23.1×16.1		目次2紙
241	21	0657	抄本	癡科鎖言 全	癡科鎖言(83)	青洲華岡先生 著述	文政十三庚寅年中秋 下写写岡本宗謙 藏	1830年			[鈴木家藏圖 書]	83	23.0×17.0	罫紙を使用	上巻・下巻の合本下小口に「癡科鎖言」と墨書、地方 を記した紙片1紙(16.0×4.3cm)を挟む虫損甚し
242	21	0818	抄本	癡科鎖言 卷之 上	癡科鎖言卷上(20)	青洲華岡先生 口授					[鈴木家藏圖 書]	20(1)	25.0×16.4		0819と一組を成す
243	21	0819	抄本	癡科鎖言 卷之 下	癡科鎖言卷下(17)						[鈴木家藏圖 書]	17	25.0×16.5		0818と一組を成す
244	21	0820	抄本	[癡科鎖言]	癡科鎖言上篇/癡科 鎖言卷之上(24)+下 篇/癡科鎖言卷之下 (12)	青洲華岡先生 口授	文化十四年丁丑四月 上旬借和辻敬藏之本 寫之/和辻名言字明 卿膳州神東郡人/南 紀名手平山龍門館僑 居文政三年庚辰三月 上旬大橋氏敬藏之本 寫之	1817年 / 1820年			[君真堂藏書]	115	23.8×16.5		
245	21	0031	抄本	癡科鎖言	癡科鎖言(84)							84	22×15		裏表紙の裏に「脇田氏」との書き入れあり「癡」字 「准」なし
246	21	0536	抄本	癡科鎖言 天	癡科鎖言 完・天/ 癡科鎖言(45)		于時明治六癸酉秋九 月 於土陽弘岳中之 村成岡塾中拜寫是 川崎濟正道	1873年	和中金助			45(1)	25.8×18.0		表紙に誤って「坤」と記し、斜線で消したうえで 「天」と訂正する下小口に「癡科鎖言 乾」と墨書「癡 科鎖言 和中金助氏藏」と記した紙片を挟む0537 と一組を成す紙數「一〜四十二」を記入
247	21	0537	抄本	癡科鎖言 地	癡科鎖言(55)		于時明治六癸酉秋 菊月 於土陽弘園中 野村医師成岡修政塾 中謹而拜寫是 川崎 濟正道	1873年	和中金助 (「天」によ る)			55(1)	25.8×18.0		表紙に誤って「乾」と記し、斜線で消したうえで 「地」と訂正する0536と一組を成す紙數「四十三 〜九十六」を記入
248	21	0758	抄本	[癡科鎖言]	癡科鎖言(52)							52	27.0×19.5	改装済/0757 と料紙、装丁 同じ	0757と筆蹟同じ
249	21	0186	抄本	癡科神書	癡科神書(34)	青洲先生口授						34	26.7×18.0		裏表紙裏まで記述あり。

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考	
250	21		0195	抄本	〔東園〕 蕪科神 書 全	蕪科神書(37)	青洲先生口授	元治紀甲子冬十二月 十有一日子清香堂西 窓下讀寫竣功平野喜 章	1864年			37	23.4×16.4			
251	21		0133	抄本	蕪科神書	蕪科神書(29)	平安 梅歩長質記	常磐御所御内長柄熟 子写之(末尾の反 故紙に書き付け)				29	23.7×16.4	改装済		
252	21		0697	抄本	蕪科神書 全	金窟口授目録(1)+ 蕪科神書(36)		慶應三丁卯冬十二月 比留間■■行	1867年	「昭和拾乙 亥年春 十 松」	「竹内松印」 「豊行」	37	24.2×16.3		内容は金窟口授第10紙に写し忘れられた行を記した付箋状の紙を貼付裏表紙裏まで書き込みあり	
253	21		0174	抄本	蕪科神書	蕪科神書(50)	青洲先生口授					50	23.8×17.0			
254	21		0617	抄本	蕪科神書 全	蕪科神書(53)	青洲先生口授				「(日大) 歯学 史研究会265」 「谷津藏書」 「谷津」 「谷津」	53	22.6×15.7	裏紙を使用 (34~38を除く)	目次に従えば第45紙まで「蕪科神書」だが、第46~48紙も「蘆道」に関する記述第49紙以降「急急如律令」道光二十二年春などと記す雑文あ表紙裏に「表」と題する一文を裏書。付箋に「蘆小路触書写し」と鉛筆書き。	
255	21		0577	抄本	蕪科神言 完	蕪科神言(53)	青洲先生口授	加藤慶尋書(未紙)			「惠民堂藏書 記」「森氏圖 書」	53	23.1×16.3	罫紙を使用	「加藤慶尋」は浅田宗伯門人	
256	21		0034	抄本	〔蕪科聖蹟〕	蕪科聖蹟(81)						81	24×17		文化乙亥(1815年)壺山撰の跋を冠す	
257	21		0144	抄本	〔花園〕 蕪科口 訣	蕪科口訣(40)					「大濱・河野藏 書」	40	23.6×15.7		「花園家秘傳書 十二冊」(木函入り)の二冊。所蔵印の他に印二種あり。「借讀者不越於三十日」、「不許出于他外」前者を消去した上に後者を押す。他に消去された印影1種が見える。「河野圖書」	
258	21		0618	抄本	青洲花園蕪科方	春林軒蕪科方箋(57)	青洲花園先生 選				「岩 休々藏」 「玄達」「岩植 之印」	57	24.2×16.0		裏表紙裏に墨書された「天保■■■」を墨で消す(天保年間は1818~1829年)虫損甚し	
259	21		0787	抄本	蕪科聖蹟叙	蕪科聖蹟叙／蕪科聖蹟 卷之上／蕪科聖蹟 卷之(101)		中浦原郡本所村佐々 木長順				101		第89紙より紙 質が異なる	下小口に「蕪科」と墨書	
260	21		0157	抄本	蕪科叢話 乾	蕪科叢話(30)	青洲葉岡先生 口授／門人三 輪敬節筆記					30	25.0×17.3			
261	21		0424	抄本	蕪科 上 全	外科正宗解開／外科 正宗 解開書 卷上 (46)+青洲蕪科(37)		大島俊造 源秀弘 (両本とも)				83	23.5×16.5		抄写者署名の下下に花押あり	
262	21		0162	刊本	蕪科秘録 一 ◆	蕪科秘録 卷之一 (50)	本間玄調和卿		1847年(卷 十による)			50	25.8×16.6		1部12冊(もと3帙)に収む。本冊は初帙第1冊。巻頭に天保丁酉(1837)唐公撰撰「叙」及び天保八年(1837)本間玄調撰「自序」あり。以下、各帙の最初の冊の表紙裏に「葉軒本間先生著 蕪科秘録 自筆亭藏」との記述と発行者の印あり。	
263	21		0163	刊本	蕪科秘録 二・ 三 ◆	蕪科秘録 卷之二/ 蕪科秘録 卷之三 (45)	本間玄調和卿		1847年(卷 十による)		「鳥巢藏書」	45	25.8×16.6		1部12冊(もと3帙に収む)。本冊は初帙第2冊。	
264	21		0164	刊本	蕪科秘録 四之 上 ◆	蕪科秘録 卷之四 (35)	本間玄調和卿		1847年(卷 十による)		「鳥巢藏書」	35	25.8×16.6		1部12冊(もと3帙に収む)。本冊は二帙第1冊。	
265	21		0165	刊本	蕪科秘録 四之 下 ◆	蕪科秘録 卷四(30)	[本間玄調和 卿]		1847年(卷 十による)			30	25.8×16.6		1部12冊(もと3帙に収む)。本冊は二帙第2冊。0164に後続。版心の葉數表示「三十五」以降。	

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日 (巻 十による)	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸 法	装丁情況	備 考
266	21		0166	刊本	蕪科秘録 五 ◆	蕪科秘録 卷之五 (27)	本間玄調和卿		1847年(巻 十による)			27	25.8×16.6		1部12冊(もと3帙に収む)。本冊は二帙第3冊。
267	21		0167	刊本	蕪科秘録 六 ◆	蕪科秘録 卷之六 (25)	本間玄調和卿		1847年(巻 十による)			25	25.8×16.6		1部12冊(もと3帙に収む)。本冊は三帙第1冊。
268	21		0168	刊本	蕪科秘録 六之 下◆	蕪科秘録 卷之六 (24)	[本間玄調和 卿]		1847年(巻 十による)			24	25.8×16.6		1部12冊(もと3帙に収む)。本冊は三帙第2冊。 0167に後続。版心の葉數表示「二十五」以降。
269	21		0169	刊本	蕪科秘録 七 ◆	蕪科秘録 卷之七 (20)	本間玄調和卿		1847年(巻 十による)			20	25.8×16.6		1部12冊(もと3帙に収む)。本冊は三帙第3冊。
270	21		0170	刊本	蕪科秘録 八之 上◆	蕪科秘録 卷之八 (32)	本間玄調和卿		1847年(巻 十による)			32	25.8×16.6		1部12冊(もと3帙に収む)。本冊は三帙第4冊。
271	21		0171	刊本	蕪科秘録 八之 下◆	蕪科秘録 卷之八 (33)	[本間玄調和 卿]		1847年(巻 十による)			33	25.8×16.6		1部12冊(もと3帙に収む)。本冊は三帙第5冊。 0170に後続。版心の葉數表示「三十二」以降。
272	21		0172	刊本	蕪科秘録 九 ◆	蕪科秘録 卷之九 (17)	本間玄調和卿		1847年(巻 十による)			17	25.8×16.6		1部12冊(もと3帙に収む)。本冊は三帙第6冊。
273	21		0721	刊本	蕪科秘録 一 ◆	(活物鑿理) 蕪科秘 録/蕪科秘録卷之一 (50)	本間玄調和卿 著	弘化四年丁未仲冬横 山町三丁目 和泉屋 金右衛門刊行(巻之 十による)	1847年	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		50	22.5×15.5	版心に「自筆 亭藏」とある 墨紙使用	0162参照。0721～0730十冊一組表紙裏に刊行者印 あり
274	21		0722	刊本	蕪科秘録 二・ 三◆	蕪科秘録卷之二/蕪 科秘録卷之二	本間玄調和卿 著	弘化四年丁未仲冬横 山町三丁目 和泉屋 金右衛門刊行(巻之 十による)	1847年	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		45	22.5×15.5	版心に「自筆 亭藏」とある 墨紙使用	0721～0730十冊一組表紙裏に刊行者印あり
275	21		0723	刊本	蕪科秘録 四之 上◆	蕪科秘録卷之四	本間玄調和卿 著	弘化四年丁未仲冬横 山町三丁目 和泉屋 金右衛門刊行(巻之 十による)	1847年	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		35	22.5×15.5	版心に「自筆 亭藏」とある 墨紙使用	0721～0730十冊一組表紙裏に刊行者印あり
276	21		0724	刊本	蕪科秘録 四之 下◆	蕪科秘録 卷四	本間玄調和卿 著	弘化四年丁未仲冬横 山町三丁目 和泉屋 金右衛門刊行(巻之 十による)	1847年	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		30	22.5×15.5	版心に「自筆 亭藏」とある 墨紙使用	0721～0730十冊一組表紙裏に刊行者印あり
277	21		0725	刊本	蕪科秘録 五 ◆	蕪科秘録卷之五	本間玄調和卿 著	弘化四年丁未仲冬横 山町三丁目 和泉屋 金右衛門刊行(巻之 十による)	1847年刊行	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		27	22.5×15.5	版心に「自筆 亭藏」とある 墨紙使用	0721～0730十冊一組表紙裏に刊行者印あり
278	21		0726	刊本	蕪科秘録 六 ◆	蕪科秘録卷之六	本間玄調和卿 著	弘化四年丁未仲冬横 山町三丁目 和泉屋 金右衛門刊行(巻之 十による)	1847年刊行	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		49	22.5×15.5	版心に「自筆 亭藏」とある 墨紙使用	0721～0730十冊一組表紙裏に刊行者印あり
279	21		0727	刊本	蕪科秘録 七 ◆	蕪科秘録卷之七	本間玄調和卿 著	弘化四年丁未仲冬横 山町三丁目 和泉屋 金右衛門刊行(巻之 十による)	1847年刊行	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		20	22.5×15.5	版心に「自筆 亭藏」とある 墨紙使用	0721～0730十冊一組表紙裏に刊行者印あり
280	21		0728	刊本	蕪科秘録 八 ◆	蕪科秘録卷之八	本間玄調和卿 著	弘化四年丁未仲冬横 山町三丁目 和泉屋 金右衛門刊行(巻之 十による)	1847年刊行	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		65	22.5×15.5	版心に「自筆 亭藏」とある 墨紙使用	0721～0730十冊一組表紙裏に刊行者印あり
281	21		0729	刊本	蕪科秘録 九 ◆	蕪科秘録卷之九	本間玄調和卿 著	弘化四年丁未仲冬横 山町三丁目 和泉屋 金右衛門刊行(巻之 十による)	1847年刊行	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		17	22.5×15.5	版心に「自筆 亭藏」とある 墨紙使用	0721～0730十冊一組表紙裏に刊行者印あり

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	總紙數 (内、遊紙數)	寸法	装订 情况	備 考
282	21	0730		刊本	瘍科秘録 十	瘍科秘録 卷之十 (56) 十玉齋堂製本書 目(56)	本間玄調和柳 著	弘化四年丁未仲秋横 山町三丁目 和泉屋 金右衛門刊行(卷之 十による)	1847年刊行	「上田」(表 紙裏に墨 書)		58	22.5×15.5	版心に「自準 亭藏」とある 野紙使用	0721～0730十冊一組表紙裏に刊行者印あり
283	21	0173		刊本	瘍科秘録 十	瘍科秘録 卷之十 (56) 十玉齋堂製本書 目(56)	本間玄調和柳	弘化四年丁未仲秋横 山町三丁目 和泉屋 金右衛門	1947年			56	25.8×16.6		1部12冊(もと3帙に収む)。本冊は三帙第7冊。 扉に「常州本間氏自準亭撰版」版心下部に「自準亭 藏」と底本を記す。巻頭に花岡青洲・丹波元聖の書 を掲げ、本間高佐の識語あり。また、受業者、川又 誠等述の凡例あり。
284	21	0176		刊本	續瘍科秘録 一	(序や書など) (13) + 續瘍科秘録 卷之一(36)	本間玄調和柳	安政六年己未孟春	1859年		「黄雲舎本間 氏藥宝記」	50	25.8×16.6		
285	21	0177		刊本	續瘍科秘録 二	續瘍科秘録 卷之二 (40)	本間玄調和柳 (巻一による)	1859年(巻 一による)	1859年(巻 一による)		「黄雲舎本間 氏藥宝記」	40	25.6×16.6		
286	21	0178		刊本	續瘍科秘録 三	續瘍科秘録 卷之三 (40)	本間玄調和柳 (巻一による)	1859年(巻 一による)	1859年(巻 一による)		「黄雲舎本間 氏藥宝記」	40	25.6×16.6		
287	21	0179		刊本	續瘍科秘録 四	續瘍科秘録 卷之四 (38)	本間玄調和柳 (巻一による)	1859年(巻 一による)	1859年(巻 一による)		「黄雲舎本間 氏藥宝記」	38	25.6×16.6		
288	21	0180		刊本	續瘍科秘録 五	續瘍科秘録 卷之五 (45) + 葉軒本間先生 著述目録(1)	本間玄調和柳 (巻一による)	1859年(巻 一による)	1859年(巻 一による)		「黄雲舎本間 氏藥宝記」	48	25.6×16.6		
289	21	0731		刊本	續瘍科秘録 一	續瘍科秘録 卷之一 (50)	葉軒本間先生 口授	安政六年刊行	1859年	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		50	22.5×15.5	版心に「自準 亭藏」とある 野紙使用	0731, 0732, 0733, 0734, 0751で一組を成す巻頭に 安政五年の識語あり扉に発行者の印あり
290	21	0732		刊本	續瘍科秘録 二	續瘍科秘録 卷之二 (40)	葉軒本間先生 口授	安政六年刊行(巻一 による)	1859年	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		40	22.5×15.5	版心に「自準 亭藏」とある 野紙使用	0731, 0732, 0733, 0734, 0751で一組を成す
291	21	0733		刊本	續瘍科秘録 三	續瘍科秘録 卷之三 (40)	葉軒本間先生 口授	安政六年刊行(巻一 による)	1859年	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		40	22.5×15.5	版心に「自準 亭藏」とある 野紙使用	0731, 0732, 0733, 0734, 0751で一組を成す
292	21	0734		刊本	續瘍科秘録 四	續瘍科秘録 卷之四 (38)	葉軒本間先生 口授	安政六年刊行(巻一 による)	1859年	「上田」(裏 表紙裏に墨 書)		38	22.5×15.5	版心に「自準 亭藏」とある 野紙使用	0731, 0732, 0733, 0734, 0751で一組を成す
293	21	0751		刊本	續瘍科秘録 五	續瘍科秘録 卷之五 (46)	葉軒本間先生 口授	安政六年刊(巻一に よる)	1859年	「上田」(表 紙裏に墨 書)		46	22.5×15.5	版心に「自準 亭藏」とある 野紙使用	0731, 0732, 0733, 0734, 0751で一組を成す末尾に 「葉軒本間先生著述目録」(門入川又誠等識語)を附 す
294	21	0261		刊本	瘍醫新書 首卷	瘍醫新書(30)	遠四 老男佐 徳乙速的盛 著撰	東都書堂青黎閣藏 文政乙酉冬新刊	1825年		「清原」	30	25.8×17.7	扉は表紙裏に 貼付	扉に発行者印らしきもの「■■■開正本記」と、図柄 のみの丸印あり0261～0264を1帙に収める
295	21	0262		刊本	瘍醫新書 卷之 一	瘍醫新書卷之一(28)	日本 若 杉田 翼 文 白 起業東興 楓 茂實 女澤 翻譯江 都醫官 桂川 國寧 清遠 參園(第1紙) ／男 茂頼 文伴 東興 佐々木 知芳 中澤 長門 鳥田 通興 智的 全載 (第28紙)					0	25.8×17.7		0261～0264を1帙に収める

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸 法	装丁情況	備 考
296	21	0263		刊本	痲醫新書 卷之二 ◆	痲醫新書卷之二(28)	遠四 老撈の盧 協乙速の日本 著撰 / 杉田起 若來 杉田起 翼 玄白 大槻 業東 奥 女澤 茂質 女澤 翻譯江都醫官 桂川 國寧 清遠 參園 (第1紙)男 茂積 玄幹 / 東奥 佐々木 知芳 門 田 長 門 鳥田 通英 智的 全較(第28紙)					28	25.8×17.7		0261~0264を1帙に取める
297	21	0264		刊本	痲醫新書 卷之三 ◆	痲醫新書卷之三(27)	遠四 老撈の盧 協乙速の日本 著撰 / 杉田起 若來 杉田起 翼 玄白 大槻 業東 奥 女澤 翻譯江都醫官 桂川 國寧 清遠 參園 (第1紙)男 茂積 玄幹 / 東奥 佐々木 知芳 門 田 長 門 鳥田 通英 智的 全較(第27紙)					0			0261~0264を1帙に取める
298	21	0563		抄本	痲家大成 ◆	痲家大成卷之一(85)	杉田午風先生 著 / 門人東奥 建部由水・門 人信陽在阪其 馨 同校	1791年				85	27.2×18.7	新調した帙に 取める。題箋 未記入	末紙抄写者署名の横に鉛書きあり「入■」
299	21	0217		抄本	痲科秘録主治方 拔萃 全	——(24)						24(3)	24.8×17.0		表紙裏に目録あり
300	22	0189		抄本	華岡流金創口授 卷 全	華岡流金創口授 / 金 創口授(29.5) + 痲科 神書(1.5)	青洲先生口授	1850年				33	24.5×17.4		第1紙「華岡流金創口授目録」の次に「痲科神書」 (1葉半)が混入している。末紙に「此書秘秘也謹而 不可他見」と墨書
301	22	0322		抄本	[金創要術 金 創口授筆記]	金創要術(24) + 金創 口授筆記(7) + [無 題の図版、卷本縮圖 or 接骨圖か] (9)						40	24.0×16.7	0323と装丁同 し	表紙に「今村御先生様」と墨書
302	22	0558		抄本	金瘡口授 膏藥 方 合卷全	——(14)	青洲華岡先生 口授					14	24.5×16.8		表紙に墨書あり「季秋作」[「脩竹■」]
303	22	23, 43	0102	抄本	金創口授 乳岩 辨 乳岩準 截 斷篇	金創口授(17) + 乳岩 辨(6) + 乳岩準 (5) + 截斷篇(7)	紀陽花岡青洲 先生口授					35	24.0×16.7	改装済(旧表 紙なし)	「乳岩準」の下に「附録也」の語あり

資料 番號	分類 コード	分類 コード	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考
304	22	25、 28	0215	抄本	青洲先生口授 金創口授 同方蘇 湯火傷之治方 蘇 骨之法療卷木綿之 寸法	青洲先生金創口授/ 金瘡方蘇/湯火傷治 方/整骨法/卷木綿 寸法(22)	青洲先生口授					22	24.7×16.5		表紙に五首の題を併記するとは別に「青洲先生 口授 全」と墨書(紙數の内訳) 1. 第1紙表1行 目~13表2/2. 13裏1~17表11/3. 17表12~20 裏11/4. 20裏12~22裏7/5. 22裏8~22裏11
305	22	25、 28	0660	抄本	青洲先生金創 瘡口訣	青洲先生辨金瘡 治法書 金瘡口訣 (28)+花園圃軒青洲 先生接骨傳 青囊整 骨手術口傳(2)+青 囊金瘡整骨卷木綿術 (1)					「忍・城南文 庫」	31	24.2×17.4	裏表紙無し	白紙1紙を挟む
306	22	0032		抄本	[青洲先生金瘡 療治口授]	青洲先生金瘡療治口 授(20)		明治六年五月於觀流 軒寫之	1873年			20	25×17		
307	22	0033		抄本	[青洲先生金瘡 療治口授]	——(16)		明治六年五月	1873年	宇治藏書		16	25×17		外題・内題ともになし
308	22	0035		抄本	青洲先生金瘡口 授	青洲先生金瘡口授 (47)						47	24.5×17		
309	22	0049		抄本	[華岡先生金創 療治口授/華岡 先生口授]	華岡先生金創療治口 授(20)+華岡先生口 授(11)		慶應四戊辰九月寫之 桃林園重苗	慶應四戊辰 九月			46	24.6×16		外題なし
310	22	0072		抄本	[金創要術口授]	金創要術口授(40)	青洲華岡先生 口授 加集之 繙誌	文政九丙戌二月上旬 写之西五樂■	1826年			40			
311	22	0105		抄本	金創口授	金創口授(21)		幽蘭居士				21	23.2×16.0	改装済(旧表 紙なし)	
312	22	0125		抄本	金瘡要術口授	金瘡要術口授(32)	青洲華岡生口 授					32	23.7×16.8	改装済(旧表 紙なし)	
313	22	0142		抄本	[花園] 金創口 授 全	金創口授(30)+ ——(縫合圖) (1)+——(卷木 綿圖)(5)+花園金 創要術抄/金創要 術(11)					「大濱・河野藏 書」	47	23.6×15.7		「花園家秘傳書 十二冊(木函入り)の一冊。所藏 印の他に印二種あり。「借讀者不越於三十日」。「不 許出于他外」前者を消去した上に後者を押す。他に 消去された印影1種が見える。「河野圖書」
314	22	0243		抄本	金創口授	金創口授(28)						28	27.5×18.0	0242~0248は 装丁情況同じ	
315	22	0315		抄本	金瘡口授	華岡先生金刃撞打傷 治術傳(16)						16	24.8×17.3		第16紙に「南涯吉田孝識別口口」とある。吉田孝が 抄写したものを、更に別人が複写したもの。口は元 の落款の類の位置を示したものが表紙右下隅に書 き入れあり
316	22	0361		抄本	青洲先生金創口 授 全	青洲先生金創口 授(24)		文久三年亥重九於得 理軒写之 古川東陽 源春藏				24	24.1×17.0		0338, 0347と抄写者同じ
317	22	0374		抄本	[青洲先生金創 口授]	青洲先生金創口授/ 金創口授(26)						26	23.4×16.1		外題なし。「創」字を「創」に作る。
318	22	0406		抄本	南紀花園之傳 金瘡口授	金瘡口授 全(39)		天保二辛卯九月寫之 吉田一孝二男 堅浦	1831年	蘆田玄意		39(1)	25.8×18.0		第1紙は旧表紙の可能性あり裏表紙裏まで書き入 れあり
319	22	0425		抄本	金瘡口授 全	金瘡口授(39)		大島俊造(第1紙)于 時文化十冬十一月大 吉辰(第39紙)	1813年			39	23.5×16.5		

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内遊紙數)	寸法	装丁情況	備 考
320	22		0557	抄本	春林軒金瘡口授 全	青洲先生金瘡口授 (41)+外療道具師 (2)				「小在治氏 藏書」		43	25.2×17.6		
321	22		0632	抄本	青洲先生金瘡口 授 全	青洲先生金瘡口授 (12)+金瘡方 (10)+整骨法(2)						24	24.3×17.1	表紙・裏表紙 とも、反故紙 を挟んで綴じ る	
322	22		0648	抄本	金瘡口授 全	青洲先生金瘡口授 (27)					「忍・城 南文 庫」	27	24.5×17.0		裏表紙裏にも書き入れあり白紙1紙を挟む
323	22		0665	抄本	青洲先生金瘡口 授	外書秘事 青洲華岡 先生 金瘡口授(17)						17	23.2×17.0	改装済	白紙1紙を挟む下小口に「■■■金瘡」と墨書する が、文字の上下が欠けているところから見て、元の 抄本から一部を抜き出して改装したものである可 能性が高い。
324	22		0742	抄本	青洲先生金創口 授	青洲先生金創口授/ 金創口授(42)						42	22.7×15.5	裏表紙欠落	
325	22		0782	抄本	金瘡口授 全	金瘡口授(22)+整骨 (3)	大野 龍玄 平治方 瀉之					26(1)	25.2×18.0		
326	22		0784	抄本	金瘡口授 全	金瘡口授(29)+整骨 (4)	下野那須郷田住大野 雄鶴治方					34	24.8×17.2		
327	22		0803	抄本	[金創口訣]	外科摘要 全/金創 口訣(66)	天保七年丙申季夏日 寫之	1836年				66	27.0×19.3	改装済(一部 裏打)	巻頭に序文「文政二年(1819年) 龜田大彦東鑑誌」 あり「外科摘要 全」は旧表紙の外題
328	22		0663	抄本	青洲華岡先生口 授 金瘡治要	金瘡治要(20)	青洲華岡先生 口授					20	24.8×17.3		
329	22		0755	抄本	金瘡要術口授	金瘡要術口授/金瘡 要術(33)	華岡先生口授					33	25.2×17.4	改装済	表紙に書名を墨書した痕跡があるが殆ど消える木 の葉2枚を挟む
330	22		0380	抄本	金創口授 全	金瘡口授/金創口授 (28)	青洲先生口授	此参写■■■■ 高城文仲 (未載)				28	27.3×17.7	改装済	外題部に虫損あり表紙裏に、天地逆の印影二種あ り(黒・えびす像/文字朱印)。
321	22		0234	抄本	[青洲先生金瘡 口訣]	青洲先生金瘡口訣 (29)	門人 筑前廣 田沁子泉筆記 (第1紙)	嘉永五年壬午初秋於 嵯屋西窓下原田仲 齋 謹寫之行藏廿一 (第29紙)	1852年			29	24.5×16.5	裏表紙なし	
332	22		0630	抄本	金瘡口訣 完	青洲先生金瘡口訣 (29)						29	24.5×17.0		
333	22		0030	抄本	金瘡治法	青洲先生金瘡口授 (50)		高柜文化十五寅歲二 月廿三日	1806年	佐氏藏		50	22.5×15.7		
334	22		0113	抄本	金瘡治要	金瘡治要(20)	青洲華岡先生 口授	于時文久辛酉霜月寫 焉 荒平陳人	1861年			20	24.3×17.8	再改装済/裏 表紙1紙は反 故紙	
335	22		0130	抄本	金創要術	金創要術/華岡金創 要術口授/金創要術 口訣(30)	青洲華岡先生 口授	(第31紙)明治第二己 巳三月初旬 以富山 医官吉田杏庵子藏書 寫於鴨東武藤氏藥室 燈下 竹圃友仙(第 3紙)門人 加集之 綱誌	1869年			30	22.5×15.3	改装済	第19紙~「金創要術」,第29紙裏「整骨」は別行のも のを合わせた可能性あり
336	22		0135	抄本	金創要術	金創要術(25)+金創 要方(25)	華岡先生口授					25	25.4×16.4	改装済(旧表 紙なし)	合本と思われる

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	総紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁 情況	備 考	
337	22		0193	抄本	金瘡要術	金瘡要術/金創要術 口授(42)	華岡青洲著				「最樂園藏」	42	23.7×16.3	改装済	所蔵印は改装後のものか	
338	22		0325	抄本	金瘡要術	——(19)	華岡先生口授					19	25.7×17.5			
339	22		0616	抄本	金瘡要術	金瘡要術(35)	青洲先生口授			裏表紙に 「伴野良齋」 と墨書/0603, 0613, 0614と旧蔵 者同じ		35	23.6×15.7	改装済		
340	22		0905	抄本	金瘡要術(金瘡)	金瘡要術/青洲先生 金創要術(33)	青洲花園先生 口授					33	24.5×16.3			第20紙に「金瘡要方」と題す。第30紙には「巻木綿」、 第31紙には「整骨」の題も見える
341	22		0910	抄本	金瘡要術	金瘡要術(30)	青洲華岡先生 口授 門人筆 記	安政六年未十二月寫 之	1859年	「佐藤修齋 藏書」(裏表 紙に墨書)		30	24.7×17.4			裏心に「雁堂 稿本」とある 墨紙を使用
342	22		0064	抄本	青洲先生金瘡要 術	青洲華岡先生金瘡要 術/金瘡要術(23)	青洲花園先生 口授	北筑南衛社■■■姓 藏主文政四年 辛巳 秋 菊月 寫之	1821年		「南衛社」/外 題下に1種	23	26.8×18.9			
343	22		0627	抄本	金瘡要訣	金瘡要訣/金創要訣 (20)		于時慶應二丙寅年 冬十一月松代藩 吉原樂於南窓下酒井 信安行義寫(裏表紙 裏)	1866年		「谷津藏書」 「酒井」酒井 配初記	20	25.4×17.8			下小口に「金創要訣」と墨書
344	22	51	0427	抄本	青洲先生金瘡秘 録 并花園家雜 方録	青洲先生金瘡秘録技 萃(4)+花園氏雜方 (6)				「西肥二 葉傳」(表紙 に墨書)		10	24.2×16.1			裏表紙裏まで書き入れあり。裏表紙表に「明治八 年」青陽堂「■■■木助作見之」などの走り書きあり。
345	22		0209	抄本	花園金瘡秘書	金創口授(32)						32	24.0×17.2			「頭」「頂」など身体部位の名称を記した書き付 け1紙(縦15.3×横10.0cm)を挟む
346	22		0039	抄本	金創新書	金創新書(36)	紀州於于萃岡 加藤 ■■■達謹寫之					36	24.9×17.5			「州」字、異体
347	22		0181	抄本	華岡先生金瘡 完	青洲先生金創口授 (25)						25	23.1×15.6	改装済		
348	22		0371	抄本	金瘡秘話 全	金瘡秘話(12)+金瘡 秘話拾遺(5)						17	24.7×17.2			0314と同系統か
349	22		0231	抄本	青洲花園先生金 瘡奧傳	青洲先生金瘡療治口 授(20)		慶應四年秋七月大成 館窓下二写	1868年		「大成館藏」	20	23.3×16.2			第21紙(裏表紙に相当)裏まで書き入れあり「第二 十二」まで紙數表示あり
350	22		0668	抄本	青洲先生金瘡治 要 全	金瘡治要(29)	青洲華岡先生 口授					29	24.0×16.8	裏打ち改装済		
351	23		0137	抄本	(花園) 乳巖辨 全	乳岩辨(30)						30	23.6×15.7			「花園家秘傳書 十二冊」(木函入り)の一冊。所蔵 印の他に印二種あり。「借讀者不越於三十日」、「不 許出于他外」前者を消去した上に後者を押す。他に 消去された印影1種が見える。「河野圖書 第16紙 以降、図あり。
352	23	12, 24, 26, 34	0526	抄本	乳岩辨 附録 諸乳疾 天刑秘 録 疔瘡 弁明 痢疾 疳言 脚氣 翼方	乳岩辨(12)+天刑秘 録(5)+疔瘡辨名 (7)+痢疾 疳言 (9)+脚氣翼方(5)		維時廣化二自臘月翼 至正月月中旬寫之勝松 菴貞貞回藏之	1845年		「大濱・河野藏 書」	40	24.2×16.0			「廣化」は弘化のことか旧表紙に「疔瘡弁明 乳岩 弁」と墨書。「○腹診図書」を墨書して取消線で消す 旧表紙右 上隅に小口書きあり下小口に「乳岩弁 諸乳疾 天刑秘録 疔瘡弁明 痢疾 疳言 脚氣翼 方 全」と墨書

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内遊紙數)	寸法	装丁情況	備 考
353	23	51, 11	0542	抄本	乳岩辨 天間秘 録	乳岩辨(11)+三危附 辨(8)+天間秘録(4) 天形秘録(4)	華岡青洲著	弘化三年十二月写 之	1846年			26(1)	23.9×15.4	改裝済	改裝後表紙の外題はペン字旧表紙に外題あり「乳 岩辨」
354	23	0744		抄本	乳岩辨 全	乳岩辨(14)		野州主人大野雄鶴平 治方				14(1)	24.0×16.7		
355	23	0525		抄本	青洲乳岩辨 全	乳岩辨(11)+乳岩準 附録(9)	青洲花岡先生 口授					22(2)	23.6×16.8	改裝済	旧表紙に「紀陽青洲翁乳岩辨全」とある
356	23	0086		抄本	[乳岩辨]	乳岩辨(10)+青洲先 生施術記(15)+青洲 治例(9)						34	23.5×1 6.5		
357	23	54, 24	0813	抄本	(紀州華岡) 乳 岩準	辨乳岩症并治法中稿 (7)+乳岩準/乳岩 準并附録(7)+秘制 函(7)+家傳一子相 傳 第一麻沸散方 (2)+疔瘡辨名(8)		嘉永二己酉三月廿六 日 岸本精一(裏表 紙裏)	1849年		「精一」(裏表 紙裏)	31	23.4×16.1	改裝済	表紙「州」字を「劬」に作る
358	23	0429		抄本	乳岩録 完	乳岩録(7)		文化十四丁丑仲秋初 旬大嶋俊造 源弘	1817年			7	22.5×16.2		抄写者署名の下に花押あり
359	23	0037		抄本	乳岩秘方 全	乳岩治術秘訣/乳秘 録(16)+乳岩海附録 (16+附録(16)				梅花屋藏		16	23.1×15.3		
360	23	0551		抄本	[乳岩準]	乳岩準/辨乳岩症并 治法草稿(17)						17	24.7×16.7	表紙無し	図解あり
361	23	0332		抄本	乳岩準附録 疔 瘡辨名	乳岩準附録/乳岩附 録(6)+疔瘡辨名 (7)						13	25.0×17.3		
362	23	24, 26, 34	0109	抄本	乳岩準 疔瘡辨 明 脚氣翼 痢 疾遺言	乳岩準(9)+疔瘡辨 名(8)+脚氣翼 (6)+痢疾遺言(13)						38(1)	24.2×17.2	改裝済(旧表 紙白紙)	
363	23	26	0543	抄本	乳岩準 脚氣翼	乳岩準/辨乳岩證并 治法草稿(6)+乳岩 準附録(4)+脚氣翼 方(4)		維時文化十四歳夏於 紀州春林軒秘写之佐 野恒其德識(末尾)	1817年		「佐野恒其德 印」「常陽之 印」「壽堂」	17	23.5×16.7	改裝済	
364	23	0812		抄本	花岡 乳岩準附 録	乳岩準附録(24)						24(13)	20.0×14.7	罫紙を使用	第9紙に「濁活湯」のしおりあり
365	23	24	0519	抄本	乳岩秘訣并疔瘡 辨名 全	乳岩治術秘訣(7)+ 乳岩準附録(6)+疔 瘡辨名(6)						19	24.1×15.5		
366	23	26, 24, 52	0214	抄本	辨乳岩症 乳岩 準附録 脚氣翼 方 疔瘡辨名 丸散方考	辨乳岩症/辨乳岩證 并治法草稿(7)+乳 岩準附録(5)+脚氣 翼方(4)+疔瘡辨名 (6)+丸散方考(12)		文政八乙酉晚春下旬 日紀州伊都郡平山於 日新齋寫之吉田寿菴	1825年			35		改裝済	「丸散方考」は旧裏表紙の裏まで記入されていたと 思われる
367	23	0575		抄本	[乳岩刺潰 全]	乳岩刺潰(16)				「妻島一郎」 (裏表紙に 墨書)	4種。「石散之 印」「嵯峨」は か2印判読不 能	16	14.0×22.0	改裝済	改裝済

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考
368	23		0517	抄本	[乳巖集 蒸方略]	乳巖集附録(序・本 文)(10)+花岡蒸方 略(4)		于時文化七庚午夏六 月七日 門人 備後 野村鄂記文政八西正 月廿九日 信 更級 河島 小山玄敬 写 (第3紙)	1825年			14	25.8×16.5		
369	23	24	0631	抄本	乳岩秘訣 瘡辨名	乳岩治術秘訣(6)+ 乳岩準附録(5)+疔 瘡辨名(5)		天保六年未暮春上澁 寫于遠生堂塾洞雲堂 敏行小敏	1835年	「(日本) 蘭学 史研究会36」 「谷津」		17	23.2×16.0		
370	23		0578	抄本	南谿先生生々乳 之辨 全	生々乳之辨并方法 (18)						18	24.2×16.5		裏表紙裏まで書き入れあり
371	23		0963	抄本	青洲乳岩治療 (未調査)							0			
372	23	24, 52, 53	0757	抄本	(無題)	——「(癆疽)から 始まる(12)+乳巖 集附録/乳蒸方笈 (4.5)+吉益先生痘 瘡處劑(1.5)+青 洲花岡先生丸散方 (4)+普方便覽(8)		播磨三輪信子友 録 武藏宮部簡敬之南部 三浦簡藤夫 校			30	27.0×19.5	改装済/末紙 は裏表紙に貼 付/改装時に 下部が飛断さ れ、紙数を示 す文字の一部 欠損/0758と 料紙、装丁同 じ	処方の摘録集0758と筆蹟同じ	
373	23		0565	抄本	(無題)	——(15)						15	25.5×17.6	改装済/新調 した帙に取め る	乳巖に関する彩色の図13紙から成る
374	24		0590	抄本	疔瘡辨名	疔瘡辨名(7)	華岡震伯行父 著					7	25.0×17.3		裏表紙裏まで書き入れあり
375	24	23, 10	0576	抄本	[疔瘡辨名 乳 岩準附録 險症 百問 論齋吉益 答書 癩疾瑣 言]	疔瘡辨名(6)+乳岩 準附録(6)+險症百 問(9)+論齋吉益答 書(12)+癩疾瑣言 (11)						44	23.0×16.8	改装済	
376	24	23, 12	0119	抄本	疔瘡弁名 乳岩 辨 天明秘録	疔瘡弁名(6)+乳岩 辨(13)+天明秘録 (5)						24	23.6×16.4	改装済	
377	24	41, 51	0614	抄本	痘瘡百死形狀傳 全/青洲先生舌 診要訣/三光附 之辨	痘瘡百死形狀傳(15, 5)+青洲先生舌診要 訣(6.5)+三光附之 辨(7)		弘化午年 於 ■ 府春 林軒窓下写之 伴野 良齋	1846年	伴野良齋/ 0603, 0613, 0616と旧藏 者同じ		31(2)	22.9×15.8		
378	24		0435	抄本	痘瘡處劑略記 合本	桃井安貞痘瘡治療 (8)+齋珍治例(南 涯吉益先生著) (1)+大麻風治例 (1)+痘瘡略附記 (南涯吉益先生口授) (3)+花岡氏法機 (1)						20(1)	24.1×16.5	改装済	5の抄写者は0415と同一人物0430, 0434, 0446は旧 藏者同じ
379	24		0443	抄本	南涯先生 痘瘡 處劑略記 ◆	痘瘡處劑略記(3)	南涯先生	文化十五歳在戊寅春 正月移郷一丁平安橋 居宅大島弘	1818年			0			

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	総紙數 (内、逆紙數)	寸 法	装丁情況	備 考	
380	24		0603	抄本	痘疹要方 全	痘疹要方(30)				裏表紙に「采真堂伴野良齋」と墨書/0613, 0614と旧蔵者同じ	「強」	30	22.8×15.6	改装済		
381	24		0796	抄本	治痘用方 ◆	戴魯公先生治痘用方(20)	池田正直筆記 女孫成美撰次	嘉永二酉歲 三月吉 日下野國那須郡嵯田 住大野雄鶴治方	1849年			20	25.3×17.7			
382	24		0797	抄本	痘疹水鏡録 全	痘疹水鏡録(20)		野州住人大野龍玄平 治方				20	23.5×17.0		「安永戊戌(1778年)春」の楠恵風(南委)の言を引く讀破島■太沖文の歌語あり天明元丑(1781年)刊の書物を筆写したものか、	
383	24		0692	抄本	華岡先生著 痘疹要方 全	華岡痘疹要方/痘疹要方(16)						16	23.8×16.3	改装済(旧表紙は新表紙に貼付。裏表紙は剝離)	旧表紙の外題「華岡痘疹要方 全」	
384	25		0566	刊本	正骨範 圖說 ◆◆	正骨範/整骨範(41)	二宮彦可先生 著	文化四年丁卯季冬擁 鼻所蔵	1807年刊	靖共堂	2印あり、「■」 ■本之記」 ほか1種判読 不能	41	26.8×18.1	新調した帙に0567と共に収める		
385	25		0567	刊本	正骨範 圖說 ◆◆	正骨範(59)	瀧田二宮獻彦 可再著	文化五年戊申八月擁 鼻所蔵	1808年刊			59	26.7×18.2	新調した帙に0566と共に収める		
386	26		0594	抄本	脚氣翼方	——(6)	南紀華岡震輯					6	24.9×17.4			
387	26		0749	抄本	脚氣翼方 全	脚氣翼方(7)	南紀 華岡震 輯	安政四年巳十二月十 五日夜寫之小椋直幸	1857年			7	25.0×17.5			
388	27	22, 51	0804	抄本	[痔秘方録 他]	痔秘方録/痔秘方并 膏藥製全(9)+人參 神効(2)+金瘡療術 口授/金創治瘡手術 (10)+金創要方 (4)+整骨之法 (2)+養桂亭藏方 (原 南陽先生 著) (8)+治痛風方(0, 5)+散方(3.5)+丸 藥方(2)			TOKYO G. AN- SHODO SHOTEN 「痔」ラベル (表紙)/ [ISSEIDO] ラベル(裏 表紙裏)		52(11)	22.9×15.3	裏打改装済			
389	28		0593	抄本	春林軒整骨圖	——(25)		本宮竹村氏二面上野 正安寫			「橋本氏圖書 記」	25	24.0×16.9			
390	28	22	0145	抄本	(花岡) 整骨圖 縛帶圖 奇患圖 合冊	整骨圖(12)+卷木綿 圖(7)+奇患之圖 (28)						47	25.0×19.0		「花岡家秘傳書 十二冊」(木函入り)の一冊。所蔵印の他に印二種あり。「借讀者不越於三十日」、「不許出于他外」前者を消去した上に後者を押す。他に消去された印影1種が見える。「河野圖書」	
391	28	51, 26, 11	0345	抄本	整骨圖 并三光 附并 天刑秘録 脚氣翼方 鎖陰 治法記 青囊秘 録 六部	整骨圖(23)+三光附 辨(4)+天刑秘録 (3)+脚氣翼方 (4)+鎖陰治法記 (3)+青囊秘録(39)						80				

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内遊紙數)	寸法	装丁情況	備 考
392	28	0533		抄本	整骨巻木綿圖	——(18)						18	27.3×19.1	改装済	外題の下にもう一文字あるか表紙裏に「整骨巻木綿」と記した紙片を貼付全篇図解
393	28	0155		抄本	青洲先生正骨并 綿帯之圖	——(21)		此圖者花岡家之所秘 之圖也無神文血判若 不許見也文久元年辛 酉四月子受師傳而於 東都柳街渡建吉郎 先生塾中覽之松軒相 馬雄行藏	1861年			21	28.1×17.7	折り本(総紙 數欄の数値は 丁數)	
394	28	0535		抄本	[青洲先生正骨 圖并巻木綿]	青洲先生正骨圖并巻 木綿(12)						12	24.3×17.2	改装済	全篇図解
395	29	0050		抄本	青洲先生巻木綿 并整骨圖	——(9)						9	24×17		
396	28	0149		抄本	春林軒奇患圖	春林軒奇患遺秘之 四張奇患圖(4)				大邑重行藏	「河田藏書」	4	28.4×20.4	改装済	4枚の図解に表紙を付けて製本したもの
397	28	0230		抄本	春林軒奇患図	——(46)				下村良庵所 藏本(背表 紙に注記)		46	28.5×42.3	コピーを製本 したもの	
398	28	0823		抄本	(無題)	——(82)						82	25.8×17.0		彩色図説明文等無し「奇患圖」か
399	28	0333		抄本	青洲先生巻木綿 圖 附死活	戸田流死之定法 (1)+[巻木綿圖] (7)		三坂春洞				8	27.5×18.4		
400	28	0339		抄本		抄本	卷六綿圖和解	卷六綿圖和解(22)				22	23.9×16.7		表紙に「花岡先生講」とある第1紙に付箋を貼付 (5×1.2cm)
401	31	0737		抄本	瘰癧之辨 傷寒 之辨 小山先生	小山先生瘰癧之辨 (1)+[傷寒之辨] (2)			1849年			3	25.0×17.0		
402	32	0420		抄本	賀川産科記 一 小産 血塊 經 利 水腫 鼓脹	——(41)						41	24.8×17.5		
403	32	0419		抄本	賀川産科記 二 破水 胞衣 乳 子居 陰門 惡 阻 ◆	蘭齋先生産科記問卷 之二(32)	門人 備前 難波恭子敬 筆記石見岡 向 見道/日 吉田則連 士射 同校					32	24.8×17.5	改装済	
404	32	0418		抄本	賀川産科記 三 後胎 同 腹 食禁 難病 ◆	賀川産科記 三/蘭 齋賀川先生産科記問 三之卷(36)						36	24.8×17.5	改装済	
405	32	0416		抄本	賀川産科記 五 臨産 ◆	蘭齋賀川先生産科記 問 五之卷(31)						31	24.8×17.5		
406	32	0417		抄本	賀川産科記 六 回生 右肚胸肚 尻 右逆胎死胎 右逆産 死胎八 則 胞衣 産後 ◆	蘭齋賀川先生産科記 問六之卷/産科記問 卷之六(26)	門人 備前 難波恭子敬 筆記石見岡 向 見道/日 吉田則連 士射 同校					26	24.7×17.4		

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考
407	32		0442	抄本	蘭齋先生産科秘 要外傳(全)◆	産科秘要(外術)／外 傳(8)	蘭齋賀川先生	文化十三歳丙子二月 日大島(第1紙裏)	1816年	豆刈吉田鈴 木睦齋(裏 表紙裏)		8	23.5×16.5	改装済	
408	32		0455	抄本	産論翼 乾 ◆	産論翼叙(4)＋凡例 (2)＋産論翼目録 (2)＋産論翼乾之卷 (33)	阿州醫官賀川 玄迪子啓甫著					41	25.5×17.2		
409	32		0456	抄本	産論翼 坤 ◆	産論翼目録(1)＋産 論翼坤之卷(18)＋附 録治験二(十八條 (11)＋後序(2)		安永四乙未春三月京 師書肆 河南四郎兵 衛／河南喜兵衛大野 大野水甫兵衛江戸 須原屋茂兵衛	1775年	あり		32	25.5×17.2		
410	32		0544	抄本	産科秘示 乾 甲乙二冊 合本 ◆	産科秘示(35)	賀川滿定口 授・全滿篤著 述	皆天保甲午冬周正月 中五日 霞村 行重 極密寫之(第21紙)皆 于天保歳在甲午冬周 正月中茲日東江 圃 本攝行重 於文雅堂 極密寫之(未紙)	1834年	「霞 卯 藏」 (裏表紙裏)	「善道」	35	23.4×16.1		甲・乙それぞれに紙数を記す0544と関連あり
411	32		0545	抄本	産科秘示 要外 術 坤 上中下 三冊合本外内術 了り ◆	産科秘要外術(8)＋ 産科秘要内術／産科 内術(19)＋産科秘方 (9)	賀川滿正口訣 ／賀川玄迪子 啓著述	于時天保五甲午歳夏 五月癸丑 東江 袞 行重 謹寫(第27紙)皆 時文化四年丁卯歳八 月 京畿 賀川玄迪 子啓謹記天保歳在甲 午五月中八日 東江 袞行重謹寫(未紙)	1834年	「霞 卯 藏」 「江東」	37(1)	23.4×16.0		上・中・下それぞれに紙数を記す0544と関連あり	
412	32		0699	抄本	蘭齋賀川先生口 授卷之壹 ◆	蘭齋賀川先生口授卷 之壹(61)	賀川先生口授	南陽館賀川門人 平 泉子善寫之				61		葉芯に「賀川 家藏書」と印 字された野紙 を使用	0700と一組を成す
413	32		0700	抄本	蘭齋賀川先生口 授卷之二 ◆	蘭齋賀川先生口授卷 之二(42)	賀川先生口授	南陽館賀川門人 平 泉春徳寫之				42	24.1×16.8	葉芯に「賀川 家藏書」と印 字された野紙 を使用	0699と一組を成す
414	32		0458	刊本	[子女子産論]乾 ◆	産論／子女子産論 (33)	賀川玄迪子玄 啓／男玄迪子 啓・門人山脇 格煥光校	「安永乙未校記」平 安濟世館藏版」と印 字し、「濟世館」の朱 印あり(表紙裏)				33	27.0×18.0		0459へ続く本冊には目録・卷一・卷二を収む廻邊の 大部分欠損巻頭に「子女子産論序」(明和乙酉(1765 年)秋八月 東都醫官平安橋岡書子若狹之客館)を 附す
415	32		0459	刊本	子女子産論 坤 ◆	子女子産論(20)＋附 録子女子治験四十八 則(12)＋(奥付)(1)		明和二年乙酉秋八月 京師書舖 河南四郎 兵衛・丸屋市兵衛／ 東都 須原屋茂兵衛 發行	1765年			33	27.0×18.0		0458に後続巻三・巻四を収む
416	32		0548	刊本	産科秘要術 全 ◆	内術／内術辨／産科 秘要卷之下(15)	平安蘭齋賀川 先生口訣	男蘭臺賀川先生校正 門人 佐野惟清子貞 編次		「日本赤十字 社産院之印」		15	23.8×16.8		内容は産科秘要巻之下

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装订 情況	備 考
417	32		0562	抄本	蘭者賀川先生産科記 問一之卷	蘭齊賀川先生産科記 問一之卷/四之卷 (66)	賀川蘭齋(滿 定)	天保十己亥六月中旬 於秋中館郵谷写之	1839年	藏書シール 「醫學・産科・ 婦人科」あ り 223・1	「日本赤十字 社産院之印」	66(1)	23.2×16.2		
418	32		0407	抄本	産術秘要内傳 全	産術秘要内傳(11)+ 免許(4)+内傳坐舂 (2)	蘭齊香川先生				第1紙に朱印 あり	18(1)	23.2×15.7	途中から料紙 が異なる。2 本を合綴した ものか/改裝 済(旧表紙は 表紙に貼付)	旧表紙に「産術秘要内傳 香川先生述」とある
419	32		0546	抄本	賀川産術之辨 外術 内術 全	加川産育外術之辨 (8)+賀川産育内術 之辨(5)	信陽 勝知榮			藏書シール 「醫學・産科・ 産婦人科」あ り 187・1	「日本赤十字 社産院之印」	17	23.5×16.9		抄写者の印は藏書シールに隠れる
420	32		0553	抄本	賀川有齋子口訣	賀川有齋子口訣(58)	(賀川有齋・滿 郷)			藏書シール 「醫學・産科・ 婦人科」あ り 169・1	「日本赤十字 社産院之印」	58(1)	26.1×18.4	反故紙を裏紙 に用いる/遊 び紙は野織入 り	裏表紙裏にも書き入れあり
421	32		0556	抄本	賀川流 外術 内傳 輿傳	外傳(19)+内傳 (12)+輿秘訣卷 (4)+辨惑目次(3)		岩文政六卷末冬十一 月望於京兆客館書院 瞻覽之者也矣(第19 紙)	1823年	藏書シール 「醫學・産科・ 婦人科」あ り 191・1	「日本赤十字 社産院之印」 「■■氏印」	38	25.0×17.7		下小口に「産科秘訣」と墨書第35紙、第38紙に「輿秘 訣終」とある
422	32		0559	抄本	産科内外術 香 川記問 卷之一	産科指■/産科内外 術(24)		塩崎郷 山口求三堂 主侍		裏表紙に藏 書シール 「醫學・産科・ 婦人科」あ り 205・1	「日本赤十字 社産院之印」 「濟世堂山口 藏書」/第21 紙に朱印2種 あるも判読不 能	24	25.6×15.9	野紙を使用/ 改裝済	
423	32		0448	抄本	[賀川蘭齋先生 産科口授]	賀川蘭齋先生産科口 授(21)+賀川蘭齋先 生口授(25)		難波恭子敬筆記			第21紙裏、47 紙裏に同一印 あり	47	23.7×16.8		
424	32		0052	抄本	産科機要 自一 至二	蘭齋先生輿術記問卷 之一(28)+卷之二 (40)					「日本赤十字 社産院」	70	22.5×15.8		
425	32		0053	抄本	産科機要 自三 至四	蘭齋先生輿術記問 卷之三 四(55)					「日本赤十字 社産院」	55	22.5×15.8		
426	32		0460	刊本	醫學質験義集 一 産科發蒙	産科發蒙/醫學質験 五種産科發蒙(36)	鶴陵先生著	江戸書林 玉巖堂發 行				36	25.8×18.0		
427	32		0461	刊本	醫學質験義集 二 産科發蒙	醫學質験五種産科發 蒙/産科發蒙(58)	鶴陵先生著	江戸書林 玉巖堂發 行				58	25.8×18.0		0460~0463で一組を成す巻二・三を収む
428	32		0462	刊本	醫學質験義集 三 産科發蒙	醫學質験五種産科發 蒙/産科發蒙(35)	鶴陵先生著	江戸書林 玉巖堂發 行				35	25.8×18.0		0460~0463で一組を成す巻四を収む。
429	32		0463	刊本	醫學質験義集 四 産科發蒙	醫學質験五種産科發 蒙/産科發蒙(73)	鶴陵先生著	江戸書林 玉巖堂發 行				73	25.8×18.0		460~463で一組を成す巻五・六を収む巻末に「玉巖 堂製本書目」(9紙)を附す奥付に書肆の氏名を列 挙

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊關係 情報	所藏印	總紙數 (内、選紙數)	寸 法	装丁 情況	備 考
430	32		0654	抄本	産科集成方 一 ◆	産科集成卷之一/産 科集成/産科集成目 録(79)	野間成式言川 父選			蔵書ラベル 「部門：医 書/種別： 産婦人科/ 番號：251 /冊數：1 /6冊中」 (裏表紙)	「日本赤十字 社産院之印」	79	23.6×16.1	罫紙を使用 (字の5紙を 除く)	「弘化三年(1846年)藏在柔兆敦●月甲卯丹波元堅 亦柔牒」の序および「文政甲申歲(1824年)三月西嶋 侍醫法眼野間成式識」の「大意」あり652、653、654、 655、656、682で一組を成す
431	32		0655	抄本	産科集成方 二 ◆	産科集成方卷之二 (50)	野間成式(卷 一による)			蔵書ラベル 「部門：医 書/種別： 産婦人科/ 番號：251 /冊數：2 /6冊中」 (裏表紙)	「日本赤十字 社産院之印」	50	23.6×16.1	罫紙を使用	0652、0653、0654、0655、0656、0682で一組を成す
432	32		0682	抄本	産科集成方 三 ◆	産科集成卷三(33)	野間成式(卷 一による)			蔵書ラベル 「部門：医 書/種別： 産婦人科/ 番號：251 /冊數：3 /6冊中」 (裏表紙)	「日本赤十字 社産院之印」	33	23.6×16.1	罫紙を使用	0652、0653、0654、0655、0656、0682で一組を成す
433	32		0647	抄本	産科手術録 全 ◆	産科手術秘録(28)+ 回生鈎胞秘訣(16)	劣齋先生口授	時于安政六己未初冬 十月四日五日而後共 鷄鳴聞忍破井上先生 塾而寫終	1859年	丸山倭盜藏 本/蔵書ラ ベル「部 門：医書/ 種別：産婦 人科/番 號：226/ 冊數：1」 (裏表紙)	「日本赤十字 社産院之印」	44	23.8×16.8		「劣齋先生」は「奥之基(道逸)」のこと下小口に「産 科手術」と裏書す
434	32		0662	抄本	産科手術秘録	産科手術秘録(23)+ 回生鈎胞秘訣(18)	劣齋先生口 授/門人 緒 方惟勝 記					41	23.9×16.9		表紙裏に草書体の書き入れあり「三十五了」三 十四了 三十二了 五了」裏表紙裏まで 書き入れあり
435	32		0687	抄本	産術啓秘録 全 ◆	産術啓秘録(27)	奥劣齋先生口 授			「桃林園」 (表紙裏) 「田澤 重」 (井+鳥) 重「未紙の 署名」	「日本赤十字 社産院之印」 「田澤良頓」	27	23.8×16.7		下小口に「産啓秘録全」と墨書0693と抄写者同じ
436	32		0670	抄本	中條帶刀 救婦 日記 全 ◆	産前後一流/産前産 後一流(25)	中條帶刀書与			蔵書ラベル 「部門：醫 書/種別： 産婦人科/ 番號：181 /冊數： 1」		25(1)	13.9×20.0	改装済	

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内、遊紙數)	寸法	装订情况	備 考
437	32		0671	抄本	中条流産前胎後 大膳之助秘方	産前産後中条(10)	中条			蔵書ラベル 「部門：醫 書／種別： 産科婦人科 ／番號：1 66／冊 數：1」(裏 表紙)	「日本赤十字 社産院之印」	10	15.6×23.2	改装済／裏表 紙は「■■覆 書集上」の表 紙を再利用 ラベルの下に なり、判読不 能)	
438	32		0677	抄本	劣齋翁産科啓秘 術全	産科啓秘術 全(23)				盟漱堂主盟 漱堂(第1 紙に墨書) 持田(末紙 に朱書)		23	24.8×17.3	0678と改装情 況同じ	
439	32		0139	抄本	〔花園〕産科瑣 言全	産科瑣言／産科鎖言 (66)	青洲先生口授				「大濱・河野藏 書」	66	23.6×15.7		「花園家秘傳書 十二冊」(木函入り)の一冊。所藏 印の他に印二種あり。「借讀者不蔵於三十日」、「不 許出于他外」前者を消去した上に後者を押す。さら に印一種あり。「河野圖書」
440	32		0572	抄本	産科瑣言 全	産科瑣言(63)				「国友■■」 (裏表紙に 墨書)	「雲峯」(未紙)	63	17.4×12.0	0571・0572, 0574は装订同 じ／表紙の内 張が剥離	
441	32		0591	抄本	産科瑣言	産科瑣言(87)	青洲先生口授					87(2)	24.8×16.6		
442	32		0646	抄本	産科瑣言	産科瑣言(47)		文政辛巳年冬十有一 月四日朝梁後卒業時 日三章也錦江散人	1821年	「部門：医 書／種別： 産婦人科／ 番號：196 ／冊數： 1」(裏表 紙)	「日本赤十字 社産院之印」	47	24.0×16.7		虫損甚し
443	32		0224	抄本	産科瑣言	産科瑣言(59)＋吉田 家産科秘録(3)						62	25.7×18.5	改装済(旧表 紙を新表紙に 貼付)	0224, 0225, 0226, 0227は同様の改装
444	32		0108	抄本	産科鎖言	花園青洲口伝産科瑣 言完／花園流産科 瑣言全／産科瑣言 青洲先生口授(51)		弘化二年乙巳如月初 六	1845年	遊月菴藩藏 藏書／「京 都産院文庫 藏書／Dr. Saito's Library / 冊之番號 1928」(旧表 紙に貼付)		51	23.5×16.7	再改装済	
445	32		0192	抄本	産科鎖言	産科鎖言(50)					「最樂園藏」	50	23.7×16.3	改装済	所藏印は改装後のものか
446	32		0048	抄本	〔産科瑣言〕	産科瑣言(20)	青洲先生口授					20	22.7×15.3		
447	32		0065	抄本	〔産科瑣言〕	産科瑣言(39)						39	23.5×16.5		
448	32		0792	抄本	産科瑣言	産科瑣言(30)		野州主人大野雄鶴平 治方				30(2)	24.5×17.0		第16紙に「大尾」と記す第17～24紙に図あり
449	32		0271	抄本	〔産科瑣言〕	産科瑣言 全(50)	青洲華岡先生 口授	天保七申之中旬甞 (木葉U+3BE2)堂	1836年		「西村九藏藏 書」	50	27.6×19.6		
450	32		0051	抄本	青洲産科瑣言 完	産科瑣言(33)	青洲先生口授					33	27×18.8		

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	總紙數 (内、逆紙數)	寸 法	装丁情況	備 考
451	32		0613	抄本	青洲先生 産科 鎖言 全	産科鎖言／青洲花岡 先生産科鎖言(61)	青洲先生口授			裏表紙に 「伴野良齋」 と墨書／ 0603, 0614, 0616と旧蔵 者同じ		61	23.3×15.9	罫紙を使用	
452	32	10, 22	0248	抄本	産科鎖言 産症 百問 合巻	産科鎖言(28)＋産症 百問(11)＋穢瘡選言 (2)						41	27.5×18.0	0242-0248は 装丁情況同じ	
453	32		0324	抄本	産科鎖言 産術 筆記 産術啓秘 録	産科鎖言(青洲先生 口授)(54)＋産術筆 記(17)＋産術啓秘録 (奥秀齋先生口授) (16)＋難産新八因 (1)＋回生大要 (3)＋子冊(6.5)＋ 門規(1)						105	25.0×17.3	0326と装丁同 じ	
454	32		0106	抄本	青洲産論	——(39)						39	16.3×24.3	改装済(旧表 紙なし)	
455	32		0221	抄本	胎産鎖言 完	胎産鎖言(23)	青洲先生口授	天保九戌戌龜書寫之	1839年			23	24.5×16.5		裏表紙まで書き入れあり裏表紙に「二十五枚」とい う紙數表示あり
456	32		0358	抄本	青洲先生産科口 授 完	——(46)		有木雄吉之元治元 辰六月 有木沢之介 調之(未紙)	1864年		「樂之堂蔵」	46	23.0×14.9		
457	32		0207	抄本	[産科手術 接 骨巻木綿之図]	産科手術秀齋先生口 授／産科内術／劣齋 先生口授産科手術 (21)＋華岡流接骨巻 木綿之図／接骨巻木 綿(10)			1823年 1815年			31	26.5×19.2		末紙に「吞舟之魚 不游支流」と墨書
458	32		0328	抄本	[産科秘訣]	産科秘訣(11)＋産術 免許之秘方(7)						18	23.6×16.2		
459	32		0421	抄本	産術秘要外傳	産術秘要 外術 候 孕之辨／蘭齋先生産 科 外傳雜(7)		安政三丙辰安秋授合	1856年			7	25.2×18.0		
460	32		0706	抄本	胎産鎖言 全	胎産鎖言／産科鎖言 (46)	青洲先生口授	「杏園」と墨書(表紙 右下)「橋本垣治蔵」 と墨書(第一紙)				46	24.3×16.3	改装済(抄写 者による改 装)	0679と抄写者同じ題箋に「鎖」字を「瑣」に改めた形 跡あり。裏表紙裏まで抄写す下小口に「胎産鎖言 全」と墨書
461	32		0712	抄本	讀産論 全	——(20)		天保六乙未春三季 浪華於南齋撰撰陽縣 入山口氏道所特野 借寫之士陽佐塾物部 守秀	1823年	蔵書ラベル 1部 門：醫 書／種別： 産科婦人科 ／番號165 ／冊數： 1」(裏表 紙)	「日本赤十字 社産院之印」	20	24.7×16.5		紀の川市は「純産論」と著録表紙2箇所に分かれる。 墨書。「乳沖」「謹部臺」三巻に分かれる。
462	32		0768	抄本	産科秘訣 全	産科啓秘(15)＋子女 子産科論(10)＋蛭田 流産科(3.5)＋蛭田 秘真訣(0.5)		野州住人入大野雄鶴平 治方				31(2)	24.5×17.6		

資料 番號	分類 コード	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁 情況	備 考
463	32	0788	抄本	産科傳書 全	産前産後證治次第 (27)		野州住人大野龍玄平 治方		蔵書ラベル 「部門：医 書／種別： 産婦人科／ 番號：251 ／冊數：6 ／6冊中」 (裏表紙)	「日本赤十字 社産院之印」	27	25.8×17.3		
464	32	0652	抄本	産科集成方 卷 下目録	産科集成方卷下目録 ／産科集成方卷下 ／産科集成方(79)				蔵書ラベル 「部門：医 書／種別： 産婦人科／ 番號：251 ／冊數：6 ／6冊中」 (裏表紙)	「日本赤十字 社産院之印」	79	23.6×16.1	罫紙を使用	0652, 0653, 0654, 0655, 0656, 0682で一組を成す
465	32	0653	抄本	産科集成方 卷 上目録	産科集成方卷上目録 ／産科集成方卷上 (71)				蔵書ラベル 「部門：医 書／種別： 産婦人科／ 番號：251 ／冊數：5 ／6冊中」 (裏表紙)	「日本赤十字 社産院之印」	71	23.6×16.1	罫紙を使用。	0652, 0653, 0654, 0655, 0656, 0682で一組を成す
466	32	0656	抄本	産科集成方 卷 四 ◆	産科集成方卷四(82)				蔵書ラベル 「部門：医 書／種別： 産婦人科／ 番號：251 ／冊數：4 ／6冊中」 (裏表紙)	「日本赤十字 社産院之印」	82	23.6×16.1	罫紙を使用	「天保六年(1835年)乙未歲四月侍醫尚兼醫學教 諭廣春院法印野間成式識」の跋文「書産科集成後」 を末尾に附す0652, 0653, 0654, 0655, 0656, 0682 で一組を成す
467	32	0223	抄本	達生園産科外術 秘録 完	達生園治術／産科外 術秘録(20)＋劣齋先 生新發明(1)＋達生 園治術・回生藥要／ 回生胸膈秘訣(16)＋ 奧秘別録・雙全術 (8)		嘉永甲寅歲浪花華岡 外蒙於樂天齋寫之本 山如茂藏書	1854年			45	27.0×19.2		
468	32	0645	抄本	理婦捷法 全	理婦捷法／雜病理例 卷六婦人門(66)				北總 嘉平川 村石橋回生 堂主人蔵本 ／蔵書ラベ ル「部門： 醫書／種 別：産科婦 人科／番 號：280／ 冊數：1」	「日本赤十字 社産院之印」	66	22.7×14.7	葉芯に「順天 樂室」と印字 された罫紙を 使用／裏打ち 改装済	
469	32	0658	抄本	産科新書 完 式裏 産科真義 日之卷	産科新論(39)				蔵書ラベル 「部門： (醫)書／種 別：産科婦 人科／番 號：179／ 冊數：2冊 中／1冊 (日)」(裏表 紙)	「日本赤十字 社産院之印」	39(3)	26.2×19.0	改装済(旧表 紙は新表紙に 貼付)	旧表紙の外題「加川産科新論卷之一」抄写者を墨で 消した形跡あり(第1紙)裏表紙裏まで書き入れあ り

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内、選紙數)	寸法	装丁情況	備 考
470	32		0673	抄本	寫本 産前次第 全	産前之次第(8.5) + 産後之次第(13) + 産 前後之事(18.5) + (1)		寶曆六丙子年八月中 旬写之	1756年	蔵書ラベル I部 門：醫 書/種別： 産婦人科/ 番號：153 /冊數：1 I」(裏表 紙)	「夢山隱齋」 「日本赤十字 社産院之印」	41	13.7×20.3	改裝済	
471	32		0678	抄本	達生内術 全	産科内術(12)		文化十一年	1814年			12	23.8×16.4	0677と改裝情 況同じ(旧表 紙は新表紙に 貼付)	旧表紙には「于時文化十一年 達生園劣齋先生内 術」と記し、署名が見える
472	32		0686	抄本	産科捷徑	産科捷徑卷之三/産 科捷徑卷之四(56)		嘉永二己酉正月三日 (未紙)	1849年	蔵書ラベル I部 門：醫 書/種別： 産婦人科/ 番號：192 /冊數：2 /II」(裏表 紙)	「日本赤十字 社産院之印」 「達園印」 「樹」	56	25.2×17.1	「積善堂叢書」 と印字された 罫紙を使用	下小口に「産科捷徑 三大尾」と墨書表紙に「産」字 の朱印を押し込んだ形のラベル(書店名を記す)を貼 付
473	32		0628	抄本	[達生園方叢 全]	達生園方叢 全(40)		門人 加賀柴原順子 敬 備中山成巖子恭 同輯文政八年西四月 下旬書之	1825年			40	23.6×16.4	改裝済	(賀川玄祝述)
474	32		0689	抄本	産術論 全	——(66)				蔵書ラベル I部 門：醫 書/種別： 産婦人科/ 番號：224 /冊數：1 I」(裏表 紙)	「日本赤十字 社産院之印」 「本圖書」	66	23.3×16.0		第36紙以降、紙數を記す
475	32		0691	抄本	産科輿術 全	産科輿術筆記(29)		文政十三庚寅歲師走 上旬寫之小壺秀齋藏 本 龍介	1830年	蔵書ラベル I部 門：醫 書/種別： 産婦人科/ 番號：227 /冊數：1 I」(裏表 紙)	「日本赤十字 社産院之印」	29	23.4×15.6		表紙裏に「禮樂■■■■郡有道/規模聖代袖無門」と墨 書
476	32		0693	抄本	蛭藤流産論 全	——(70)		此書小田木青木氏秘 書を乞得而嘉永六癸 丑二月写之東加■■桃 林園田澤良順 (井十鳥)重	1853年	蔵書ラベル I部 門：醫 書/種別： 産科婦人科/ 番號： 175 / 冊 數：1」(裏 表紙)	「桃林園」「日 本赤十字社産 院之印」「 (井十鳥)重之 印」	70	23.4×15.7		下小口に「産論」と墨書0687と抄写者同じ
477	32		0698	抄本	産科記聞 完 ◆	産科記聞(旧表紙)/ 關齋賀川先生産科記 聞(74)						74(2)	25.7×17.7		下小口に「産記聞」と墨書

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考
478	32		0701	抄本	産術奥傳	産科要領(17)		于時弘化二巳孟春吉 辰石川準篤識	1845年	蔵書ラベル 「部門：醫 産婦人科／ 番號：168 ／冊數：1 1」(裏表 紙)	「日本赤十字 社産院之印」 (表紙、第1紙 裏)	17	25.5×15.9		
479	32		0704	抄本	産術辨 全	奥劣齋先生外傳 (18)+内傳(21)+奥 道逸産科問書(15)+ 産術要補遺(16)				蔵書ラベル 「部門：醫 産婦人科／ 番號：152 ／冊數：1 1」(裏表 紙)	「日本赤十字 社産院之印」	70	23.0×16.2		
480	33		0713	抄本	理兒捷法 全	理兒捷法(47)	東部 北村直 英 廣達撰			北總平川村 石橋良齋蔵 本／蔵書ラ ベル「部 門：醫書／ 種別：産科 婦人科／番 號279／冊 數：1」(表 紙)		47	22.7×14.5	版心に「順天 藥室」と印字 された裏紙を 使用／改裝済	
481	34		0375	刊本	内科秘録 一	内科秘録 卷之一 (68)	棗軒本間啟撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頒行并製本元治元 年刊行	1864年			68	25.7×16.7		全14冊の一卷頭に「内科秘録序(澤俊卿書)」「内科 秘録序(石齋高橋圭書)」・序文(本間玄朝、六十一歳 の書)・「棗軒先生像」・識語(三男貞左識)あり版心 下部に「自筆写藏」。0163、0176参照
482	34		0376	刊本	内科秘録 二	内科秘録 卷之二 (41)	棗軒本間啟撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頒行并製本元治元 年刊行	1864年			41	25.7×16.7		全14冊の一
483	34		0377	刊本	内科秘録 三	内科秘録 卷之三 (34)	棗軒本間啟撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頒行并製本元治元 年刊行	1864年			34	25.7×16.7		全14冊の一
484	34		0378	刊本	内科秘録 四	内科秘録 卷之四 (35)	棗軒本間啟撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頒行并製本元治元 年刊行	1864年			35	25.7×16.7		全14冊の一
485	34		0379	刊本	内科秘録 五	内科秘録 卷之五 (38)	棗軒本間啟撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頒行并製本元治元 年刊行	1864年			38	25.7×16.7		全14冊の一
486	34		0394	刊本	内科秘録 六	内科秘録 卷之六 (36)	棗軒本間啟撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頒行并製本元治元 年刊行	1864年			36	25.7×16.7		全14冊の一
487	34		0395	刊本	内科秘録 七	内科秘録 卷之七 (56)	棗軒本間啟撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頒行并製本元治元 年刊行	1864年			56	25.7×16.7		全14冊の一
488	34		0396	刊本	内科秘録 八	内科秘録 卷之八 (48)	棗軒本間啟撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頒行并製本	1864年			48	25.7×16.7		全14冊の一

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	總紙數 (内、進紙數)	寸 法	装丁情況	備 考
489	34	0397		刊本	内科秘録 九 ◆	内科秘録 卷之九 (37)	葉軒本間敬撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頭行并製本	1864年			37	25.7×16.7		全14冊の一
490	34	0398		刊本	内科秘録 十 ◆	内科秘録 卷之十 (42)	葉軒本間敬撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頭行并製本	1864年			42	25.7×16.7		全14冊の一
491	34	0399		刊本	内科秘録 十一 ◆	内科秘録 卷之十一 (34)	葉軒本間敬撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頭行并製本元治元 年刊行	1864年			34	25.7×16.7		全14冊の一
492	34	0401		刊本	内科秘録 十二 ◆	内科秘録 卷之十二 (34)	葉軒本間敬撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頭行并製本元治元 年刊行	1864年			34	25.7×16.7		全14冊の一
493	34	0402		刊本	内科秘録 十三 ◆	内科秘録 卷之十三 (57)	葉軒本間敬撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頭行并製本元治元 年刊行	1864年			57	25.7×16.7		全14冊の一
494	34	0403		刊本	内科秘録 十四 ◆	内科秘録 卷之十四 (49)	葉軒本間敬撰 (本間玄朝)	玉巖堂和泉屋金右衛 門頭行并製本元治元 年刊行	1864年			49	25.7×16.7		全14冊の一 末尾に「跋(慶應三年・小林定識)」・「跋 (文久癸亥三年・森蔭識)」・「葉軒本間先生著述目録 (門人川文誠等識)」計 6紙および書肆の出版広告 11紙を附す
495	34	0634		抄本	[内科撮要]	撮要方/青洲先生内 科撮要終(143)	青洲先生	伊賀國山田柳達橋重 廣				143	16.1×11.1	罫紙を使用	下小口に「内科撮要」と墨書。背に「東洲」と墨書各 頁見開き右上部に項目ごとの番号を朱書
496	34	0161		抄本	痢疾瑣言 附録 疔瘡辨名	痢疾瑣言(12) + 疔瘡 辨名(11)		文化七年庚午之仲夏 於南紀春林軒寫 桑 野克子體	1810年			23	23×16.1		
497	34	0705		抄本	[青洲先生 痢 疾瑣言 疔瘡辨 名]	痢疾瑣言(11) + 疔瘡 辨名(4)						16	23.4×15.2	改裝済	新表紙に外題なし(旧表紙の外題を採録)白紙一紙 (11.4×20.3cm)を挟む
498	34	0150		抄本	撮要	杏林館内科方室 附 春林軒撮要方(132)						132	19.3×13.4		第13紙から裏表紙裏にかけて本文とは異なる書 き付けあり。
499	34	0360		抄本	痢疾瑣言 附 乳岩證 脚氣翼 方	痢疾瑣言(7) + 乳岩 證(5) + 脚 氣 翼 方 (4)		嘉永五壬午三月上弦 写之也森岡省菴	1852年			16	25.0×17.2		0342, 0349と抄写者同じ表紙右下に「十三」とある
500	34	0549		抄本	痢疾瑣言	痢疾瑣言(7)	青洲花園先生 口授					7	24.4×17.3		
501	34	0592		抄本	[痢疾瑣言]	痢疾瑣言(9)	青洲花園先生 口授/門人 渡邊昭明郷					9	25.3×17.5	罫紙を使用	「渡邊昭明」の名は0109, 0576にも見える
502	34	0791		抄本	痢疾瑣言 脚氣 翼方	痢疾瑣言(8) + 脚氣 翼方(4)	青洲先生口授					13(1)	24.5×17.2		
503	34	0344		抄本	賀州先生口授并 痢疾瑣言 花岡 家 吉益先生方 機 ◆	賀州先生口授(7) + 痢疾瑣言(8) + 南涯 吉益先生方機(26)						44	23.8×16.4		
504	41	0552		抄本	[腹症便覽] ◆	腹症便覽(51)	東瀛吉益先生 校閱/門人 河内 六角 重任 毅 夫 筆記	佐州 清蘭堂 源康 房 改書之				51(3)	16.8×12.2		第1紙裏に五言律詩「歌曰〜」(錦糸大成卷十「入門 歌」と見られる)あり。反故紙か
505	41	0320		抄本	東洞先生口授腹 候辨 ◆	東洞先生口授腹候辨 (15)						15	24.9×17.3		「駒澤之記」

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸 法	装丁情況	備 考
506	41	51	0596	抄本	(村井)腹診配 劑録 全	腹診配劑録(24)		于時文化十癸酉夏六月於紀州名手平山春林軒野垣内塾	1813年			24	24.1×16.5		
507	41	0550	0550	抄本	[觀証辨] ◆	觀証辨/觀証辨疑(41)	南漣先生口授					41	22.6×17.0	表紙無し	
508	41	0842	0842	抄本	南漣東郭面先生 腹診録 ◆	——(42)						42	23.8×16.0		
509	41	0690	0690	抄本	舌診要訣	舌診要訣(12)	青洲先生口授	天保八年西六月日石 ■備馬銅光村氏写功 畢四貫村臨見寺現住 寂惠 七十四歳	1837年			12	24.2×17.3		第1紙に「門人三村百[亮]茂公 筆受」とある
510	41	739	739	抄本	諸脈方之書	脈方見様扣(3)		下野國那須郡 蛭田 ノ主人 平重好子 大野雄鶴 平治方				3	24.7×17.0		
511	42	0060	0060	抄本	南漣先生治驗録 ◆	南漣先生治驗録(17)	門人 本山冠 二 撰					17	24.4×17.2		裏表紙まで書き入れあり。
512	42	0061	0061	抄本	南漣先生治驗録 全 ◆	治驗漫録(14)	中島英編集					14	24.4×17.2		「寛政十一年己未春二月中島英識」の序あり(1799年)。
513	42	0415	0415	抄本	南漣吉益先生口 授不驗録 ◆	南漣吉益先生口授不 驗録(13)+醫藥論精 義(2)		東洞院吉益東塾北窓 下 丑十月十一日夜 五更寫之			15	24.4×17.0			
514	42	0672	0672	抄本	[吉南漣先生治 驗]	吉南漣先生治驗()						17	21.0×13.5	改裝済	
515	42	0210	0210	抄本	青洲先生自驗録 全	青洲先生自驗録/青 洲先生治驗録(40)+ 燈下医談抜粋(40)		弘化二乙巳歲仲冬中 旬寫之森先生家二而 林泰造拜	1845年			40	23.5×15.7		
516	42	0534	0534	抄本	青洲先生治驗録	青洲先生治驗録(31)		門人 濃陽 安田考 平記			「山田氏藏書 印」	31	25.8×18.5		葉心に「医齋 攷・生生堂藏 書」と印字し た罫紙を使用
517	42	0911	0911	抄本	春林軒治驗	春林軒先生治驗(16)						16	24.5×16.2		後半は処方を書き列挙するもの末紙に「華岡隨賢」「華岡良平」の略伝を附す裏表紙は反故紙を使用(序の一部を墨書)第4紙裏に「文政元年合水堂治驗」、第5紙表に「青洲先生治驗」という題が見える。
518	42	0370	0370	抄本	春林軒 治驗見 聞録	春林軒 治驗見聞録 (21)	門人 結解庸 徳 筆記					21	24.8×17.2		0314と同系統か「解」字、「解」に作る
519	42	0604	0604	抄本	合水堂治驗 全	合水堂治驗(16)+劑 疾瑣言(9)		安政七庚申歲春三月 於南合水堂塾寫之件 野昌平名篤字邦行	1860年			25	23.1×16.0	改裝済	「門人録」に、嘉永五(1852)年に入門した柳田が編んだことを記す
520	42	0305	0305	抄本	内外経験書	——(9)						9	24.7×17.4		
521	42	0306	0306	抄本	驗症	驗症記聞(12)						12	24.4×17.0	罫紙を使用	版心に「春林軒」とある
522	43	43, 53	0266	抄本	[和蘭救急三法] ◆	和蘭救急三法(50)+ 解別略式(50)+花岡 方附録(50)+膏藥 方附録(50)+貼膏方 攷(50)		安政六己未季葉月曆 寫于存藏齋塾中 戸 田立信	1859年		2種あり。「回 春堂藏書記」 「熊高」	50	18.6×12.2		罫紙を綴じて 冊子としたもの

資料番號	分類コード①	分類コード②	整理番號	種別	書名(外題)	内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・刊行情報	抄寫・刊行年月日	舊藏關係情報	所藏印	總紙數(内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備考
523	43		0241	抄本	青洲先生切斷	青洲先生切斷手術篇(20)						20	21.7×15.5	裏表紙を欠く	表紙に「青洲先生切斷」という表題を異なる書体で並記し、楷書体の方を黒塗りして消す内題に続けて「門人」との表記あり
524	44		0747	抄本	經穴傳書 全	經穴奧秘方(7)		野州住人大野龍玄平治方				7	25.7×17.3		第1紙に書き落とした部分を付箋で貼付0738はこれを消したものの記の川は2冊を1番号で管理
525	44		0738	抄本	經穴傳書	經穴奧秘方(7)		野州住人大野龍玄平治方				7	25.6×17.0		0747の清書紀の川は2冊を1番号で管理
526	44		0629	刊本	[鍼灸指掌] ◆	鍼灸指掌(31)	今柳了菴著	元治紀元新録(表紙裏)敬義館藏版(刊行書肆印)「江戸日本橋通二軒新道今村家印記」	1863年		[安岡藏書]「北總小川氏■書」	31	26.0×17.5	0633と体裁同じ	0633と書肆同じ題箋割落「文久三年昭陽大淵獻孟冬 奉朝請 淺田帷常識比再撰」の序あり「文久三年癸亥復月 男順拜識」の跋あり下小口に「鍼灸指掌」と墨書
527	45	51	0036	抄本	(無題)	——(30)						30	24×17		
528	45		0759	抄本	(無題)	——(46)						46	27.3×19.6	改裝済	肉櫛の彩色図第1図に「東都表肉櫛」、第2図に「浪速島之内藝妓」とある(ともに第1紙)旧表紙に表題を朱書。「出■■■■」
529	45		0798	抄本	(無題)	——(1)						1	27.2×13.5	切り紙	「陳無擇曰」で始まる脚気に関する抜き書き
530	45		0917	抄本	(無題)	——(1)						1	24.1×18.4.5	軸裝。木函入り	0916と同様に外科道具を描いたもの0916と同函に収める
531	45		0312	抄本	巽視伊川氏之錦文。其說可謂美也。 ◆	——(1)	淡誌 小松壽茶					1	29.5×25.7	切紙	
532	51		0313	刊本	類聚方 ◆	——(143)		明和元甲申年七月平安書肆 田中市兵衛・山本長兵衛・林權兵衛・林宗兵衛	1764年	知常堂		143	17.4×10.0		第1紙に「文久紀元仲夏」(1861年)の書き付けあり随處に大量の書き込みあり。「琴山翁藥量考拔萃」など
533	51		0393	刊本	類聚方集覽 全 ◆	類聚方集覽(133)十既試方(133)十類聚方集覽誤字抄上(133)	鳴谷先生著			吉田 懸積 曉齋(遊び紙に墨書)		133	18.6×12.3		巻頭に「類聚方集覽標註序(享和三癸亥五月 上總 雉間煥 子■■(日+内)撰)あり 巻末に跋文(門人 下總 大川唐之亮跋)あり
534	51		0291	刊本	藥徵 上 ◆	藥徵 卷之上(41)	東洞吉益先生著/門人 安藝 田中輝卿 文 蕃 石見 中野貞治子亨 平安 加藤白圭子復 同校				[學古]「片山 傳印」「順卿 氏」 / 0288~0288~續 編」と所藏印 同し	41	25.8×18.0	0288~0288~續 編」と装丁同じ	0292「中」、0293「下」とともに1帙に収める帙の題箋「藥徵」版心の一部に「浦蘆亭藏」とある明和八年(1771)の序を附す
535	51		0292	刊本	藥徵 中 ◆	藥徵 卷之中(46)	東洞吉益先生著/門人 安藝 田中輝卿 文 蕃 石見 中野貞治子亨 平安 加藤白圭子復 同校				[學古]「片山 傳印」「順卿 氏」 / 0288~0288~續 編」と所藏印 同し	46	25.8×18.0	0288~0288~續 編」と装丁同じ	0291「上」、0293「下」とともに1帙に収める帙の題箋「藥徵」版心の一部に「浦蘆亭藏」とある
536	51		0293	刊本	藥徵 下 ◆	藥徵 卷之下(41)	東洞吉益先生著/門人 安藝 田中輝卿 文 蕃 石見 中野貞治子亨 平安 加藤白圭子復 同校	天明五年乙丑五月發行・文化九年壬申十月風版京華書林(出雲寺文治殿・山本長兵衛・林權兵衛)・浪華書林(吉田書藏)	1804年		0288~0288~續 編」と所藏印 同し	41	25.8×18.0	0288~0288~續 編」と装丁同じ	0291「上」、0293「下」とともに1帙に収める帙の題箋「藥徵」版心の一部に「浦蘆亭藏」とある奥付の上千社札「廣鳴木や」を添付

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装订 情況	備 考
537	51	0302		刊本	藥徵 上 ◆	藥徵(43)	東洞吉益先生 著/門人 安 藝 田中殖卿 女 蕃 石見 中 卯 貞治子亨 平安 加藤白 圭子復 同校	浪華書林 松根堂發 行				43	25.6×18.0		裏表紙裏に「毒之不中將死病」の書き込みあり 0303「中」, 0304「下」と一組を成す一部の版心に「蒲 蘆亭藏」とある
538	51	0303		刊本	藥徵 中 ◆	藥徵卷之中(46)	東洞吉益先生 著/門人 安 藝 田中殖卿 女 蕃 石見 中 卯 貞治子亨 平安 加藤白 圭子復 同校					46	25.6×18.0		一部の版心に「蒲蘆亭藏」とある。0302「上」, 0304「下」と一組を成す
539	51	0304		刊本	藥徵 下 ◆	藥徵 卷之下(39)	東洞吉益先生 著/門人 安 藝 田中殖卿 女 蕃 石見 中 卯 貞治子亨 平安 加藤白 圭子復 同校	天明五年乙丑五月發 行 文化九年壬申十 月 規版 京都書林 浪華書林	1812年		39	25.6×18.0		天明五年は乙巳(1785年)0302「上」, 0303「中」と一 組を成す一部の版心に「蒲蘆亭藏」とある	
540	51	0286		刊本	藥徵續編 上 ◆	藥徵續編 卷之上 (36)	肥 後 醫 人 卯 井 庵 著/男 柄 矩 全校					36	25.8×18.2		0287「下」, 0288「附録」とともに1冊に収める映の 題箋「藥徵續編」0307と同系統の版本と見られる が、序文など一部は版が異なる0291, 0292, 0293「藥 徵」と関連あり
541	51	0287		刊本	藥徵續編 下 ◆	藥徵續編 卷之下 (31)	肥 後 醫 人 卯 井 庵 著/男 柄 矩 全校					31	25.8×18.2		0286「上」, 0288「附録」とともに1冊に収める映の 題箋「藥徵續編」0308と同系統とみられる0291, 0292, 0293「藥徵」と関連あり
542	51	0288		刊本	藥徵續編 附録 ◆	藥徵續編 附録(33)	肥 後 醫 人 卯 井 庵 著/男 柄 矩 全校	天明五年乙丑五月発 行 文化九年壬申十月 規版 京都書林・浪 華書林	1812年		3種「學古」 「片岡傳印」 「順卿氏」	33	25.8×18.2		天明五年は乙巳(1785年)0286「上」, 0287「下」とと もに1冊に収める映の題箋「藥徵續編」0309と同系 統と見られる0291, 0292, 0293「藥徵」と関連あり奥 付の上に「廣嶋本や」の千社札を貼付
543	51	0307		刊本	藥徵續編 上 ◆	藥徵續編 卷之上 (35)	肥後琴山卯井 庵先生著	平安書林 文泉堂・ 斯文堂・玉照堂發行	1778年(附 録による)			35	26.0×18.4		0308「下」, 0309「附録」と一組を成す
544	51	0308		刊本	藥徵續編 下 ◆	藥徵續編 卷之下 (31)	肥 後 醫 人 卯 井 庵 著		1778年(附 録による)			31	26.0×18.4		0307「上」, 0309「附録」と一組を成す
545	51	0309		刊本	藥徵續編 附録 ◆	藥徵續編 附録(33)	肥 後 醫 人 卯 井 庵 著	寛政六年甲寅春皇都 書林 出雲寺文火 良・林權兵衛・林宗 兵衛・橋屋儀兵衛熊 本書林 橋屋清藏	1778年		33	26.0×18.4		0307「上」, 0308「下」と一組を成す	
546	51	0301		抄本	方脈 全	——(42)						42			7~42紙は紙 敷の書き入れ あり
547	51	0329		抄本	方脈 完	方脈(34)+丸散法 (12)						51(1)	23.3×16.4		表紙に貼付された紙に「萬延元年庚申」(1860)とあ る。
548	51	0391		刊本	方脈 類聚方 ◆	方脈(37)+類聚方 (104)		明和元年申年七月 平安書肆(田中市兵 衛・山本長兵衛・林 權兵衛・林宗兵衛)	1764年	表紙に墨書 「日下恕」	141	16.3×9.7		0392と旧藏者同じ	

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	総紙數 (内、透紙數)	寸法	装丁 情況	備 考
549	51		0597	抄本	聯珠摘方 ◆	聯珠摘方(18)	信陽金井玄周 筆記				「雲山 ■ 家」 「井島之印」 「号 梅 齋」/ 0519, 0521, 0538, 0539と 関連あり	18	21.5×13.8		文政甲申(1824)年の福田篤雅による「序」と「目跋」 あり表紙裏、裏表紙裏ともに書き入れあり
550	51		0741	抄本	濟生備考 卷之 一 ◆	濟生備考 卷一(12)	若狭 杉田信 成卿 纂述					12	25.4×18.0		
551	51		0321	抄本	丸方 藥方記 ◆	——(18)	東潤吉益先生 撰	安政三 丙申五月吉 日(表紙に朱書)	1856年	秋樹軒		18	25.3×17.4		
552	51		0028	抄本	賞古堂禁方集 ◆	賞古堂禁方集(20)	渡邊海洲草稿			佐藤安司	「佐藤安司藏 書」	20	22×16.5		
553	51		0029	抄本	[禁方録・續禁方 録] ◆	禁方録(146)+續禁 方録(129)						175			外題なし正續兩篇の合本文政四年(1801)廣田泌序 あり
554	51		0605	抄本	禁方録 一	禁方録卷之一(36)			1857年(卷 七による)		「谷津藏書」	36	24.0×16.0	青色罫紙を使 用	0605～0610で一組を成す610に抄写年を記す
555	51		0606	抄本	禁方録 二	禁方録卷之二(31)			1857年(卷 七による)		「谷津藏書」	31	24.0×16.0	罫紙を使用	0605～0610で一組を成す610に抄写年を記す
556	51		0607	抄本	禁方録 三	禁方録卷之三(35)			1857年(卷 七による)		「谷津藏書」	35	24.0×16.0	罫紙を使用	0605～0610で一組を成す610に抄写年を記す
557	51		0608	抄本	禁方録 四	禁方録卷之四(38)			1857年(卷 七による)		「谷津藏書」	38	24.0×16.0	罫紙を使用	0605～0610で一組を成す610に抄写年を記す
558	51		0609	抄本	禁方録 五	禁方録卷之五(41)			1857年(卷 七による)		「谷津藏書」	41	24.0×16.0	罫紙を使用	0605～0610で一組を成す610に抄写年を記す
559	51		0610	抄本	禁方録 七	禁方録卷之七(25)		時子安政四丁巳小春 於浪華井字橋藏齋先 生墨写之	1857年		「谷津藏書」	25	24.0×16.0		0605～0610で一組を成す
560	51		0365	抄本	禁方拾録 天	禁方拾録(72)	青洲華岡先生 著/中川 校					72	24.1×16.5		0366と一組を成す「序」平安 荊山 朝倉瓊撰(第 1紙)「凡例」寛政辛亥(1971年)冬至日 中川故藏 (第3紙)
561	51		0366	抄本	禁方拾録 地	——(63)						63	24.2×16.7		0365と一組を成す
562	51		0601	抄本	禁方拾録 一 二	禁方拾録卷之一/卷 之二(66)					「谷津」[谷津 藏書]「(日大) 蘭学史研究会 38-(1)」[■ 住 ■ 吉川 藏 書記]	66	23.0×15.1		下小口に「禁方拾録乾」と墨書
563	51		0602	抄本	禁方拾録 三 四	禁方拾録卷之三/卷 之四(55)					「谷津」[谷津 藏書]「(日大) 蘭学史研究会 38-(1)」[■ 住 ■ 吉川 藏 書記]	55	23.0×15.1		「結葉先生」宛「笠松 ■」の書翰を挟む下小口に 「禁方拾録坤」と墨書
564	51		0372	抄本	禁方録 華岡青 洲撰	禁方録(27)					華岡青洲 撰	27	24.7×17.2		0314と同系統か
565	51		0761	抄本	[禁方拾録]	禁方拾録(77)	「 ■ 亭 塾 宮 路書藏」(裏表 紙に墨書)				「服部氏藏書 印」(第1紙)	77	24.4×17.5		題箋剥落。「方」字の一部が残る

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内遊紙數)	寸 法	装丁情況	備 考
566	51	0348		抄本	南紀花園先生口 授 禁方集録	禁方拾録(78)						78	25.0×17.2		巻頭に「平安 前山朝倉漢業」の序文および「寛政 辛亥(1791年)冬至日 中川故識」の凡例を冠す。
567	51	0213		抄本	家傳妙藥録	—(10)+外科 (39)					末紙に2種あり。「花園震 印」「■■■」	49	24.9×17.4		題箋題の右隣に「他見不許」と記す。表紙に「壹」字らしき記述あり。冊数を示すか映入り紙の題箋に「花園青洲御使用本 家傳妙藥録」とある紙の外寸(縦25.0×横18.4cm)「伝花園青洲白筆本」
568	51	0131		抄本	春林軒撮要方	春林軒撮要方(91)					二種あり「藤 ■■■■ 伏陰」「鶴 ■■■■」(それぞれ 3度押印)	91	23.7×15.6	改装済(旧表 紙なし)	第3~9紙「目次」第14~76紙に「丁」敷表示あるも 目次と組違多し
569	51	0211		抄本	花園撮要方 坤	花園家撮要方卷之二 (36)		天保三年晩冬 明日 好生堂	1832年			36	24.3×16.0		
570	51	0136		抄本	〔花園〕撮要方 全	撮要方(77)					「大濱・河野藏 書」	77	23.6×15.7		「花園家秘傳書 十二冊」(木函入り)の一冊。所蔵 印の他に印二種あり。「借讀者不越於三十日」「不 許出于他外」前者を消去した上に後者を押す。他に 消去された印影2種が見える。「河野圖書」「河野氏 印」
571	51	0436		抄本	撮要方 全	撮要方/華岡 流要方(88)		小笠原秀榮藏之			「小笠原 常 ■■■■」(裏表 紙に墨書)	88	25.0×16.4		
572	51	0531		抄本	〔撮要方〕	撮要方(61)	紀州青洲華岡 先生遺教					61	23.9×16.1		目録1紙本文には一~六十の紙数を記入
573	51	0244		抄本	春林軒撮要方	春林軒撮要方(49)+ 撮要方(49)						49	27.5×18.0	0242~0248は 装丁情況同じ	
574	51	0355		抄本	花園撮要 全	花園撮要/撮要(53)						53	15.5×19.9	0354と装丁同 じ	
575	51	0901		抄本	春林軒處方便覽	處方便覽(31)						31	24.2×16.2		
576	51	0386		抄本	花園氏秘方	萬病靈治卷第六(76)						76	23.1×15.5		
577	51	0676		抄本	薬方選 全	花園先生膏方微要 (18)+東酒吉益先生 家傳方(21)+微毒要 方題辭(1)		旧表紙裏に識語ある も判読不能				39	20.0×12.9	「一柳軒」と印 字された膠紙 を使用	第1, 3, 4, 6, 7紙、袋の中に処方等を記した 紙片を挟む(第3紙には2紙あり)「微毒要方題辭」 は裏表紙裏に抄写
578	51	0103		抄本	春林軒配劑録 藥科方案	春林軒配劑録(10)+ 藥科方案(36)						47(1)	19.4×12.6	改装済	
579	51	0020		抄本	春林軒試驗方	春林軒試驗方 卷之 上(54)					「玄輝」	54	24.8×17.3		「驗」は異体を用いる
580	51	0202		抄本	〔春林軒〕方 雜方集	春林軒方函(40)+雜 方集(20)						78	23.8×16.4	膠紙、第61紙 以降白紙	
581	51	0330		抄本	南紀花園家 神 秘方集 十七番	神秘方集(20)						20	24.7×16.4		
582	51	0623		抄本	紀州華岡先生述 春林軒藥方書 丸散方 二 十三	春林軒丸散方(23)	紀州華岡先生 述				「玉桃■■■藏 書」の一部 を墨で消す (裏表紙裏)	23	23.4×16.4		
583	51	0353		抄本	花園家方案目録	花園家方案(134)+ 方府口訣(62)			1847年		三浦氏花■■ (裏表紙)	0		裏表紙に貼付 した反故紙が 剥離	表紙の題字は薄く判読困難

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	總紙數 (内、遊紙數)	寸 法	装丁情況	備 考	
599	52		0736	抄本	丸散録 全	丸散録(19)	大野龍玄 平治方	大野龍玄 平治方				19	25.6×17.3			
600	52		0740	抄本	丸散録	——(20)	嘉永二歳 酉ノ六月 吉日於桃林軒寫之下 野國那須郡延田住大 野雄鶴 平治方	1849年				20	24.9×17.0			
601	52	53	0779	抄本	春林軒丸散方 膏方便覧	春林軒丸散方(80) + 春林軒膏方便 覧(22)						102	19.6×13.6		第1紙に「丸散方・雜方・水藥・丹圓方・膏方」と記 す目次のごときものあり「丸散方」と「膏方便覧」の 合本か記の川目録に「嘉永2年」と注記あるも、根 拠不明	
602	52	56	0156	抄本	[春林軒丸散録 合水堂配劑録 全]	春林軒丸散録(46) + 合水堂華氏配劑記/ 合水堂配劑録(13) + 合水堂常用丸散箱并 名記ス(1)						61(1)	24.4×16.8	再改裝済/一 度目の改裝時 に各葉に裏打 ちして補修 旧裏表紙は新 裏表紙に貼り 付け	改裝後表紙に外題なし(旧表紙の外題を外題とし て録す)。	
603	52		0012	抄本	春林軒丸散録	春林軒丸散録(42) + 囊秘録 全(42)					[石原藏書]	43	22.6×14.9			
604	52		0013	抄本	春林軒丸散録 全							42	23.3×16.9			
605	52		0014	抄本	春林軒丸散方/ 大秘方	春林軒丸散方(42)	天保十一庚子三月十 日寫之者 志賀松榮 門人天保十五甲辰年 寫之者 志賀松元文 久三癸亥年 授之者 阿部道意 仙府御藥 知 志賀松元 先生 傳授有之 門人 國 分六丁目住 阿部道 意 受之	1840/1844 年/1863年				42	25.0×17.8			
606	52		0101	抄本	春林軒丸散方録	春林軒丸散方録(29)						29	24.2×17.0	改裝済, 第29 紙欠損あり		
607	52		0110	抄本	春林軒丸散方	春林軒丸散方(44)					[美成堂圖書 記]	44	23.5×16.3	改裝済(旧表 紙なし)		
608	52		0123	抄本	春林軒丸散方函	春林軒丸散方函/春 林軒丸散方録(28)	文久二癸亥夏初於輶 草堂寫得之	1863年				28	24.1×16.8	改裝済		
609	52		0160	抄本	春林軒丸散方	——(11)	表紙裏に署名あり。 「瀟灑尚綱」					11	24.7×17.3		表紙袋の中に葉名を記した書き付け1紙あり(縦 16×横24cm)。	
610	52		0268	抄本	青洲丸散方	丸散方(31)						31	23.6×16.6			
611	52		0343	抄本	[春林軒丸散方]	春林軒丸散方/春林 軒丸散録(48)						48(5)	24.0×16.7	罫紙を使用	罫紙を切った「記」と題する書き付け1紙(24.0× 12.5cm)あり第52紙に「春林軒丸散録終」とあるが、 次の第53紙にも記述あり。	
612	52		0408	抄本	春林軒丸散録 完	春林軒丸散録(25) + 丸散便覧序(華岡震 伯行撰)(1) + 丸散 方考(19)						46	23.7×16.7			
613	52		0589	抄本	春林軒丸散方集	春林軒丸散方/丸散 便覧序(25)	文化十二亥四月堀内 先生写拜僧仕慶應三 卯歳 七月 中野文 郁写(第23紙)	1867年				25(2)	19.0×12.8		「■詠歌法話」 の表紙を再利 用	「寛政二庚戌(1790年)九月」の序あり

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考
614	52		0621	抄本	春林軒丸散方 理徽新書 新書	春林軒丸散録(12) + 和田家下疳脚藥 (2) + 理徽新書(13) (14) + 理徽新書(13)						43(2)	23.0×16.0	0624と同じ罽 紙を使用	
615	52		0650	抄本	春林軒丸散方 番場	春林軒丸散之部/春 林軒丸散方室(37)		天保三辰應鑛藥之 番場氏錦笺英	1832年		「番場」忍・城 南文庫」	37	28.0×19.4		虫損あり白紙1紙を挟む
616	52		0667	抄本	春林軒丸散方 全	春林軒丸散録(40)		弘化四丁未十月吉祥 日於藥水堂宇治良輔 写之(旧裏表紙)	1847年			40	24.0×16.7	改装済(旧表 紙は新表紙に 貼付)	旧表紙の外題「春林軒丸散録 全」下小口に「春林 丸散方全」と墨書
617	52		0683	抄本	春林軒丸散録 丸散方考 合完	丸散便覧序(1) + 春 林軒丸散録(21) + 丸 散方考(15)						37	24.1×16.7	0668と改装情 況同じ	第26紙に紙片1紙を貼付
618	52		0269	抄本	春林軒丸散録	春林軒丸散録(41) + 熱湯散方/墜膿製法 (1)		本草 竹村二面 上 野正安 寫慶應三 夏六月	1867年			47	24.2×16.9		「熱湯散方/墜膿製法」は書き付けか
619	52		0016	抄本	春林軒丸散録	春林軒丸散録(51)		安政二卯歲皇月寫之 上田泰造	1855年			51	24.2×17.9		
620	52		0649	抄本	春林軒丸散録 全	春林軒丸散録(43)	花岡青洲先生 著					43(1)	24.0×16.3		下小口に「春林軒丸散録」と墨書白紙2紙を挟む
621	52		0684	抄本	春林軒丸散録 全	春林軒丸散録(38)						38	24.5×16.8		袋綴じの袋部分が多く擦損第12紙袋内に紙片(葉 方2種)を記す。13.3×9.8cm)を挟む
622	52		0776	抄本	春林軒丸散録 全	春林軒丸散録(52)				嵐山春星藏	「呉氏藏書之 印」	52	23.8×16.8	裏打改装済	第2, 14, 23紙に付箋貼付
623	52		0954	抄本	春林軒丸散方 (未調査)							0			
624	52		0373	抄本	春林軒丸散録 華岡先生口述 (一名丸散便覧)	春林軒丸散録(28)	華岡先生口授					28	24.7×17.2		0314と同系統が目次の下に「又 丸散便覧ト云フ」 とある
625	52		0521	抄本	春林軒丸散録 全	—————(469)		文政七甲申年十月曆 写井■藏	1824年			12	24.0×15.6		書き付け1紙(縦20.5×横24.7cm)を挟む。葉の購 入控えか
626	52		0774	抄本	[春林軒丸散録]	春林軒丸散録(56)						56	23.6×16.6		葉心に「既白 堂」と印字し た罽紙を使用
627	52		0781	抄本	丸散丹方室	春林軒丸散録(53)				「博愛軒所 藏」		53	23.7×16.6		第52, 53紙の間に処方を記した紙片(15.5×14.5 cm)を挟む
628	52		0422	抄本	丸散函	丸散方/丸散方函 (42)				堀池主計		42(2)	13.3×19.0		
629	52	53	0198	抄本	丸散便覧	丸散便覧序(1) + 丸 散方考(13) + 貼膏方 考(4) + 貼膏要法 (1)		文化六年己巳夏五月 廿日於青洲華岡先生 塾守安藤良脚甫写之 同歲冬十一月 日 於東郡邸中写之	1809年			19	23.5×14.0		版心下部に「桂香堂藏書」と底本表示あり。

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内遊紙數)	寸法	装丁 情況	備 考
630	52	26, 34, 10	0771	抄本	[竹中家方函拔 莖他]	竹中家方函目録 (1)+竹中家方函抜 莖(73)+和田方函 (13)+含章齋和田家 方丸散録(9)+含章 齋和田家方丸散録 (9)+升采丹製法秘 訣(4)+脚氣翼方 (9)+(納英瑣言)+ 陰證百問(30)					陽刻角印(第 76, 104, 114, 124, 134, 162 紙にあり)	165(23)	14.4×19.5		第92紙袋内に方眼紙を挟む
631	52	0197		抄本	丸散便覧 完	——(14)	華岡震伯行撰					14	22.5×15.2		「寛政二年庚戌九月望」(1790年)の序文あり記の川 市リストでは「丸散便覧 全」に作る
632	52	0152		抄本	[丸散便覧]	丸散便覧(15)						15	25.0×17.3		外題・内題ともに無し。巻頭に「丸散便覧序」あり。 (序の末尾「寛政二庚戌九月望 華岡震伯行撰」)
633	52	0622		抄本	丸散便覧井方考 全	——(39)				裏表紙に 「伴野良齋」 と墨書 / 0603, 0613, 0614と旧藏 者同じ		39	23.3×15.7		表紙に鉛筆で「春林軒」と書す冒頭に「寛政二庚戌 (1790年)九月望、華岡震伯行撰」の「丸散便覧序」を 冠す
634	52	0814		抄本	丸散便覧 全 紀陽花岡家	春林軒丸散録/丸散 便覧(31)		天保十一年九月四 日終 秦藏篤	1840年			31	26.2×16.5	映入り	冒頭に「丸散便覧序」(寛政二庚戌九月望、華岡震伯 行撰)を冠す第31紙に切り紙5紙貼付帳中に「丸散 便覧序」の「コピ-2紙あり
634	53	51	0019	抄本	青州先生膏法 全	青州先生膏法(36)+ 眼目外障方(36)+減 散論(36)+神仙秀 (36)+台州先生醫案 (36)		平安於客舎寫之 丹 楓亭				36	23.2×16.5		第14紙に別紙筆記二紙挟む第15紙に別紙筆記二紙 挟む
635	53	0018		抄本	春林軒膏方 全	春林軒膏方便覧/膏 方便覧(15)		于時天保式辛卯秋九 月下旬 於南紀名手 平山青洲華岡塾新齋 寫之門人松本元榮	1831年			15	24.5×17.0		
636	53	0426		抄本	青州膏方	青州膏方(4)		群山記之		臨藏堂藏書		4	24.8×17.0		
638	53	0822		抄本	春林軒膏法録	春林軒方法録(36)						25	23.0×16.2		
639	53	0760		抄本	春林軒膏方録	春林軒膏方録/膏方 録(13)+膏方功能附 録/春林軒膏方附録 (6)					2種あり(第 1紙)	20	23.7×16.5		
640	53	0789		抄本	膏藥之方	——(21)		弘化五戊申歲 二月 吉日 蛭田住 大野儀 右衛門 重好子 大 野雄鶴 治方	1848年			36	12.6×18.0		
641	53	0129		抄本	膏方便覧 楊科 方莖	——(21)+楊科方 莖(27)					第3紙に印2 種あり。 「3174」[久米]	51(3)	21.0×16.6		第3~6紙の「貼膏方」は「膏方便覧」とは別本か
642	53	0285		抄本	華岡膏方便覧	春林軒膏方便覧 (11)+膏方附録 (9)+貼膏方考 (5)+丸散便覧序 (1)+春林軒丸散録 (12.5)+丸散方考 (9.5)		篠尚徳撰(第1紙) 慶應三丁卯歲秋八月 淡旬寫之/林色忘機 軒主人 所領(裏表 紙裏)	1867年			48	22.3×15.5		

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備考
643	53	52	0237	抄本	春林軒膏方便覽 春林軒丸散方便 覽 雜方	膏方便覽(28)+春林軒膏 方便覽(28)+丸散便 覽/春林軒丸散方 (37)+————(1)	天保四年癸巳春三月 二十有五日藤野峻功 于鑑古堂南窓赤松深 處方岳 藤浪謙貞	1833年	「清香堂記」		70	23.8×16.8	改裝済か?	所藏印の他に抄写者の印「謙貞」あり。改裝後の題 箋に記す「雜方」は、第66紙に記された幾つかの施 方に名づけたものか「丸散方」には版心上部に「膏 藥部」「丸藥部」「散藥部」「圓丹部」「雜部」と記す	
644	53	52	0522	抄本	[膏方便覽] 丸 散録]	膏方便覽/春林軒膏 方便覽/膏方附録 (23)+春林軒丸散録 (16)					39	23.2×17.0	兼心に「桂香 堂藏書」と印 字した點紙を 使用	裏表紙裏に星形の印らしき朱あり	
645	53	0017	抄本	華岡先生膏方便 覽	華岡先生膏方便覽 完/春林軒華岡青洲 先生膏方録并便覽 (17)+春林軒膏方治 効論(17)+諸藥製方 (17)	南齋堂主貫士野之					17	25.9×17.9			
646	53	0124	抄本	春林軒膏方便覽 合水堂日用分量	春林軒膏方便覽/膏 法便覽(38)+合水堂 日用分量(2)						40	23.8×16.4	改裝済		
647	53	0134	抄本	春林軒膏方便覽	春林軒膏方便覽(31)						31	24.5×17.0	改裝済(旧表 紙なし)	「書第參百拾壹號」の貼付紙あり。(第1紙)	
648	53	0183	抄本	[膏方便覽]	膏方便覽/春林軒膏 方便覽(23)	嘉永二己酉歲三月中 旬 松風軒於塾中写 之近藤貞庵	1849年		第1紙に 「松風」の墨 書あり		23	23.8×14.9	改裝済か?	第17紙裏に「膏藥類方」との題あり。章題と見られ るが、或いは独立する可能性あり	
649	53	0236	抄本	[膏方便覽]	膏法便覽/春林軒膏 法便覽(13)	望野玄■					13	23.3×15.9	改裝済か?	書き付け1紙(縦16.5×横11.5cm)を挟む	
650	53	0523	抄本	[春林軒] 膏方 便覽	膏方便覽/膏方附録 (32)						32	24.3×17.0	點紙を使用	表紙右上隅に「春林軒」とペン書きあり	
651	53	0327	抄本	膏方便覽 全	膏方便覽(31)	此時天保十有六次ニ 弘化二年巳仲春下旬 求之森先生家ニ而寫 之	1845年				31	23.5×15.3	改裝済	天保は14年まで。弘化二年は乙巳	
652	53	0445	抄本	531	(目録)(1)+春林軒 膏方便覽(12)+雜方 (5)	難波橋筋坂町三丁目 カセヤ久石■					18	23.3×16.5			
653	53	0561	抄本	春林軒膏方便覽 全	膏方(11)					「小野田氏 老山堂所 藏」(裏表 紙)	11	24.1×17.2	改裝済	表紙では「軒」字を「断」と誤記し、横に訂正する旧 表紙に「膏方」と題す	
654	53	0664	抄本	春林軒膏方便覽	春林軒膏方便覽(24)						24	24.2×17.2	點紙を使用	表紙に「春林軒(華岡青洲)」と鉛筆で筆記白紙4紙 を挟む(虫損あり)	
655	53	0318	抄本	[膏方辨覽]	膏方便覽(15)+方録 抄(1)	花岡瑞軒翁著					20(44)	24.7×16.8		改裝後の表紙に外題なし。新表紙に貼付された旧 表紙の外題を裏から確認したものを採録葉方を記 した半紙六の書き付け1紙を挟む	
656	53	0184	抄本	[膏方便覽并丸 散録]	華岡流膏方便覽并丸 散録/春林軒膏法便 覽(37)						37	14.8×21.6	改裝済	第1紙裏に「膏藥辨法」という題あり。章題と見ら れるが、単行の可能性もあり	
657	53	0909	抄本	春林軒膏方丸散 方全	春林軒膏方便覽 附 丸散方/膏藥便覽 (52)	于時天保六十月吉祥 守忍堂藏用書(裏表 紙)	1835年				52	24.4×16.7		裏表紙裏まで書き入れあり。あるいは反故紙か	

資料 番 号	分類 コード①	分類 コード②	整理 番 号	種別	書 名 (外題)	内 容 詳 細 (紙 数)	著 者 等	抄 写 ・ 刊 行 情 報	抄 写 ・ 刊 行 年 月 日	舊 蔵 關 係 情 報	所 蔵 印	總 紙 數 (内 選 紙 數)	寸 法	装 丁 情 況	備 考		
658	53	24, 34	0121	抄本	書法便覧 痢疾 治方	書法便覧／春林軒法 方録／春林軒書法便 覧(16)＋癩疾治方 (11)				安立藏(背 表紙)		28(1)	24.3×17.1	改装済	改装時に「癩」字を「痢」字に改む		
659	53	0122		抄本	春林軒書法便覧	春林軒書法便覧(15)						15	23.2×16.0	改装済	「花岡家秘傳書 十二冊」(木函入り)の一冊。所蔵 印の他に印二種あり。「借讀者不蔵於三十日」。「不 許出外」前者を消去した上に後者を押す。他に 消去された印影一種が見える。「河野圖書」		
660	53	0138		抄本	〔花岡〕書法便 覧 全	春林軒書法便覧(21)					「大濠・河野藏 書」	21	23.6×15.7				
661	53	0265		抄本	古香園 子り書	春林軒書法便覧 方(21)		種光純校(第2紙)				21	24.4×17.0		裏表紙裏まで書き入れあり		
662	53	0564		抄本	春林軒書法便覧	春林軒書法便覧(28)						28	23.8×16.0		外題はペン書き		
663	53	0679		抄本	春林軒書法便覧 全	春林軒書法便覧(21)		文政元年中冬廿日於 浪華中島合水堂外塾 安光命造臨覽安政七 申二月二十九日於甘 露洞塾臨木勝馬寫之	1860年	旧表紙に 「稀本勝馬」 と墨書新表 紙に「杏園」 と墨書(稀 本勝馬の号 か)0706と 旧蔵者同じ		21	24.5×16.8	改装済(抄写 者による改装 ／旧裏表紙は 新表紙に貼 付)			
664	53	0709		抄本	春林軒書法便覧 完	春林軒書法便覧／春 林軒書法便覧／書方 便覧(21)					「忍・城南文 庫」	21	27.5×17.3		外題・内題とも「藥」は異体字(U+26C4)白紙1紙 (11.4×20.3cm)を挟む所蔵者■は「其／至U+ 26944」		
665	53	0793		抄本	紀州花岡先生 書法便覧	春林軒書法便覧(17)		野州那須郡蛸田村大 野雄鶴治方				17	25.5×17.3				
666	53	0802		抄本	春林軒書法便覧 全	春林軒書法便覧(40)				「明治式拾 參年 處方 録 卷号 長谷川」と 墨書裏表 紙裏)		40	24.7×17.5	表紙は袋が破 れ補強用反故 紙が露出	第39, 40紙は増補(昭和四年十二月二十八日)表紙 裏補強用反故紙に書き入れあり		
667	53	0965		抄本	秘中秘算 春林 軒書法便覧(未 調査)							0					
668	53	0351		抄本	花岡書方	春林軒書法便覧(15)				■貞二		15	24.6×16.8		罫紙を使用		
669	53	0337		抄本	煉骨方	春林軒煉骨方／春林 軒書法便覧(13)＋貼膏 三綱領(8)					「下新川郡函 書之章」	21	22.7×16.7		改装済(2 度?)	改装後の表紙は書名を書き誤る	
670	53	0579		抄本	膏方 録壹取	春林軒書法便覧(28)		信州川中島[香]■寧 文化七庚午七月十日 泉州於合水堂写之天 保十二辛丑三月二十 五日於海堂写之信州 高井郡 山岸寧(第 25紙)	1810年 ／ 1841年		28	17.8×12.5			内題の「春」の上に墨書あり。その右に「春」と鉛筆 で書く「膏」と「便」との間に「葉」字を鉛筆で加筆第 25紙「山岸寧」の「寧」字に鉛筆で「豊」字と加筆		
671	54	0088		抄本	[麻藥考]	麻藥考(189)		慶應丁卯三月廿二日	1867年				32.0×■				

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考	
672	54		0529	抄本	[青洲先生麻沸 散之真方]	青洲先生麻沸散之真 方/紀州花岡流道具 (35)[内題として紙 片8紙を挟む:花岡 外療道具(2)+連葉 湯(1)+龍門丸煎梅 肉丸之~(1)+亭辛 散(1)+楊梅瘡瘡 (1)+驅蛔砂灸 (1)+當時流行病一 (1)+防風散(1)]	三谷大江先生 著述/三谷岩 田先生著/岡 本祐貞纂輯					97	17.3×12.5	葉心に「春林 軒」と印字し た裏紙を使用	7箇所計8枚の紙片を挟む(内題3~10として 採録)第97紙に書き込みあり第22紙袋の中に紙片 あるも虫損のため取り出せず	
673	54		0600	刊本	(外療)秘薬考 一名麻薬考 ◆ 全	(外療)秘薬考 一 名麻薬考 全(19)		文政九年丙戌五月初 成 稽古館藏板	1826年		「谷津藏書」 「春和堂MW 收藏本」	19	25.8×18.0		題箋剝離。「名麻薬考」[全]字は判読可巻頭に序文 あり「文政甲申(1824年)孟春 門人 土佐 岡本 祐貞識」末尾に跋文あり「文化七甲申秋日 門人 出雲 安立修三識」	
674	55		0112	抄本	春林軒投薬録	——(23)						23	24.9×15.5	改装済(旧表 紙なし)	小青龍湯よりはじまる0114に続く	
675	55		0114	抄本	春林軒投薬録	——(23)						23	25.0×17.2	改装済(旧表 紙なし)	桂枝湯よりはじまる0112に後続	
676	56		0539	抄本	春林軒處劑録 全	春林軒處劑録(25)		此時文政七年七甲申 至八月中旬寛井停齋	1824年		「井島之印」 「亨椿齋」/ 0519, 0521, 0538と所蔵印 同じ	25	21.7×14.3			
677	56		0715	抄本	處劑録 全	春林軒處劑録(18)						18	26.8×19.4		白紙5紙を挟む	
678	56	12, 32	0527	抄本	製薬方 一冊 青蘘秘録 二冊 産科發蒙 一冊	——(4)+得生軒 製劑書(12)+諸病奇 方青蘘秘録上/紀州 花岡秘方青蘘秘録 (9)+醫學質疑五種 産科發蒙六卷 集義 (8)+産科瑣言(38)			1856年			71	23.8×16.0		3. 4. 5. は紙数を記す。	
679	55		0447	抄本	古醫方分量考 ◆	医方分量考(3)	藝陽 為則公 言用撰					3	24.0×16.8	改装済	新表紙に貼付された旧表紙に表題「医方分量方 井續七宝鏡法口傳」とある	
680	56	51	0599	抄本	方極分量 ◆	方極(32)+萬病聚方 (12)		安永九庚子九月吉日 寫之正直	1780年			47	22.9×16.1	單紙を使用	第45紙袋の中に紙片1枚(15.2×15.3cm)を挟む	
681	61		0918	医具	(外科道具一式)							0			5段の引き出しを備える道具箱幅17.4×奥行26. 0×高22.3(cm)外科道具、葉等を取める。最上段に 一部の手書本を取める。	
682	61		0916	抄本	外科道具之圖 花岡一流							1	27.3×14.4. 5	軸装。木函入 り	0917と同函に取める	
683	61		0158	抄本	[外療道具價附 他]	外療道具價附「京都 三條麩屋町 眞龍軒 安則」(1)+(無題) 「京都幸町御池下ル 外療道具師 藤龍軒 源安秀」(1)+(無 題)「諸流」(1)+(無 題)「大阪南堀江三 丁目南臺橋南詰 阿 波屋邊助」(1)+(葉 袋)(6)						9	26.0×18.0		帳入り(寸法 欄の数値は帳 の寸法)。	

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	總紙數 (内、逆紙數)	寸 法	装丁情況	備 考
684	61		0975	その他	木箱(未調査)							0			
685	61		0977	その他	屏風(未調査)							0			
686	61		0978	その他	衝立(未調査)							0			
687	61		0979	その他	屏風(未調査)							0			
688	61		0980	その他	薬味たんす引き出し(未調査)							0			
689	62		0956	その他	薬研(未調査)							0			
690	70	71, 72	0294	抄本	【傷寒論序ほか】	定本傷寒論序(2)+ 序(3)+凡例(2)+ 金匱玉函要略方 (27)+後序(3)						37	23.7×16.5	罫紙を使用	無題の「後序」から見て、全体を傷寒論の注として扱ったものか木製の採様のものを挟む
691	71		0027	抄本	南涯先生口授傷寒論(全) ◆	——(41)	——南涯					41	20×14.2		「論」字を「論」字に作る
692	71		0040	抄本	傷寒薬微 乾 ◆	傷寒薬微 乾/藥微(50)	皇都醫 藝陽 吉益爲則					50	26.7×16.5		0041に「坤」あり
693	71		0041	抄本	傷寒薬微 坤 ◆	傷寒薬微 坤/藥微(55)	皇都醫 藝陽 吉益爲則					55	26.7×16.5		0040に「乾」あり
694	71		0007	抄本	傷寒論記聞 太陽 ◆	太陽中篇/太陽篇(55)	(吉益南涯)				有	55	23.1×16.6		
695	71		0008	抄本	傷寒論記聞 太陽下三 ◆	太陽下篇(60)	(吉益南涯)				二種あり	60	23.1×16.6		
696	71		0009	抄本	傷寒論記聞 太陽明少陽 四 ◆	——(77)	(吉益南涯)				二種あり	77	23.1×16.6		
697	71		0010	抄本	傷寒論記聞 太陽少陰 五 ◆	——(74)	(吉益南涯)				二種あり	74	23.1×16.6		裏表紙裏まで書き入れあり
698	71		0011	抄本	傷寒論記聞 厥陽 六 ◆	傷寒論記聞(89)	(吉益南涯)				二種あり	89	23.1×16.6		
699	71		0005	抄本	傷寒論記聞 全 ◆	傷寒論記聞(52)		文政八乙酉年十二月下旬 於皇都薬師院塾 三島良業寫之	1825年			52	23.0×16.2	カラーコピーを製本したものの	
700	71		0352	抄本	傷寒論記聞 太陽下篇 ◆	——(36)			1817年?	藤原頼及		36	15.8×11.8	半紙を四つ折りにして綴じたもの	表紙に「丁丑仲夏吉辰」とある。文化十四年を指すか
701	71		0428	抄本	三物論 坤 ◆	傷寒論記聞 坤(下小口題)(131)				(吉益門人)吉田乾山秘藏	「愛」「川」	131	22.7×16.0		0431と一組を成す
702	71		0431	抄本	三物論 乾 ◆	(下辺小口題)傷寒論記聞 乾(161)		吉益門人横田禮藏寫		吉益門人吉田乾山秘藏	「愛」「川」	161	22.7×16.0		0428と一組を成す
703	71		0430	抄本	續三物論 太陽篇 ◆	續三物論(下小口題)(120)		門人萩園記		平安吉益先生口授		120	23.8×16.5	改裝済	0434, 0435, 0446は旧蔵者同じ

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	総紙數 (内、遊紙數)	寸法	装丁 情況	備 考
704	71		0021	抄本	南涯吉田先生大陽上篇 ◆	——(20)	吉田南涯					20	20×14.2		表紙に朱書：「杜光庭撰玉函經上下卷 民壽字景仁註玉函經」
705	71		0022	抄本	[南涯吉田先生]大陽中篇 ◆	——(22)	吉田南涯					25	20×14.2		
706	71		0023	抄本	[南涯吉田先生]陽明篇 ◆	——(23)	吉田南涯					23	20×14.2		
707	71		0024	抄本	[南涯吉田先生]少陽篇大陰小陰 ◆	——(22)	吉田南涯					22	20×14.2		
708	71		0025	抄本	[南涯吉田先生]厥陰篇 ◆	——(16)	吉田南涯					16	20×14.2		
709	71		0316	抄本	輯光傷寒論 乾 ◆	輯光傷寒論 卷之上(27)	平安 吉益 猷 修夫 撰					27	26.9×17.0	改裝済か	裏表紙裏まで書き入れ
710	71		0317	抄本	輯光傷寒論 坤 ◆	輯光傷寒論 卷之下(24)	平安 吉益 猷 修夫 撰	文化十有四年丁丑之歲春二月上宮純齋寫煉丹屈藏書	1817年		「純齋」ほか2種(一種は英字)	24	26.9×17.0	改裝済か	「圖書」を消して「又吉」(裏表紙裏)「嘉永之歲 庚戌季秋 嶺岳」
711	71		0434	抄本	輯光傷寒論 全 ◆	輯光傷寒論(50)	平安 吉益 猷 修夫 撰			「片山集義」(それぞれ名の卷末に署名あり)		50	23.5×16.8	改裝済	「天」の二巻を合綴したもので0430, 0435, 0446は旧蔵者同じ
712	71		0714	抄本	(他見) 傷寒論精義 全 ◆	傷寒論精義(52)	南涯吉益先生 著/門人 加賀 長野孔弼 子直/肥前 田中貞卓 子山 前前 難波 惟恭子敬/備前 石希范 相 同 校 (第5紙)	嘉永四年辛亥 於 洗堂塾寫焉山陰 但州上野元 書(裏表紙)	1851年		表紙に1種あり	52	24.8×17.2		
713	71		0439	抄本	傷寒論精義(全) ◆	傷寒論精義/傷寒論(52)	吉益猷修夫著				「業」「香」	52	23.5×17.2	改裝済	
714	71		0335	抄本	傷寒論正義 全 ◆	傷寒論正義(45)	平安 吉益 猷 修夫 著					45	26.5×16.2	罫紙を使用	
715	71		0073	抄本	傷寒論精義 全 ◆	傷寒論精義(103)	吉益猷修夫著 /長野孔弼子 直 田中貞卓 子山 難波 惟恭子敬 赤石 希范 同 校	萬延元年 晩成堂塾 中写之南海醫生 林 一郎	1860年			103	24.0×17.0		
716	71		0042	抄本	[傷寒論精義] ◆	傷寒論精義(39)	謙齋吉益先生 口授/中川 敏 受					39	25×17.3		
717	71		0044	抄本	[傷寒論精義] ◆	傷寒論精義 卷之下(50)						50	25.4×17.6		0044に「卷之上」「卷之下」あり
718	71		0043	抄本	[傷寒論精義] ◆	傷寒論精義 卷之上(37) + 卷之中(12)						49	25.4×17.5		0043に「卷之下」あり

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所藏印	總紙數 (内遊紙數)	寸法	装丁 情況	備 考
719	71		0070	抄本	傷寒論正義 上	傷寒論精義/傷寒論 ①47						47	24.7×17.0		「吉益秋修夫著」の序5紙あり。
720	71		0071	抄本	傷寒論精義 中	——(33)						33	24.7×17.0		
721	71		0074	抄本	傷寒論釋義 上	傷寒論釋義(49)						49	25.5×17.5		
722	71		0075	抄本	[傷寒論釋義 卷之中]	傷寒論釋義 卷之中 (45)						45	25.5×17.5		
723	71		0809	抄本	[傷寒論精義 卷之壹]	傷寒論精義 卷之壹 (128)	平安 吉益秋 修夫著				「延喜」	128(1)	26.8×19.2		題箋脱落下小口に「傷寒論精義」と墨書
724	71		0811	抄本	[傷寒論正義]	傷寒論正義(72)	平安 吉益秋 修夫著	寛政丁酉歲初秋	1789 or 1797年?			72	22.8×16.0	罫紙3種を使 用	第42紙に補筆の切り紙を貼付寛政年間に丁酉の歳 無し。元年己酉(1789)、九年丁巳(1797年)の誤りか
725	71		0387	刊本	傷寒論章句 ◆	——(65)	南涯吉益先生 章句	文化八年辛未季春刻 成 平安書肆	1811年		二種。「田」 印。「之印」	65	18.3×12.1		版心下に「瀛國藏板」とある巻頭に「傷寒論章句序 (文化八年辛未春二月 吉益義修撰夫序)」「序(辛未 仲春)」「傷寒論章句序(秋府 賀屋敬恭安序)」「傷 寒論章句例(賀屋敬恭)」あり巻末に「傷寒論章句跋 (文化辛未之春 吉岡虎子文識)」あり
726	71		0388	抄本	[傷寒論章句]	傷寒論章句(43)		淡島小松主水文化十 二亥二月於紀伊松岡 塾寫之	1815年	「松下三玄」 (表紙裏に 墨書)	「小松昇印」	43	16.0×11.2		題箋が剝離した痕跡あり第26紙裏に付箋三行分あ り
727	71		0381	刊本	傷寒論古訓傳 太陽第一之中 ◆	傷寒論古訓傳 卷之 二(49)	日本 東 奥 及川遠叔 山 父 著/門人 謙岐 岩瀬版 李 章 友 人 東都 鐮木壽 君 茂 校 正 (第1紙)/門 人 城 雨 小 佐 治 直 季 ■ 同 讀 藩 樂 再 地 貞 子 幹 再 校(未紙)	浪華城南發兌書舖林 文精堂製本	1841年(卷 五による)		「口氏藏書 印」「齋」「和 書4791號」	69	25.3×17.7		0381~0385で一組を成す
728	71		0382	刊本	傷寒論古訓傳 太陽第一之上 ◆	傷寒論古訓傳 卷之 ——(31)	日本 東 奥 及川遠叔 山 父 著/東 洞 吉益先生遺意 /東谷及川先 生著述/門人 謙岐 /友人 東都 鐮木壽 君 茂 校 正		1841年(卷 五による)		「口氏藏書 印」「齋」「和 書4790號」	31	25.3×17.7		0381~0385で一組を成す巻頭に序文あり。「文化元 年甲子(1804)冬至之日識之 及川遠叔山父撰」
729	71		0383	刊本	傷寒論古訓傳 太陽第一之下 ◆	傷寒論古訓傳 卷之 三(36)	日本 東 奥 及川遠叔 山 父 著/門人 安藝 澤潤子 廣/友人 東 都 鐮木壽君 茂 校 正		1841年(卷 五による)		「口氏藏書 印」「齋」「和 書4792號」	36	25.2×17.8		0381~0385で一組を成す

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁 情況	備 考
730	71		0384	刊本	傷寒論古訓傳 少陽第三、太陰第 四、少陰第 五、厥陰第六 ◆	傷寒論古訓傳 卷之 五(32)	日本 東 奧 山 及川達叔 山 父 著/門人 山城 藤田以 直方先/友人 東都 鐮木壽 君茂 校正	蒙園藏版 文化元甲 子年冬至之日 天保 十二年辛丑五月朔初 三都書肆	1841年		「■」口氏藏書 印」「■」齋「和 書4794號」	32	25.2×17.7		0381~0385で一組を成す巻末に跋あり「文化元 年甲子冬至之日 門生城崎藤田直拜撰」
731	71		0385	刊本	傷寒論古訓傳 陽明第二 ◆	傷寒論古訓傳 卷之 四(26)	日本 東 奧 山 及川達叔 山 父 著/門人 仙臺 細川友 直子/友人 東都 鐮木壽 君茂 校正		1841年(卷 五による)		「■」口氏藏書 印」「■」齋「和 書4793號」	26	25.2×17.7		0381~0385で一組を成す
732	71		0006	抄本	傷寒活用傳 全 ◆	傷寒論活用傳(51)	松岡 蔽 著 編	小松寿■				51	23.9×16.5		三卷
733	71		0964	抄本	傷寒活用伝(全) (未調査)							0			
734	71		0746	抄本	傷寒論講義 乾	傷寒論講義(38)	青洲先生口授	文政十年丁亥五月八 日開講	1827年		「熱田氏書藏 記」	38	23.1×16.0	罫紙を使用	
735	72		0059	抄本	金匱要畧記聞 完 ◆	金匱要畧(73)	(吉益南涯)	萬延元年庚申秋七月 寫於京都晚成堂之塾 南海醫師 林一郎	1860年			73			内題の後に「漢張仲景著 晋王叔和撰次」とある。 書き付け1紙を収む。
736	72		0444	抄本	金匱精義(乾坤) ◆	金匱要畧精義(98)	北洲吉益順信 夫著					98(1)	23.9×17.4	改裝済	新表紙に貼付された旧表紙に「金匱精義 坤」とあ る内容は巻之上「巻之下(卷二)」
737	72		0076	抄本	[金匱要略軌義] 乾 ◆	金匱要略軌義(50)	福齋吉益爲 先生 口授 中川放 筆受					50	25.1×17.4		0045と一組を成す
738	72		0045	抄本	(無題)	——(45)						45	25.2×17.4		表紙に「卍」字あり0076「金匱要略釋義・乾」に後続 すると見られる
739	73		0257	刊本	古書醫言 一 ◆	古書醫言卷之一(27)	安藝 吉益爲 則公言著/男 猷 修夫 孫 順信夫校/		1814年(卷 四による)		2種あり。「寶 玲文庫」中山 氏藏書之印」	27	25.5×18.5	改裝して帙に 収める。	改裝後の表紙に外題なし(旧表紙の題箋に記され たものを採録)0257~0260を1帙に収める帙の題 箋に「古書醫言 文化版 全四冊」とある
740	73		0258	刊本	古書醫言 二 ◆	古書醫言卷之二(29)	安藝 吉益爲 則公言著/男 猷 修夫 孫 順信夫校/		1814年(卷 四による)		2種あり。「寶 玲文庫」中山 氏藏書之印」	29	25.5×18.5	改裝済	改裝後の表紙に外題なし(旧表紙の題箋に記され たものを採録)0257~0260を1帙に収める帙の題 箋に「古書醫言 文化版 全四冊」とある
741	73		0259	刊本	古書醫言 三 ◆	古書醫言卷之三(28)	安藝 吉益爲 則公言著/男 猷 修夫 孫 順信夫校/		1814年(卷 四による)		2種あり。「寶 玲文庫」中山 氏藏書之印」	28	25.5×18.5	改裝済	改裝後の表紙に外題なし(旧表紙の題箋に記され たものを採録)0257~0260を1帙に収める帙の題 箋に「古書醫言 文化版 全四冊」とある
742	73		0260	刊本	古書醫言 四 ◆	古書醫言卷之四(31)	安藝 吉益爲 則公言著/男 猷 修夫 孫 順信夫校/	文化十一年甲戌歲三月 發行/皇都書林(林 宗兵衛・梅村伊兵 衛・神先宗八・野田 次兵衛・藤井孫兵 衛・丘本嘉七)/浪華 書林(加賀屋善藏)	1814年	2種あり。「寶 玲文庫」中山 氏藏書之印」	31	25.5×18.5	改裝済	改裝後の表紙に外題なし(旧表紙の題箋に記され たものを採録)0257~0260を1帙に収める帙の題 箋に「古書醫言 文化版 全四冊」とある	

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	総紙數 (内逆紙數)	寸法	装订 情况	備 考
743	73		0280	刊本	東洞先生遺稿 上 ◆	東洞先生遺稿卷之上 (25)	夫 清子直 辰子 良 同輯	斯文堂 發行	1800年(下 巻による)		「加藤信太郎 圖書之印」	25	25.3×17.5		巻頭に清子直による序文(2紙)を附す。本文23紙 (本文第1紙版心に「蒲蘆亭藏」0281「中」, 0282「下」と一組を成す)
744	73		0281	刊本	東洞先生遺稿 中 ◆	東洞先生遺稿卷之中 (28)	夫 清子直 辰子 良 同輯		1800年(下 巻による)		「加藤信太郎 圖書之印」	28	25.3×17.5		0280「上」, 0282「下」と一組を成す
745	73		0282	刊本	東洞先生遺稿 下 ◆	東洞先生遺稿卷之下 (20) + 東洞先生行状 (11)	夫 清子直 辰子 良 同輯	寛政十二年庚申正月 梓 皇都書林	1800年		「加藤信太郎 圖書之印」	28	25.3×17.5		0280「上」, 0281「中」と一組を成す
746	73		0254	刊本	要術知新 卷上 ◆	要術知新卷之上(26)	大槻玄幹先生 著	東武書堂 青藜閣藏				26	25.5×17.3		版心魚尾の上に「痲醫新書鈔譯」とある0254~0256 を一枚に収める仙人と亀の図案の宋印。「北澤氏青 寮閣」本記[朱印あり]
747	73		0255	刊本	要術知新 卷中 ◆	要術知新 卷之中 (26)	大槻玄幹 譯述					40	25.5×17.3		版心魚尾上に「痲醫新書鈔譯」とある魚尾下に「要 術知新卷之中」0254~0256を一枚に収める。
748	73		0256	刊本	要術知新 卷下 ◆	要術知新 卷之下 (26)	大槻玄幹 譯述					26	25.5×17.3		版心魚尾下に「痲醫新書鈔譯」魚尾下に「要術知新 卷之下」とある0254~0256を一枚に収める裏表紙 裏に広告「和蘭翻譯醫書發行目錄」あり
749	81		0368	書状	名手組大庄屋 妹尾家文書	名手組大庄屋妹尾家 文書(役義関係)(3)						65	25.7×36.4	B4判コピー に表紙を付けて 綴装したのも の	第1, 2紙に文書18種の一覧表。第3紙以降は実物 のコピー
750	81		0369	書状	名手組大庄屋 妹尾家文書(壳券 類)	——(36)						3	25.7×36.4	B4判のコピー	文書29種の一覧表
751	82		0423	抄本	[塾例]	——(13)		右文政奏末初冬十月 記(第12紙)	1823年		「大同 藥室 函 書記」	13	15.2×17.9		紀の川は冒頭の「入門東修式」で整理内容は「華岡 青洲先生及ヒ其外科」p.438~443に引く「塾例」の 一部に相当第12紙一部欠損
752	83		0826	抄本	華岡門人姓名録	——(126)						126	25.7×19.5		「上那賀郡名手平山 華岡隨賢 直道」(表紙裏に 墨書)
753	84		0840	抄本・ 複写	乳岩姓名録 完	乳岩姓名録(19)						19		B4判。裏表 紙なし。0841 とステューアル で合綴	モノクロコピー。原本は「青洲の里」館藏
754	85	92	0515	抄本 (現代)	(書翰綴り目録)							0			
755	85		0465 5 0515	書状	(書翰)							0			
806	85		0952	書状	(書翰)(未調査)							0			
807	85		0953	書状	(書翰)(未調査)							0			
808	85		0957	書状	中川 椿亭 書簡 (未調査) ◆							0			
809	85		0084	書状	與書 ◆	傳書「真訣一卷」 (函書き)(1)	賀川 第五世 質川 蕃齋 誌	弘化丁未年春三月日	1847年			1	250.0×15.0	軸装。函入り。	「與 野村 玄達 子」
810	85		0085	書状	許可書 ◆	許可書 一卷(函書 き)(1)	賀川 第五世 質川 蕃齋 誌	弘化四丁未年春三月 日	1847年			1	183.0×18.0	軸装。木函入 り。	「與 野村 玄達 子」

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏関係 情報	所蔵印	總紙數 (内、透紙數)	寸法	装订 情況	備 考
811	86		0951	書画	外科療治図(未 調査)							0			
812	86		0228	書画	清浄心院	——(1)	天保丙申南呂中清殺 且於清浄心院賦■經 雄大禪師東都處士采 住正徒				二種あり	0	29.2×135. 7	軸装	寸法欄數値は本紙のみの寸法表紙寸法は縦29.2× 横170.8cm
813	86		0799	書画	(無題)	——(1)						1	662.3×25. 8	卷子本	「警骨」「卷木綿」に関する圖紀の川は「警骨図」と著 録
814	86		0912	書画	子女賀川先生墨 跡◆	元祖子女先生墨蹟 (函書き)(1)				「賀川 藏」 (木函蓋裏 に紙を貼 付)		1	22.4×34.0	軸装。木函入 り	「賀川玄悦七十八歳書」(最終行)
815	86		0913	書画	子女先生肖像◆	賀川子女先生肖像 (函書き)(1)				「賀川 藏」 (木函蓋裏 に紙を貼 付)		1	101.5×54. 3	絹本。軸装。木 函入り	彩色画
816	86		0914	書画	蘭臺先生肖像◆	女醫博士蘭臺先生肖 像(函書き)(1)				「賀川 藏」 (木函蓋裏 に紙を貼 付)		1	105.5×54. 5	絹本。軸装。木 函入り	彩色画
817	86		0915	書画	蘭齋先生肖像◆	女醫博士蘭齋先生肖 像(函書き)(1)				「賀川 藏」 (木函蓋裏 に紙を貼 付)		1	105.8×54. 6	絹本。軸装。木 函入り	彩色画
818	86		0955	書画	一行書(未調査)							0			
819	86		0968	書画	肖像画(未調査)							0			
820	86		0969	書画	書(未調査)							0			
821	86		0971	書画	掛け軸(仲景 名醫)(未調査)							0			
822	86		0972	書画	掛け軸(應震) (未調査)							0			
823	86		0976	書画	掛軸(2行書) (未調査)							0			
824	88		0199	書画	「陰霖連日」詩	——(1)	天保六年歳在 乙未冬十二月 仁井田好古撰	吉田篤	1808年 or 1868年(戊 辰と記す)		二種あり。「吉 田篤」。もう一 種は解読不 能。	1	31.1×19.0	紀の川市の管 理テータによ れば、春林軒 の棟に貼付	現在貼付されている台紙(襖の一部と見られる)の 寸法47.8×31.1(縦×横cm)
825	88	80	0831	抄本	青洲先生碑文	——(11)		西山亨哉書				11	27.5×19.8	裏表紙なし	「明治十九年春二月 松本準造謹白」の「緒言」あり
826	88		0824	書状	南洋先生 青洲 先生 驚洲先生 寶塔建立 年後 レ手續書	——(4)		明治十六年四月十一 日松本準造吉益岡助 華岡治兵衛	1883年			4	24.8×16.8	裏紙を仮綴じ したものを	表紙に「高野山奥之院道端工建立」と書す。紀の川 市はこれを著録。
827	88		0825	抄本	青洲先生寶塔嶺 左右裏■前標	——(5)		明治十六年未四月吉 日撰華岡治兵衛松本 準造	1883年			5	20.2×14.2	仮綴じ。裏表 紙なし	

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所蔵印	總紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考	
828	88		0827	抄本	石碑寶塔建築節 志主姓名録并■ ■序	——(29)		明治十七年九月 宿 坊正塔院執事(第5 紙表, 序の末尾に墨 書)			陽刻角印「正 塔」	29 (10)	26.1×18.2	2 針目仮綴 し。第22, 23, 28, 29紙は表 裏逆に綴じ る。		
829	88		0828	図	華岡青洲先生塚 (略図)	——(1)		明治十七年五十回忌 爲菩提建之宿坊正塔 院	1884年			1	47.0×27.3	切り紙		
830	88		0829	図	華岡青洲先生塚 (略図)	——(1)		明治十九年旧十一月 建之宿坊正塔院松本 準造華岡治兵衛吉益 周助				1	57.5×34.4	切り紙		
831	88		0830	図	華岡青洲先生碑 銘石畧圖	——(1)						1	45.5×38.0	切り紙		
832	88		0832	図	華岡青洲先生南 洋先生鹿城先生 鷺洲先生寶塔建 立五分一之圖面	——(4)	華岡治兵衛 松本準造 吉 益周助	明治十六年四月吉日				4	27.3×20.1	仮綴し。表紙 なし		
833	88		0833	書状	青洲先生寶塔碑 文建立二付	——(7)		明治十七年二月	1884年			7	22.8×15.7	點綴を仮綴し したものと 第1紙に印あり		
834	91		0289	刊本 (現代)	(近世) 漢方医 学書集成 29 華岡青洲	——(635)	大塚敬節・矢 数道明責任編 集	名著出版刊(第1刷 1980年, 第2刷1986 年)	1986年			635	19.4×13.7			
835	91		0279	刊本 (現代)	(近世) 漢方医 学書集成 30 華岡青洲	——(707)	大塚敬節・矢 数道明責任編 集	名著出版刊(第1刷 1980年, 第2刷1986 年)	1986年			707	19.4×13.7			
836	91		0276	刊本 (現代)	(近世) 漢方治 験撰集 6 吉 益東洞 吉益南 涯 中川修亭 賀屋恭安	——(200)		矢数道明・大塚恭男 監修 安井広進編 集・解説名著出版刊 行				495	19.4×13.4	洋装本。紙函 入		
837	91		0277	刊本 (現代)	(近世) 漢方治 験撰集 10 原 南陽 華岡青洲	——(707)		矢数道明・大塚恭男 監修 安井広進編 集・解説名著出版刊 行	1986年			200	19.4×13.4	洋装本。紙函 入		
838	91		0278	刊本 (現代)	東洞全集	東洞全集 完	醫學博士吳秀 三 醫學博士 文學博士富士 川游 選集校 定	吐鳳堂書店發行	1918年			0				
839	91		0836	刊本 (現代)	校註・和訳 吉 益南涯著作全集	——(408)			1967年			408		A 5 判	雑誌「漢方の臨床」特集号(第14巻第2第3合併)	
840	91		0838	刊本 (現代)	險症百問	——(150)	吉益南涯 華 岡青洲 浅田 宗伯/矢数道 明監修/西岡 和夫訳註	昭和40年発行医道の 日本社	1965年			150	21.3×15.5	洋装活字本		
841	92		0568	刊本 (現代)	華岡青洲先生ノ 遺書	華岡青洲先生ノ遺書 (29)	前島淳一述	和歌山醫學會會誌第 八・九號(抜刷)	1918年			26	22.4×15.4		著者の肩書きは「日赤和歌山支部病院長 醫學博 士」表紙左上隅に「謹呈 富士川先生」と記入表紙 裏に年代を計算した書き込みあり	

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊蔵関係 情報	所蔵印	總紙數 (内、透紙數)	寸 法	装丁情況	備 考
842	92		0569	刊本 (現代)	華岡青洲先生ノ 外科	華岡青洲先生ノ外科 (32)	前島淳一述	和歌山醫學會會誌第 八・九號(抜刷)	1918年			32	22.2×15.3		著者の肩書きは「日赤和歌山支部病院長 醫學博士」表紙左上隅に「謹呈 富士川先生」と記入
843	92		0718	刊本 (現代)	華岡青洲先生及其 其外科	華岡青洲先生及其外 科(576)	呉秀三者	大正十二年八月五日 吐鳳堂書店	1923年	「外科31」と 記したラベ ルを貼付	「東京市立廣 尾病院」	576	22.5×15.8	A 5 版裱装函 入	
844	92		0240	刊本 (現代)	華岡青洲先生及其 其外科	華岡青洲先生及其外 科(576)	呉秀三者	大正十二年八月五日 吐鳳堂書店	1923年			572	22.6×16.0	洋装。函入。	総頁數に含まれない図版2種あり。
845	92		0290	刊本 (現代)	華岡青洲先生及其 其外科	華岡青洲先生及其外 科(548) + 華岡青洲詩 集(18) + 華岡青洲先 生及其外科正誤表 (6) + <附録> 華岡 青洲の麻酔薬(通仙 散)をめぐる諸問題 (35)	呉秀三者 田一補訂	思文閣発行(1923年 初版・1971年復刻)	1971年		「高橋文庫」	0	21.8×16.0	洋装本。函入	頁數に含まれない図版2種あり別冊附録を同梱
846	92		0274	刊本 (現代)	伝記叢書135 華岡青洲先生及其 其外科	華岡青洲先生及其外 科(548) + 華岡青 洲先生詩集(18) + 華 岡青洲先生及其外科 正誤表(6) + 解説 (片桐一男 + 華岡青 洲先生及其外科附 録(5) + <附録> 華 岡青洲の麻酔薬(通 仙散)をめぐる諸問 題(35)	呉秀三者	大空社	1994年			0	21.6×15.8	洋装本。函入。	紙數欄の數値は頁數頁數に含まれない図版4頁あり 複製に關する情報を記した凡例、広告等あり別 冊附録を紙函に同梱する
847	92		0961	刊本 (現代)	医聖 華岡青洲 (未調査)							0			
848	92		0841	刊本 (現代)	紀州が生んだ「世 界的医聖 華岡 青洲先生	——(12)	森慶三述					12		0840とステアー フルで合綴	抜き刷り 筆者は和歌山県文化財専門審議委員会
849	92		0839	冊写版 (現代)	華岡青洲年譜	華岡青洲年譜(2)	森慶三編					2		B 4 判謄写版 印刷。同じ内 容のものを3 部ステアーフル で綴じる	第1部の表紙に「別冊 天保五年(1834年)青洲逝 去の前年 門人越後佐藤寛吾 門人録写」と朱 書補筆。第2部にも1箇所朱書補筆あり
850	91		0966	刊本 (現代)	吉益南涯著作全 集「漢方の臨床」 (未調査)							0			
851	92		0367	原稿 (現代)	解説 妹尾家文 書	——(56)						35	25.7×36.4		「那賀町史用 箋」(B 5 判) に手書きした ものを、2枚 ずつ並べてB 4判に複写し たもの
852	92		0273	原稿 (現代)	癸亥春林軒統方 冊(二)	——(6)	高橋均 坂田 育弘 児玉重 隆	平成十三年十二月発 行	2001年			6	21.0×14.8		日本医史学雑誌 第四十七巻第四号 別冊記の川 市管理番号なし

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所蔵印	総紙數 (内、逆紙數)	寸法	装丁情況	備 考
853	92		0642	刊本 (現代)	千葉理安(華岡青洲) 青洲門下生と「施無畏堂」について	千葉理安(華岡青洲) 門下生)とその字號 「施無畏堂」について (62)	岡本恵吉著	花泉町先人顕彰会 (若手取)発行	1990年			62	25.7×18.3		
854	92		0229	刊本 (現代)	美濃における華岡流 手術図譜—不破為信 繩子二代の業績 代の業績	美濃における華岡流 手術図譜—不破為信 繩子二代の業績 (243)		平成九年七月 不破 準	1997年			243	29.5×41.7	コピーを製本 したものの	
855	92		0644	刊本 (現代)	医学選粹 第二 号	——(20)		財団法人 日本医学 文化保存会発行	1974年			20	36.4×25.6		
856	92		0962	刊本 (現代)	外科学史(未調 査)							0			
857	93		0635	刊本 (海外)	HEELKUN- DIGE ON- DERWYZIN- GEN	——(1382)	LAURENS HEISTERS		1741年			1382	24.8×20.4		
858	93		0404	刊本 (海外)	Notes on the history of medical prog- ress in Japan	——(469)	Whitney, Willis Nor- ton	Yokohama : R. Meiklejohn	1885年	Porter氏が 大学図書館 に寄贈した もの	「 MAR- YVILLE COLLEGE」	469	22.3×15.0	精裝洋書	
859	93		0405	刊本 (海外)	Chirurgie (Lor- enz Heister)	——(1078)						1078	22.0×18.0		ハイステールの「外科書」ドイツ語版か本文のほか、 目次・序文等12頁、索引等24頁、挿図38枚、写真等 あり
860	93		0638	刊本 (海外)	KURZE GES- CHICHTE DER CHIR- URGIE	KURZE GES- CHICHTE DER CHIRURGIE(346)	W. VON BRUNN	COPYRIGHT 1928 JULIUS SPRINGER IN BERLIN.	1928年		「Medical and Chirur- gical Fac- ulty of Mar- yland LIBRARY」	346	25.6×17.6		
861	93		0239	刊本 (海外)	Western Medi- cal Pioneers in Feudal Japan	Western Medical Pioneers in Feu- dal Japan(245)	John Z. Bowers	The Johns Hop- kins Press	1970年			245	22.0×14.0	洋装	ISBN 0801810817
862	93		0643	刊本 (海外)	Commemora- tion of Todo Yoshimasu	Commemoration of Todo Yo- shimasu(15)		Hiroshima Prefec- tural Medical Association(社団法人 広島県医師会) 発行	1973年			15	21.2×15.2		
863	93		0636	刊本 (海外)	华佗神医秘传	华佗神医秘传(406)		彰善山点校 ■人民 出版社発行	1982年			406	20.4×14.1		
864	93		0637	刊本 (海外)	华佗神方	华佗神方(350)		中外出版社発行	1979年			350(1)	18.6×12.9		
865	96		0275	刊本 (現代)	華岡青洲の妻	——(213)	有吉佐和子著	新潮社刊	1967年			213	19.6×13.4	洋装本。紙函 入	

資料 番 号	分類 コード①	分類 コード②	整理 番 号	種 別	書 名 (外題)	内 題・ 内容詳細(紙数)	著 者 等	抄 写・ 刊 行 情 報	抄 写・ 刊 行 年 月 日	舊 蔵 関 係 情 報	所 蔵 印	総 紙 数 (内 選 紙 数)	寸 法	装 丁 情 況	備 考
866	96		0719	刊本 (現代)	華岡青洲の妻	華岡青洲の妻(222)	有吉佐和子	昭和四十二年六月二十日十三刷	1967年			222(2)	19.8×13.5	B 6 判	扉に有吉佐和子の自筆サインあり
867	96		0639	刊本 (現代)	S A W A K O ARIYOSHI A NOBEL The Doctor's Wife	The Doctor's Wife (192)	有吉佐和子	広中和歌子 A・コ スタント共訳講談社 インターナショナル 発行	2001年			192	18.2×11.2		「華岡青洲の妻」英訳本帯付き。
868	96		0640	刊本 (現代)	T H E D O C - T O R ' S W I F E S A W A K O ARIYOSHI	————(192)	有吉佐和子	広中和歌子 A・コ スタント共訳講談社 インターナショナル 発行	2003年			192	19.0×13.1		「華岡青洲の妻」英訳本帯付き。
869	96		0716	抄本 (現代)	連続テレビドラマ マ 華岡青洲の 妻 第一週 1 2 3 4 5	————(210)	原作 有吉佐 和子	脚本 寺内小春制作 中部日本放送				210	25.3×17.5	B 5 判	テレビドラマ台本表紙左上に鉛筆で「安東線(第三回)」との書き入れあり
870	96		0362	パンフ レット (現代)	華岡青洲の妻	————(25)		平成2年10月4日東 宝株式会社映像事業 部出版事業室 大橋 雄吉 発行	1990年			25	24.2×25.6		演劇パンフレット帝劇10月特別公演(平成2年度 文化庁芸術祭参加)東宝 皇居前 帝國劇場有吉 佐和子作/大藏節子脚色/水谷幹夫演出
871	96		0363	パンフ レット (現代)	華岡青洲の妻	————(32)		1980.11.1 中日劇 場<中日新聞文化芸 能局> 発行	1980			32	24.0×25.5		演劇パンフレット有吉佐和子作/茂井市郎演出 日劇場にて公演 1980年11月1~26日
872	96		0364	パンフ レット (現代)	華岡青洲の妻	————(16)						16	30.7×22.0		演劇パンフレット有吉佐和子作/江守徹演出文学 座創立60周年記念公演杉村春子追悼公演 文学 座・紀伊國屋書店提携文化庁芸術祭特別支援事 業1998年2月12~22日 紀伊國屋サザンシアター 公演パンフレット2種3枚、葉書1枚を収む
873	96		0641	パンフ レット (現代)	華岡青洲の妻	————(39)		平成九年三月 新橋 演舞場宣伝部編集	1997年			68	25.7×18.3		松竹演劇のパンフレット。
874	96		0717	冊子 (現代)	華岡青洲	華岡青洲(240)	那賀町 華岡 青洲をたたえ る会		1972年 6 月 30日			240	18.7×13.3	B 6 判精裝	
875	96		0720	冊子 (現代)	目で見える「がん」 展	目で見える「がん」展 (128)	寺田雅昭他監 修	読売新聞社	2002年			128(1)	27.8×22.5	A 4 判	
876	96		0800	アル バム	医聖華岡青洲先 生遺品遺墨写真 集	————(25)						25	32.6×20.0	アルバム	写真71点、納落紛失3点(鼓古の写真:昭和36年10 月1日)系図、墓所配置図(昭和37年3月3日調 査)、年表 各1点
877	96		0843	簡易 製本 (現代)	木曜ゴールデン タイムドラマ 華岡青洲の妻	————(129)	有吉佐和子原 作・脚本/読 売テレビ・ PDS制作/ 演出 久野浩 平					129		簡易製本	テレビドラマ脚本

資料 番號	分類 コード①	分類 コード②	整理 番號	種別	書 名 (外題)	内題・ 内容詳細(紙數)	著者等	抄寫・ 刊行情報	抄寫・ 刊行年月日	舊藏關係 情報	所藏印	總紙數 (内、逆紙數)	寸 法	装丁情況	備 考
878	96		0973	ポスター	ポスター(華岡 青洲の妻) 1 (未 調査)							0			
879	96		0974	ポスター	ポスター(華岡 青洲の妻) 2 (未 調査)							0			
880	96		0357	冊子 (現代)	華岡青洲先生百 五十年記念祭記 事	甲部陳列品(19)+華 岡青洲先生五十年 記念祭祝賀演説 醫 學博士佐藤三吉 (19)+華岡青洲先生 傳 醫學博士吳秀三 (19)		大正九年三月五日發 行 醫人 第九號 (附録)別冊	1920年			19	23.9×15.8		